

第13回 千代川水系大規模氾濫時の減災対策協議会(国)
第13回 天神川水系大規模氾濫時の減災対策協議会(国)
第13回 日野川水系大規模氾濫時の減災対策協議会(国)
第13回 鳥取県東部地区 流域治水及び減災対策協議会(県)
第15回 鳥取県中部地区 流域治水及び減災対策協議会(県)
第12回 鳥取県西部地区 流域治水及び減災対策協議会(県)
〔同時開催〕

説明資料

日時:令和6年6月5日(水)午後2時00分～

場所:鳥取県中部総合事務所1号館2階講堂(一部オンライン会議併用)

ファイル名・資料名	資料内容
● 01_共通資料1	議事次第、出席者名簿
● 02_共通資料2	説明資料1
● 03_共通資料3	説明資料2
● 04_気象台資料	令和6年出水期の見通し
● 05_国資料1	千代川水系大規模氾濫時の減災対策協議会 資料
● 06_国資料2	天神川水系大規模氾濫時の減災対策協議会 資料
● 07_国資料3	日野川水系大規模氾濫時の減災対策協議会 資料
● 08_県資料1	鳥取県東部地区 流域治水及び減災対策協議会 資料
● 09_県資料2	鳥取県中部地区 流域治水及び減災対策協議会 資料
● 10_県資料3	鳥取県西部地区 流域治水及び減災対策協議会 資料
● 11_県資料4	大路川流域治水ビジョン

1. 開会

2. 議事

(1) 規約改正等

(2) 令和6年度の出水期の天候の見通しと情報の改善

(3) 令和5年度・令和6年度の減災に係る取組

(4) 二級水系流域治水プロジェクト

(5) 情報提供

(6) 令和5年出水対応に係る意見交換

3. 閉会

(1) 規約改正等について

(1) 規約改正等について

規約の主な改正点

組織改編等による協議会・幹事会構成員の役職変更

①協議会・幹事会構成員 鳥取県危機管理部の組織名および役職変更

国

県

②「減災にかかる取組方針」内 本協議会構成員の組織名の変更

※危機管理局 → 危機管理**部**
※危機管理局長 → 危機管理**部**長
※副局長兼危機管理政策課長 → **次長**兼危機管理政策課長

③幹事会構成員 鳥取県農林水産部の役職変更

県

※農業振興**監** 農地・水保全課長 → 農業振興**局** 農地・水保全課長

④幹事会構成員 鳥取県生活環境部の役職変更

県

※県土整備部 技術企画課長 → 生活環境部 くらしの安心局まちづくり課長

⑤幹事会構成員 鳥取県県土整備部の役職変更

県

※県土整備部**次長** → 県土整備部 河川港湾局長
※県土整備部治山砂防課長 → 県土整備部 河川港湾局 治山砂防課長

(1)規約改正について

規約の主な改正点

組織改編等による幹事会構成員の役職変更

⑥幹事会構成員 鳥取県鳥取県土整備部の役職変更

県

※鳥取県土整備事務所計画調査課長 → 鳥取県土整備事務所副所長兼計画調査課長
※八頭県土整備事務所建設総務課 → 八頭県土整備事務所
計画調査室長 → 副所長兼計画調査課長

⑦幹事会構成員 鳥取県中部総合事務所の役職変更

県

※鳥取県中部総合事務所県土整備局 → 鳥取県中部総合事務所県土整備局
計画調査課長 → 副局長兼計画調査課長

⑧幹事会構成員 鳥取県西部総合事務所の役職変更

県

※鳥取県米子県土整備局計画調査課長 → 鳥取県西部総合事務所米子県土整備局
副局長兼計画調査課長
※鳥取県米子県土整備局河川砂防課長 → 鳥取県西部総合事務所米子県土整備局
河川砂防課長
※鳥取県日野県土整備局 → 鳥取県西部総合事務所日野振興センター
建設総務課計画調査室長 → 日野県土整備局副局長兼計画調査課長
※鳥取県日野県土整備局河川砂防課長 → 鳥取県西部総合事務所日野振興センター
日野県土整備局河川砂防課長

(1)規約改正について

規約の主な改正点

- 組織改編による協議会・幹事会構成員の役職変更等

⑨幹事会構成員 役職変更、課名追記

国

県

※三朝町総務課参事→ 三朝町総務課参事兼危機管理局長

⑩幹事会構成員 追加

県

※北栄町産業振興課長

⑪幹事会構成員 追加

県

※米子市都市整備課長

⑫幹事会オブザーバー 鳥取県生活環境部の組織名変更

県

※生活環境部くらしの安心局水環境保全課→生活環境部自然共生社会局水環境保全課

⑬幹事会オブザーバー 農林水産省 中国四国農政局の役職変更

県

※農林水産省中国四国農政局設計課 水利計画官 → 農林水産省中国四国農政局設計課 事業計画管理官

⑭事務局構成員 鳥取県県土整備部河川課の役職変更

国

県

※鳥取県県土整備部河川課 → 鳥取県県土整備部河川港湾局河川課

(2) 令和6年出水期の天候の見通しと情報の改善について

気象台資料を用いて説明

(3) 令和5年度・令和6年度の減災に係る取組

千代川水系大規模氾濫時の 減災対策協議会 資料

国土交通省 中国地方整備局
鳥取河川国道事務所



国土を**整**え、全力で**備**える

国土交通省
中国地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

千代川水系減災対策協議会 これまでの検討経緯

第1期
平成28年7月
平成28年8月

- 第1回減災対策協議会：「千代川水系大規模氾濫時の減災対策協議会」設立
- 第2回減災対策協議会：「千代川流域の減災に係る取組方針」の策定（第1期）

【3本柱（第1期）】

- ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- ②生命と財産を守る水防活動と日常生活を取り戻すための排水活動の強化
- ③地域住民の防災意識向上と防災関係者の災害対応能力向上を目的とした防災研修の拡充

平成29年5月
平成29年6月
平成30～31年
平成31年1月
令和元～2年

- 第3回減災対策協議会：平成28年度取組フォローアップ
- 緊急行動計画とりまとめ（国土交通省）
- 第4回・第5回・第6回減災対策協議会：平成29～30年度取組フォローアップ
- 緊急行動計画改定（国土交通省）
- 第7回・第8回減災対策協議会：令和元～2年度取組フォローアップ

第2期
（現在）
令和3年6月

- 第9回減災対策協議会：「千代川流域の減災に係る取組方針」の改正（第2期）

【3本柱（第2期）】

- ①円滑かつ迅速な避難のための取組
- ②被害軽減の取組
- ③氾濫水の排除、浸水被害軽減に関する取り組み

令和3年10月
令和4年5月
令和5年6月

- 第10回減災対策協議会：令和2年度フォローアップ
- 第11回減災対策協議会：令和3年度フォローアップ
- 第12回減災対策協議会：令和4年度フォローアップ

本日
令和6年6月

- 第13回減災対策協議会：令和5年度フォローアップ

取組 1 地域防災力の向上

1.円滑かつ迅速な避難のための取組 (1)情報伝達、避難計画等に関する事項

②7要配慮者利用施設・関係各課と連携した、情報伝達訓練や避難訓練、講習会の計画の検討

- 令和4年度は、鳥取市の要望から選定された要配慮者利用施設3箇所(モデル施設※)において、より分かりやすい避難行動計画(タイムライン)の策定や避難訓練の実施を支援。
- 令和5年度は、令和5年台風第7号の出水対応についてモデル施設へのヒアリングやタイムラインの活用状況を確認。
- 「計画策定時の議論から**避難行動の前倒しを実施(うぶみ苑)**」「**防災意識が高まっている(大正保育園)**」などタイムラインの活用や意識向上に関する意見が挙げられた。

※「うぶみ苑 グループホーム南安長」(障がい者関係施設)、「ウイズユーフレンズ・ウイズユーフレッシュ」(障がい者関係施設)、「大正保育園」(児童関係施設)。

うぶみ苑グループホーム南安長 避難行動計画(タイムライン)

実践面

気象情報や避難情報はあくまで避難の等の状況を確認し、命を守るために

警戒レベル	警戒レベル相当情報		鳥取市	体制と情報収集		利用者等の避難対応	
	気象情報等 (気象台等が発表)	千代川水位		日頃からの備え	体制の構築	日頃からの備え	利用者家族等への連絡
1				<ul style="list-style-type: none"> 職員及び施設利用者名簿の作成 災害時の役割の明確化 	<ul style="list-style-type: none"> 気象情報等の把握 【防火管理者・防火管理者代行】 ※インターネット等で情報を収集する ※警戒レベル_早期注意情報_【キキクル】 河川水位の把握 【情報班】 	<ul style="list-style-type: none"> 施設休業基準の策定 利用者家族への連絡方法の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の確認(人数、体調不良など) 状況に応じて利用者の送迎、家族等への引継ぎ準備
警戒レベル2相当	<ul style="list-style-type: none"> 大雨注意報 洪水注意報 		<ul style="list-style-type: none"> 注意対応の判断・周知 【施設長・施設長代行】 体制に関する周知 福祉会本部等への報告 	<ul style="list-style-type: none"> 体制の構築 注意対応の判断・周知 【施設長代行】 体制に関する周知 職員の人数把握 利用者の体調把握 災害配備体制に向けた準備 【施設長代行】 	<ul style="list-style-type: none"> 道路交通情報の把握 【情報班】 行政機関、関連機関からの情報の把握 【施設長代行・情報班】 自治会との情報共有 気象情報の把握 【情報班】 河川水位の把握 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者家族等への連絡 【情報班】 問い合わせへの対応 【情報班】 利用者家族から、避難等に関する問い合わせがあった場合、随時対応 	<ul style="list-style-type: none"> 避難準備 【避難誘導班】 安全な避難経路を確認 緊急避難が困難な場合は河川から離れた堅牢な建物の2階等への避難を判断 公用車の準備 避難開始 うぶみ苑教養訓練場へ避難 (状況次第では、鳥取市立城北小学校へ避難) 利用者の健康管理 【避難誘導班】 利用者の健康状態を把握 必要に応じて医療機関への移送を要請
警戒レベル3	千代川氾濫注意情報	行徳水位観測所 4.7m 徳尾水位観測所 3.2m	警戒レベル3 高齢者等避難	警戒配備体制			

□令和5年台風第7号での対応
 計画作成時の議論通り、警戒レベル2で避難を開始した。
 ○警戒レベル3での避難開始は、遅いと改めて感じた。

1.円滑かつ迅速な避難のための取組 (1)情報伝達、避難計画等に関する事項

- ⑦住民、福祉施設入所者等の避難行動要支援者、道路・交通管理者、民間企業、マスコミ、ダム管理者等と連携したタイムラインの運用
- ⑧タイムラインの時系列に基づく実践的な訓練の実施

■ポータルサイトの改良①

令和4年10月の検討会で出た要望を令和5年度に実施

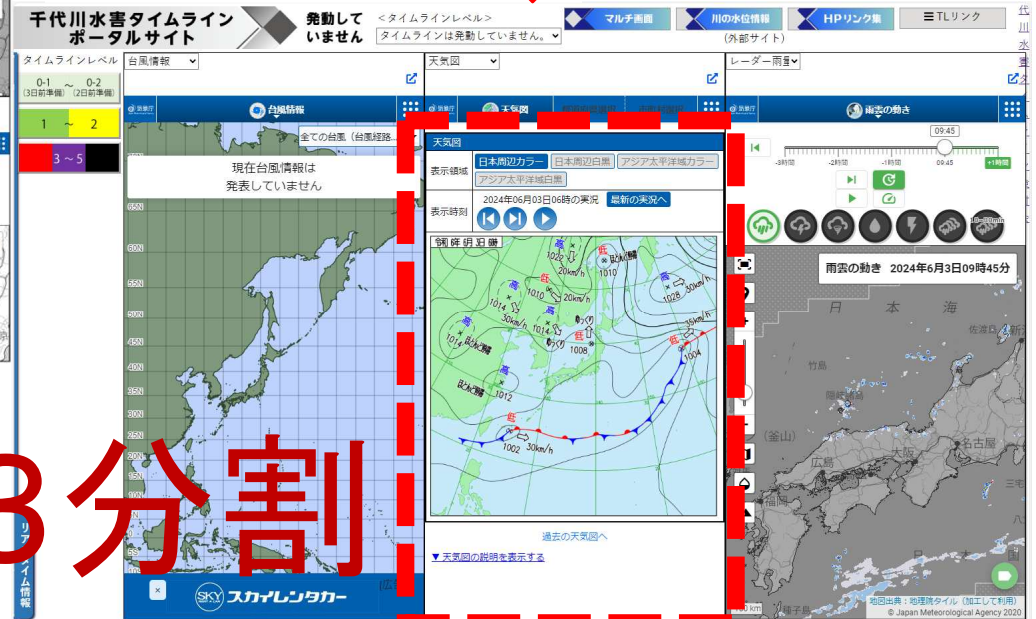
(要望)画面分割したサイトが小さくて見づらい ⇒5分割から3分割へ変更

改良前



範囲が狭く必要な情報が見づらい

改良後



視認性が向上し情報が見やすくなった

1.円滑かつ迅速な避難のための取組 (1)情報伝達、避難計画等に関する事項

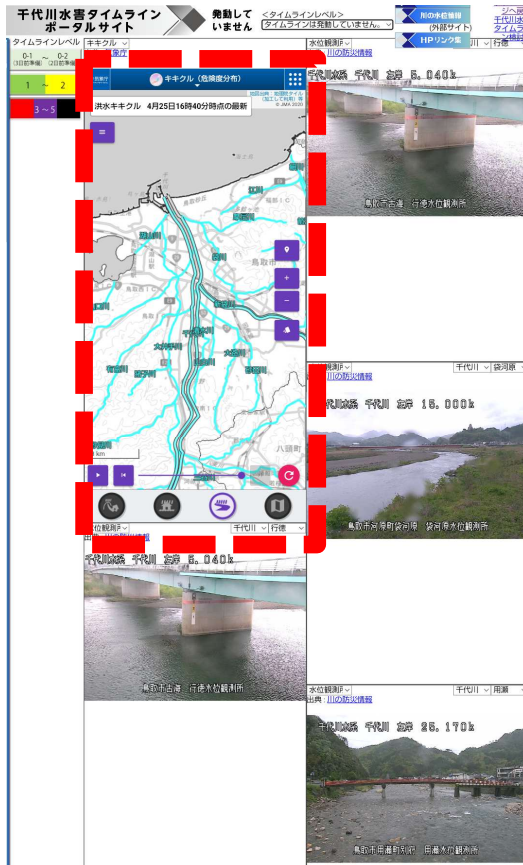
- ⑦住民、福祉施設入所者等の避難行動要支援者、道路・交通管理者、民間企業、マスコミ、ダム管理者等と連携したタイムラインの運用
- ⑧タイムラインの時系列に基づく実践的な訓練の実施

■ポータルサイトの改良②

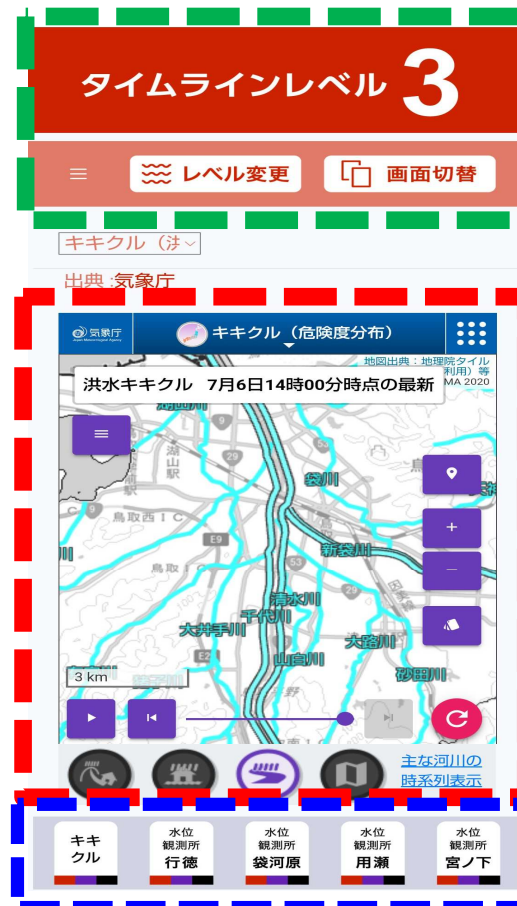
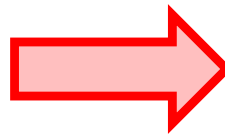
令和4年10月の検討会で出た要望を令和5年度に実施

(R4年度要望)スマートフォンの画面では、複数の情報を一度に見ると小さくて見づらい

⇒必要な情報を一つだけ選択して表示できるように改良



スマホの画面では表示が小さくて見づらい



タイムラインレベルを見やすく改良

一つの情報に限定

ボタンによりその他の情報を選択可能

1.円滑かつ迅速な避難のための取組 (1)情報伝達、避難計画等に関する事項

- ⑦住民、福祉施設入所者等の避難行動要支援者、道路・交通管理者、民間企業、マスコミ、ダム管理者等と連携したタイムラインの運用
- ⑧タイムラインの時系列に基づく実践的な訓練の実施

第11回タイムライン検討会(対面)【情報伝達訓練】

- 日時: 令和5年7月27日
- 目的: ポータルサイトの操作方法の習得、タイムラインレベルと実施項目の確認(情報伝達訓練)
- 参加機関: 20機関(気象台や自治体、警察、消防、インフラ企業(鉄道・バス・電力・ガス・通信)など)、
- 内容: ①各機関が発信する情報の共有、②自機関の実施すべき行動の確認
- 成果: **ポータルサイトを実際に操作・習得。読み合わせにより、各機関がタイムラインレベルに応じた行動を確認。**



ポータルサイトの操作



情報伝達訓練の実施状況

◇情報伝達訓練で対象とした実施項目

訓練 No.	実施項目		発信機関	TL2	TL3	TL4	TL5
1-1	水防警報の実施	水防警報の発令	鳥取河川国道事務所 河川管理課	○			
1-2		水防警報の情報受け、 水防団への指示(出動)	鳥取市	○			
2-1	避難情報の発令	避難指示の発表	鳥取市		○		
2-2		避難誘導の実施	智頭警察署		○		
3-1	計画運休の実施	運行停止	西日本旅客鉄道			○	
3-2	交通情報の報道	交通情報の速報対応	報道(事務局代読)			○	
4-1	指定河川洪水予報 (氾濫発生情報) の実施	関係機関への連絡	鳥取地方気象台				○
4-2		住民への周知	消防局 警防課				○

取組2 千代川水害タイムライン

1.円滑かつ迅速な避難のための取組 (1)情報伝達、避難計画等に関する事項

⑦住民、福祉施設入所者等の避難行動要支援者、道路・交通管理者、民間企業、マスコミ、ダム管理者等と連携したタイムラインの運用

○水防に係わる必要な情報がポータルサイトから効率的に入手できるように工夫

HPリンク集

The screenshot shows a grid of links categorized into:

- 河川・気象・ダム情報**: 国交省 川の防災情報, 河川に関する情報, 川の防災情報, 川の水位情報, 気象庁 指定河川洪水予報, 鳥取県リアルタイム雨量, 河川・道路・カメラ情報, 気象に関する情報, 気象庁 (天気図, 天気予報, 気象情報, 気象衛星, 台風情報, 気象警報・注意報, 風向風速).
- 災害・避難情報**: 災害・被害に関する情報, 内閣府, 消防庁, 国土交通省, 国土交通省 中国地方整備局, 鳥取河川国道事務所, 鳥取県 (あんしんトリピーなび, とっとりwebマップ), 鳥取市, 八東町, 智頭町, 若桜町, YAHOO!JAPAN (避難情報), 土砂災害に関する情報, 気象庁 (土砂災害警戒情報), 国土交通省 (土砂災害危険箇所, 土砂災害警戒情報), 鳥取県土砂災害警戒情報システム, 避難・救助の情報, 鳥取県警察 (鳥取警察署, 智頭警察署, 郡家警察署), 陸上自衛隊 (米子駐屯地), 鳥取県東部広域行政管理組合.
- 道路・交通情報**: 道路に関する情報, NEXCO西日本グループ (ハイウェイ交通情報), 国土交通省 中国地方整備局 (道路情報提供システム), 国土交通省 (道路防災情報, 道路防災情報WEBマップ (道路に関するハザードマップ)), 鳥取県 (通行規制情報一覧), 公益財団法人 日本道路交通情報センター (道路に関する情報道路交通情報Now), 交通に関する情報, JR西日本 (中国エリア運行情報), 日本交通株式会社, 日の丸自動車株式会社, ライフライン情報, 中国電力, 鳥取ガス(エネトピア), NTT西日本.
- メディア情報**: 報道機関の情報 (NHK, 日本海テレビジョン放送, 山陰放送, 山陰中央テレビジョン放送, 日本海ケーブルネットワーク, いなびょんびょんネット), 新聞社の情報 (毎日新聞社, 読売新聞社, 日本経済新聞社, 朝日新聞社, 新日本海新聞社, 山陰中央新報社), 海象に関する情報 (気象庁 (海上警報, 日別海面水温, 潮位観測, 波浪観測), 海上保安庁 海洋情報部 (潮汐・潮流情報), 国土交通省 中国地方整備局 (潮位情報), リアルタイム ナウファス (国土交通省港湾局 全国港湾海洋波浪情報網), ナウファス波浪データ, 海洋状況表示システム).

各情報をクリックすることでサイトへリンクします。

タイムラインの情報
発信内容から情報
を入手できる

情報発信内容一覧表

情報発信防災行動項目	TLNo	発信内容	発信基準	公開場所	発信機関
避難情報の発令・提供	198	・避難情報の発令状況	・指定河川洪水予報 ・水位到達情報 ・堤防の決壊に繋がる漏水や亀裂の発見 ・浸水拡大や床上浸水	・鳥取市HP(避難情報発令一覧)	・鳥取市
	311				
	418				
	584				
避難所の開設	245	・避難所の開設状況	・災害の状況を考慮した上で開設	・鳥取市HP(開設避難所一覧)	・鳥取市
	246				
	356				
	466				
ダム放流・操作情報の確認	119	・ダム放流情報	・貯水位	・中国地方整備局 ダム防災情報システム(殿ダム)	・鳥取河川国道事務所 殿ダム管理支所
	172				
	292				
	410				
鉄道の運行停止	254	・鉄道の運行停止状況	・一定時間の大雨または長時間の雨 ・一定以上の強い風	・JR西日本 列車運行情報	・JR西日本
	367				
	478				
	590				
バスの運行中止	484	・バスの運行中止状況	・一定時間の大雨または長時間の雨 ・一定以上の強い風	・日本交通株式会社鳥取エリア ・日ノ丸自動車株式会社	・日本交通株式会社 ・日ノ丸自動車株式会社
	596				
	114				
	176				
通行止め情報の確認	297	・通行止め情報	・規制基準雨量への到達 ・土砂崩落の恐れ ・道路冠水	・中国地方整備局 道路情報提供システム ・ハイウェイ交通情報 ・鳥取県HP(通行規制情報一覧)	・鳥取河川国道事務所 ・NEXCO西日本 ・鳥取県
	402				
	530				
	167				
氾濫の発生情報の確認	520	・内水氾濫の発生情報 ・堤防の決壊、氾濫発生状況	・氾濫の発生 ・指定河川洪水予報(氾濫発生情報)の発表	・気象庁HP(指定河川洪水予報) ・川の防災情報	・鳥取河川国道事務所 ・鳥取市下水道部

河川、気象、ダムなど各機関のもつ情報から情報入手できる

4.防災施設の整備等

④フラップ化等の無動力化を優先的に整備する対象施設を抽出し、順次整備を実施。

○令和5年度は、袋川の湯所第2樋門の無動力化を実施。
今後も、順次無動力化を実施する。

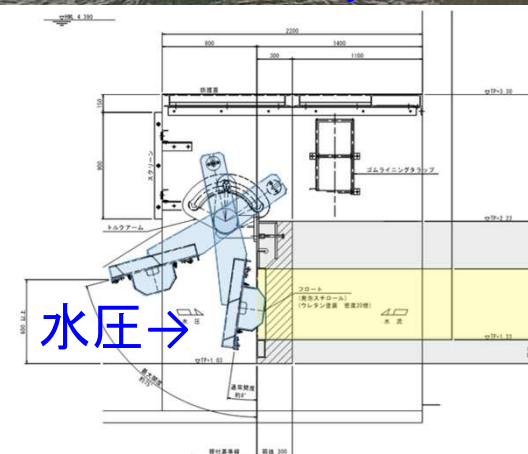
改良前



改良後



スライドゲートから、水位により自動で門扉が開閉するフラップゲートに変更することで、
操作員による操作が不要な省労力化の施設に改良



■ソフト対策

1. 多機関連携タイムラインの連携強化と訓練の実施
2. 要配慮者施設のタイムライン作成支援
3. 小学校などへの水害(防災)教育の拡充
4. 水防資機材の整備と情報共有
5. 排水施設の操作説明会
6. 排水ポンプ車による排水訓練

■ハード対策

1. 津波浸水リスク地域の樋門等の自動化・遠隔化の検討
2. 樋門等の無動力化(フラップ)

天神川水系大規模氾濫時の 減災対策協議会 資料

国土交通省 中国地方整備局
倉吉河川国道事務所



国土を**整**え、全力で**備**える

国土交通省
中国地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

これまでの検討経緯

- 令和2年度に、取組方針策定時の当初対象期間とした概ね5年が経過した。
- 天神川においては、多くの取組項目が完了しているが、緊急行動計画の改定の項目のうち、一部、未完了の項目や継続して実施すべき避難訓練等の項目が存在した。
- 現在までの取組状況や水防災に係る近年の動向を踏まえて、概ね5年（令和3年～7年度）に実施する取組を設定した。



■ソフト対策

1. 多機関連携型タイムラインの運用
2. まるごとまちごとハザードマップの実施
3. 要配慮者利用施設の避難確保計画作成・訓練実施の促進
4. 自主防災組織を対象とした防災知識の普及
5. 小学校を対象とした防災教育の実施
6. 合同点検・操作訓練の実施

■ハード対策

7. 排水対策の実施
8. 浸透対策、パイピング対策、流下能力対策の実施

1. 多機関連携型タイムラインの運用

- 令和5年度は、小田水位観測所(天神川)や三朝水位観測所(三徳川)において、避難判断水位を超過する出水が発生したものの、**越水・溢水等による浸水被害は生じなかった**ため、令和5年6月の顔合わせ・読み合わせに加えて、令和6年2月に出水期でのタイムライン運用を踏まえたタイムライン見直し(案)の確認を実施した。
- 具体的に、タイムライン見直し(案)としては、**運用支援システムの改良方針の提示**を行った。

令和5年
6月6日

第11回検討会（令和5年第1回検討会）

□顔合わせ、タイムライン修正版を踏まえた読み合わせ 等

実際の出水での運用
・令和5年台風第7号

令和6年
2月2日

第12回検討会（令和5年第2回検討会）※

□振り返りアンケート結果、運用支援システム改良方針 等

※書面開催



令和5年度 第1回 天神川水害タイムライン検討会の様子

【関係機関からの主な意見】

- 天神川水害タイムラインのホットライン運用について、現在は、緊急時に県危機管理局が主導してオンラインで常時接続すると聞いたが、ここはそのように読み替えたらいかが。松江地方気象台や関係機関とも情報共有できる場と認識している。

【座長講評】

- 線状降水帯が発達すると、タイムラインレベルが「0」や「1」からではなく、「2」や「3」から始まる場合がある。タイムラインレベルが上がるほど時間的な余裕はなくなるので、本検討会で配布した資料を確認して自機関が何をしなければならないのかを把握していただきたい。タイムラインレベルの立ち上げと解除については、倉吉河川国道事務所からメールにより案内があるため留意いただきたい。
運用支援システムについて、本検討会では説明ができなかったが、掲載内容の理解はそこまで難しいないので、出水時に円滑な運用ができるように担当者の方は平時から運用支援システムの習熟を行っていただきたい。

1. 多機関連携型タイムラインの運用

▶ 出水期振り返りアンケート調査結果を踏まえて、運用支援システムについて下記の通り改良を行う予定です。

①河川水位とカメラ画像が同時に確認できるように運用支援システム(水位が分かる)を改修

②外部サイトのリンク追加(樋門情報提供システム、とっとり雪みちNavi)

水位が分かる

現在の状況 【河川状況の把握(川の水位情報)】



現在の状況 【洪水危険度を把握(水害リスクライン)】




水位: 竹田橋 (天神川7.3k) 表示

水位観測所名	竹田橋
北鑑名跡水位(m)	5.95
遊歩帯水位(m)	4.7
注意水位(m)	3.9
水防団待機水位(m)	2.9
ゼロ点高(標高m)	9.008

表示モード: 読み値表示 標高表示

時刻	水位(m)
13:40	1.63→
13:50	1.63→
14:00	1.63→
14:10	1.63→
14:20	1.63→
14:30	1.63→
14:40	1.63→
14:50	1.63→
15:00	1.63→
15:10	1.63→
観況 15:20	1.63→



【現在の様子】



【平常時の様子】



追加

- TOP画面へ
- 水位が分かる
- 現地状況が分かる
- 道路情報が分かる
- 気象情報が分かる
- 台風の進路が分かる
- 停電情報が分かる

「水位が分かる」の改修イメージ

1. 多機関連携型タイムラインの運用

▶ 出水期振り返りアンケート調査結果を踏まえて、運用支援システムについて下記の通り改良を行う予定です。

① 河川水位とカメラ画像が同時に確認できるように運用支援システム(水位が分かる)を改修

② 外部サイトのリンク追加(樋門情報提供システム、とっとり雪みちNavi)

倉吉河川国道事務所 樋門情報提供												
樋門情報一覧												
<現況情報> 2023/12/12 10:10 現在												
委託行政名	施設名	観測水位 (内水位 (m))	新基準水位									
			樋門・樋管地点 (m)			基準観測所地点 (m)						
			警戒水位	操作水位	退避水位	観測所名	観測水位	通知水位	観測所名	観測水位	退避水位	
湯梨浜町	1	長瀬排水樋門	2.10 ▲	1.13	1.36	2.22	長瀬	2.00 ▲	2.10	小田	3.52 -	7.80
北栄町	2	東新田排水樋門	1.05 -	1.14	1.38	2.33	長瀬	2.00 ▲	2.10	小田	3.52 -	7.20
	3	江北排水樋門	5.89 ▲	1.78	2.54	5.86	小田	3.52 -	3.20	小田	3.52 -	7.20
委嘱	4	北田川排水樋門	2.45 ▼	3.36	4.62	5.40	小田	3.52 -	5.80			
倉吉市	5	沢井手排水樋門	0.21 -	0.43	2.04	4.06	小田	3.52 -	3.90			
三朝町	6	大瀬第1排水樋門	0.89 -	1.09	1.70	2.46	竹田橋	3.27 ▼	4.80			
倉吉市	7	玉川下流排水樋門	0.10 ▼	0.20	1.50	4.32	小田	3.52 -	2.20			
	8	玉川上流排水樋門	1.65 -	1.64	2.07	5.66	河原町	1.28 ▲	1.40			
三朝町	10	大瀬第2排水樋門	0.22 -	0.52	1.50	3.52	竹田橋	3.27 ▼	4.50			
	11	和田排水樋門	0.64 -	0.70	2.07	4.57	-	-	-			

倉吉河川国道事務所 樋門情報提供

天神川0k300L 東新田場排水樋門

<現況情報> 自動更新 ON

内水位	2.33m ▲	2023/11/11 10:10現在	退避水位: 2.33m	操作水位: 1.38m	警戒水位: 1.14m
外水位	1.88m ▲	2023/11/11 10:10現在			
流速	0.50m/s ▲	2023/11/11 10:10現在			
流向	堤内地側 ← 天神川	2023/11/11 10:10現在			
状態	正常	2023/11/11 10:10現在			

<履歴情報>

11/11 10:00	11/11 9:50	11/11 9:40	11/11 9:30	11/11 9:20	11/11 9:10
1.38 ▲	1.14 ▲	1.13 =	1.13	欠測	1.13 =
1.87 =	1.87 =	1.87 ▼	1.88	欠測	1.88
0.4 ▲	0.3 =	0.3 ▼	0.4	欠測	0.4 =
堤内地側 ← 天神川	堤内地側 ← 天神川	堤内地側 ← 天神川	堤内地側 → 天神川	不明	堤内地側 → 天神川
正常	正常	正常	正常	故障	正常

樋門情報提供システムのイメージ

1. 多機関連携型タイムラインの運用

▶ 出水期振り返りアンケート調査結果を踏まえて、運用支援システムについて下記の通り改良を行う予定です。

① 河川水位とカメラ画像が同時に確認できるように運用支援システム(水位が分かる)を改修

② 外部サイトのリンク追加(樋門情報提供システム、**とっとり雪みちNavi**)



「とっとり雪みちNavi」のリンク追加イメージ

2. まるごとまちごとハザードマップの実施

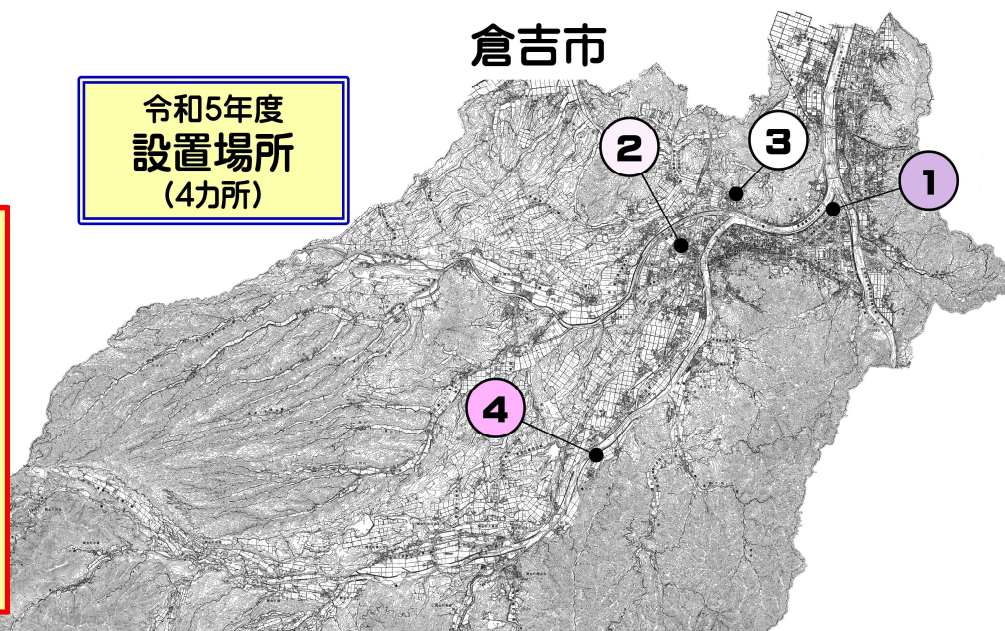
- ハザードマップに記載されている**浸水深や避難所等の情報を、標識として「まちなか」に表示**することにより、住民の防災への意識を高めるとともに、浸水深等の知識の普及を図り、発災時には安全かつスムーズな避難行動につなげることを目的に、天神川水系の沿川自治体では、まるごとまちごとハザードマップを実施しています。
- 令和5年度は、倉吉市内で自主防災組織により**まるごとまちごとハザードマップが新たに4か所設置**されました。



「まるごとまちごとハザードマップ」とは
 千年に一度起こるかどうかの猛烈な大雨で予想される最大浸水の深さを”まちなか”に表示して、地域の洪水の危険性を知ることによって防災への意識を高めます。

令和5年度は、自主防災組織が想定浸水深看板を設置する経費の1/2を倉吉市が助成する制度を活用し、4箇所の設置がありました。

倉吉市が小中学校などに設置した27施設に加え、自主防災組織の設置が10施設となり、市内計37施設の設置数になりました。※国及び県の設置は含まれていません。



No.	施設名	設置者	想定浸水深
1	上灘コンフォート・ステーション	見日町自主防災会	5.2m
2	西福守町自治公民館	西福守町自主防災会	2.9m
3	ひかり会館	馬場町自主防災会	1.8m
4	若土自治公民館(中村集会所)	若土自主防災会	2.4m

5m以上
 3m以上5m未満
 3m未満



2. まるごとまちごとハザードマップの実施

- ハザードマップに記載されている**浸水深や避難所等の情報を、標識として「まちなか」に表示**することにより、住民の防災への意識を高めるとともに、浸水深等の知識の普及を図り、発災時には安全かつスムーズな避難行動につなげることを目的に、天神川水系の沿川自治体では、まるごとまちごとハザードマップを実施しています。
- 令和5年度は、倉吉市内で自主防災組織により**まるごとまちごとハザードマップが新たに4か所設置**されました。

上灘コンフォート・ステーション(見日町)



若土自治公民館(若土)



西福守町自治公民館(西福守町)



ひかり会館(馬場町)



3. 要配慮者利用施設の避難確保計画作成・訓練実施の促進

- ▶ 令和元年度より、要配慮者利用施設の避難確保計画作成及び訓練実施を完了するための取組を加速しています。
- ▶ 各市町の要配慮者利用施設における避難確保計画の作成状況も上がっています。
- ▶ 今後は、避難確保計画の作成に加え、**訓練実施の支援**も促進する必要があります。

「大規模氾濫減災協議会」の運用について（平成29年6月19日）【抜粋】

7. 協議会での取組事項

(1) ① - 1カ 要配慮者利用施設等における避難確保計画の作成・訓練に対する支援

- ・洪水浸水想定区域内における要配慮者利用施設及び地下街等の立地状況を確認するとともに、市町村地域防災計画に定められた要配慮者利用施設の避難確保計画及び地下街等の避難確保浸水防止計画の作成状況、訓練の実施状況を確認する。
- ・避難確保計画の作成状況や訓練の実施状況を踏まえ、それぞれの取組を促すための支援策について検討調整する。また、施設職員だけで対応することが難しい場合の地域の支援体制について検討・調整する。

避難確保計画の作成状況

	対象施設数	避難確保計画 作成済み施設数
倉吉市	174	172
三朝町	12	11
湯梨浜町	32	30
北栄町	32	26

避難確保計画に基づく訓練の実施状況

	訓練実施済の 施設数
倉吉市	122
三朝町	5
湯梨浜町	19
北栄町	26

作成数・訓練の実施数は、進捗管理表のアンケート結果より集計（R6.3）

4. 自主防災組織を対象とした防災知識の普及

- 倉吉河川国道事務所では、近年洪水に関する地域住民の関心が高まる中、積極的に防災講習会を行っています。令和5年度は、倉吉市下田中地区・上灘地区の住民から要望を受けて講習会を実施しました。
- 講習会では、過去の水害写真や洪水浸水想定区域図を用いて各地区の**水害リスク等を説明**しました。また、地区住民の高齢化が進んでいることから、**避難時の留意事項**や**早めの避難行動**を呼びかけました。

倉吉市下田中地区

【実施日】令和5年6月29日(火)

【開催場所】下田中町自治公民館

【参加者】下田中地区住民 35名

【感想】

- 講習を受けてマイ・タイムラインを見直したい
- 改めて防災について考えたい



倉吉市上灘地区

【実施日】令和5年7月7日(金)

【開催場所】上灘コミュニティセンター

【参加者】上灘地区住民 24名

【感想】

- 講習を受けて避難方法を見直したい
- ゲリラ豪雨による内水氾濫が心配だ



5. 小学校を対象とした防災教育の実施

- 倉吉河川国道事務所では、川の防災教育を継続的に実施しており、その取り組みの一環として、倉吉市立小鴨小学校・河北小学校の保護者・教職員に「**天神川の防災(水害)**」について出前講座を行いました。
- 当日は、**天神川の特徴**や**過去の被害**、**浸水想定区域**、**流域治水**の取り組みについて説明を行いました。また、各々の家庭で、水害時の行動計画を立てられるようにするため、**マイ・タイムラインの作成手順**について説明を行いました。

倉吉市立小鴨小学校

【実施日】令和5年6月6日(火)

【参加者】保護者・教職員 約60名

【感想】

- ・ 災害時での対応や避難行動計画を家で確認してみようと思った
- ・ 住む場所の水害の程度が想定でき具体的な逃げ方が分かった
- ・ 改めて水害の恐ろしさを感じる事が出来た
- ・ マイ・タイムラインというものを初めて知れたので家族でやってみようと思いました



倉吉市立河北小学校

【実施日】令和5年11月20日(月)

【参加者】生徒 約50名

【感想】

- ・ 珍しい生き物が色々知れた
- ・ 天神川の災害がネットより詳しく知れた
- ・ 天神川の名前の由来が分かった
- ・ 上流にオオサンショウウオがいることが分かった
- ・ 天神川の事がよく分かった



6. 合同点検・操作訓練の実施

- ▶ 天神川水系直轄管理河川に係る洪水時に危険が予測され重点的に点検が必要な箇所(重要水防箇所)について、沿川の自治体(倉吉市、三朝町、湯梨浜町、北栄町)及び水防団と**合同点検**や情報共有を行いました。
- ▶ 倉吉河川国道事務所では、出水期に備え、非常時における災害復旧作業を迅速に行うことを目的として**災害対策用機械**(排水ポンプ車等)の**操作訓練**を実施しました。

重要水防箇所 合同点検



災害対策用機械 操作訓練



7. 排水対策の実施

- 倉吉市福庭東地区では、近年の豪雨災害で浸水被害が頻発している。倉吉市は、浸水被害を防止するために、北田川に**簡易堰**を設置しました。令和6年度には、排水ポンプを併用した浸水対策効果検証を実施予定です。
- 倉吉市は、令和4年度末に購入した排水ポンプ車を、令和5年台風第7号で不入岡排水樋門に配備して運用を行いました。倉吉河川国道事務所と連携した排水対策により、西福守地区の浸水被害軽減に貢献しました。

簡易堰の設置(福庭東地区)



簡易堰設置のイメージ

排水ポンプ車の運用(西福守地区)



配備した排水ポンプ車(排水能力：30m³/分)

8. 浸透対策、パイピング対策、流下能力対策の実施

- 倉吉河川国道事務所では、氾濫による危険性が特に高い区間において、洪水を安全に流下させるため必要な樹木伐採・河道掘削等を実施しています。
- 令和5年度は、小鴨川(生竹地区)において洪水時に増水した河川水を安全に流下できるように**河道掘削**を実施しました。また、洪水による堤防の侵食を防ぐために**根固め工**を整備しました。

■ 令和5年度事業実施箇所



<河道掘削前>



<河道掘削後>



■ソフト対策

1. 多機関連携型タイムラインの運用
2. まるごとまちごとハザードマップの実施
3. 要配慮者利用施設の避難確保計画作成・訓練実施の促進
4. マイ・タイムラインの作成支援
5. 内外水一体型水害リスクマップの作成

■ハード対策

6. 避難所の整備
7. 浸透対策、パイピング対策、流下能力対策の実施

1. 多機関連携型タイムラインの運用

- ▶ 天神川水害タイムライン検討会では、出水期でのタイムライン運用を踏まえたアンケート調査を実施し、この結果を踏まえた
 - ①タイムライン詳細版の見直し、②タイムライン総括版の見直し、③運用支援システムの改良を実施しています。
- ▶ 令和6年度の出水期前を目途に、令和6年度の運用について説明するための検討会の開催を予定しています。

「いつ」
・防災行動を行うタイミング(TLレベル毎に発表・情報状況を整理)

「何をするか」
・行動は、階層別に記載
・既存の防災計画等と整合性を踏まえて防災行動を整理

「誰が」
・担当機関の防災行動の役割を表示
◎：主体的に行動する機関
○：支援または協働する機関

多機関連携型タイムラインのイメージ

①詳細版：担当者が詳細な対応を確認できるタイムライン

A3サイズ

天神川水害タイムライン詳細版

②総括版：班長等が俯瞰的に作業の漏れがないかを確認できるタイムライン（水位上昇が早い天神川でも、短時間で最低限実施すべき内容がチェックできる）

A2サイズ

総括版は折りたたみ、持ち運びが可能な形式

天神川水害タイムライン総括版

③タイムライン運用支援システム：タイムラインに必要な防災情報を集約したシステム

天神川水害タイムライン運用支援システム

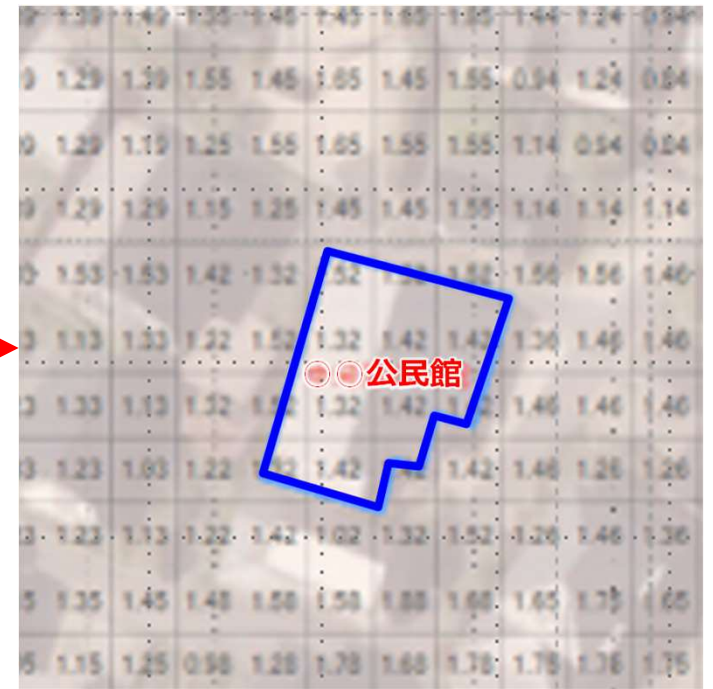
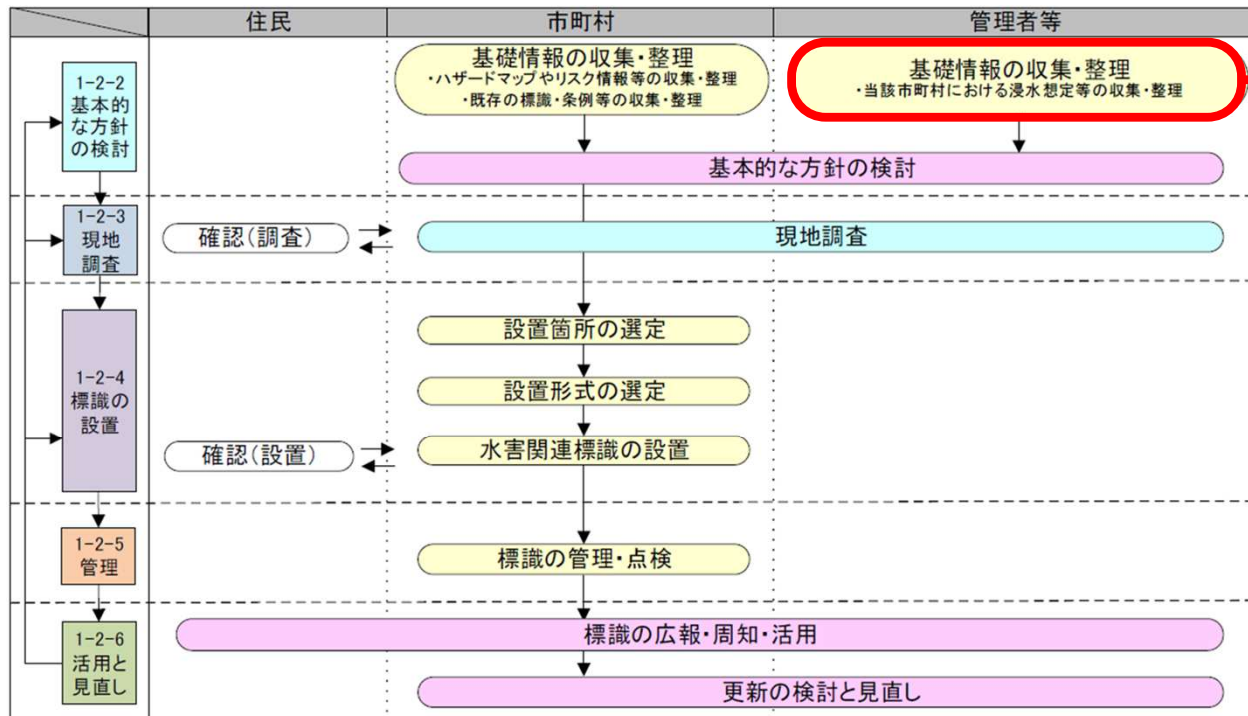
タイムライン運用支援システム (起動していません)

タイムラインレベルに関する情報	TLO相当	TL1相当	TL2相当	TL3相当	TL4相当	TL5相当
河川水位	今の状況	-	水防部待機水位超過	避難判断水位超過	冠水危険水位超過	-
山位	0.36m	-	3.5m	5.7m	6.9m	-
山位	1.61m	-	2.9m	4.7m	5.95m	-
山位	0.84m	-	2.2m	3.7m	4.2m	-
山位	2.29m	-	-	4.2m	5.0m	-
山位	0.64m	-	1.8m	3.3m	3.6m	-

運用支援システム

2. まるごとまちごとハザードマップの実施

- ▶ 天神川水系では、住民の防災意識向上や浸水深等の普及を目的に、まるごとまちごとハザードマップの整備を進めています。
- ▶ 倉吉河川国道事務所では、天神川流域市町のまるごとまちごとハザードマップ設置を支援するために、依頼があった施設等について、**洪水浸水想定区域の浸水深の確認**等を行っています。
- ▶ 倉吉市は、令和2年度よりまるごとまちごとハザードマップの設置を実施しており、令和4年度から自主防災組織による**標識設置に対する補助金制度**を導入しています。令和6年度も、引き続き**補助金制度を活用した標識設置を予定**しています。



設置予定箇所の浸水深の確認

- 単独実施 : 該当する関係機関がそれぞれ単独で実施する項目
- 分担実施 : 市町村が管理者等と連携しつつ実施する項目
- 共同実施 : 関係機関が共同で実施する項目

実施フロー詳細図 (まるごとまちごとハザードマップ実施の手引き 第2版 P.5)

3. 要配慮者利用施設の避難確保計画作成・訓練実施の促進

- ▶ 令和元年度より、要配慮者利用施設の避難確保計画作成及び訓練実施を完了するための取り組みが加速しています。
- ▶ 天神川流域市町の要配慮者利用施設において、避難確保計画の作成率は高い状況ですが、引き続き未作成の施設の**避難確保計画の作成支援**や**避難確保計画に基づく訓練実施**の支援をお願いします。
- ▶ 参考資料に、**避難確保計画支援動画**及び**避難確保計画の作成・活用に関するリーフレット**を付けております。

事務連絡
令和5年4月7日

北海道開発局 河川情報管理官 殿
 地域事業管理官 殿
 各地方整備局 地域河川課長 殿
 水災害予報センター長 殿
 水災害対策センター長 殿
 沖縄総合事務局 低潮線保全官 殿
 河川課長 殿

国土交通省水管理・国土保全局
 河川環境課水防企画室 課長補佐
 砂防部砂防計画課地震・火山砂防室 企画専門官

要配慮者利用施設における避難確保計画の作成支援資料の周知
 及び訓練実施の促進について

要配慮者利用施設において、大雨の際に円滑かつ迅速に避難を行うため、水防法及び土砂災害防止法では、市町村の地域防災計画に定められた要配慮者利用施設に対し、避難確保計画の作成、訓練の実施及びそれらを市町村長に報告することが義務付けられています。

今般、要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び訓練実施を促進するため、避難確保計画の作成や訓練について分かりやすくポイントをまとめたリーフレット及び動画を作成したほか、施設における訓練の実施にあたっての留意事項を取りまとめましたので、合わせて送付する都道府県宛事務連絡を管内都道府県に通知し、市町村を通じて施設管理者等に周知を図るとともに、訓練実施を促すようお願いします。

また、河川関係事務所に設置した「災害情報普及支援室」において、広報・啓発活動や技術的助言等の支援措置を実施願います。

【問合せ先】
 国土交通省水管理・国土保全局
 河川環境課水防企画室 課長補佐 深町（内線 35439）
 津波水防係長 古橋（内線 35457）
 TEL：03-5253-8111（代表） FAX：03-5253-1603
 砂防部砂防計画課地震・火山砂防室 企画専門官 竹島（内線 36152）
 地震対策係長 鈴木（内線 36154）
 TEL：03-5253-8111（代表） FAX：03-5253-1610

国土交通省ウェブサイト「要配慮者利用施設の浸水対策」
<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/main/saigai/jouhou/jieisuihou/bousai-gensai-suibou02.html>


避難確保計画に関する事務連絡

別紙

避難確保計画作成支援動画 「要配慮者利用施設における避難確保計画の作成・確認のポイント」

- 避難確保計画を作成する施設管理者等、及びその計画を確認し助言等を行う市町村職員向けに、避難確保計画の作成又は確認時において、避難の実効性を確保する上で基本となるポイントや注意すべきポイントについて理解を深め、計画の充実・改善を図っていただくことを目的とした学習用動画。
- 国土交通省で公表している「計画様式」や「チェックリスト」に沿って、**項目ごとの留意点について分かりやすく解説**しています。

URL: <https://youtu.be/Va4O0F33ucs> 【国土交通省YouTube】



【動画の画面例】

**要配慮者利用施設における
避難確保計画の作成・確認のポイント**

令和5年3月
国土交通省水管理・国土保全局
河川環境課 砂防計画課

2. 災害リスク等の確認

種別	確認項目	確認内容
水害(洪水、高潮)	洪水・出水・浸水想定区域	<input checked="" type="checkbox"/> 浸水深、浸水継続時間を確認 0.5m~3m 1日~3日未満
	高潮浸水想定区域	<input type="checkbox"/> 浸水深、浸水継続時間を確認 12時間~1日未満
	高潮浸水想定区域(高潮)	<input type="checkbox"/> 浸水深、浸水継続時間を確認 0.5m~3m 1日~3日未満
	津波災害警戒区域(津波)	<input type="checkbox"/> 浸水深、浸水継続時間を確認 2m
	津波災害警戒区域(津波)	<input type="checkbox"/> 浸水深、浸水継続時間を確認 90分
土砂災害	土砂災害特別警戒区域	<input type="checkbox"/> 浸水深、浸水継続時間を確認(以下の該当する分類に) 切り崩れ(急傾斜地の崩壊)
	土砂災害警戒区域	<input type="checkbox"/> 浸水深、浸水継続時間を確認 切り崩す(地滑り)

【計画様式】

社会福祉施設
避難確保計画

令和5年 月 日 作成

【チェックリスト】

項目	確認内容	確認結果
1. 計画の作成	計画の作成が完了しているか	○
2. 計画の更新	計画の更新が完了しているか	○
3. 計画の活用	計画の活用が完了しているか	○
4. 計画の訓練	計画の訓練が完了しているか	○
5. 避難誘導	避難誘導が完了しているか	○

5. 避難誘導

避難誘導の方法や避難に要する時間を確認

避難確保計画作成支援動画に関する説明資料(参照資料)

4. マイ・タイムラインの作成支援

- ▶ マイ・タイムラインとは住民一人ひとりのタイムライン(防災行動計画)であり、台風等の接近による大雨によって河川の水位が上昇する時に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理したものです。
- ▶ マイ・タイムラインの作成支援のためのツールとして、「逃げキッド」や「マイ・タイムラインかんたん検討ガイド」、「マイ・タイムライン検討のためのワークショップの進め方」などを国土交通省HPで確認可能です。

マイ・タイムラインのイメージ



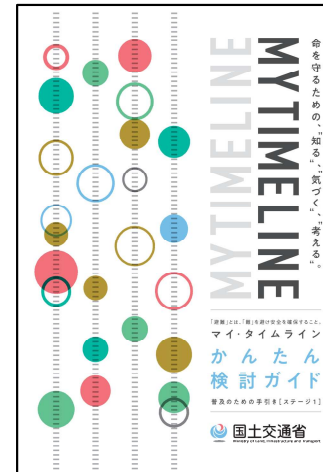
動画：岡谷さんのマイ・タイムライン
<https://www.youtube.com/watch?v=5RgYuFgeJoo>

要配慮者マイ・タイムライン

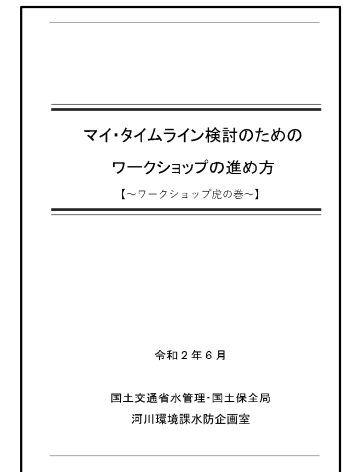
マイ・タイムライン作成支援のためのツール



逃げキッド



マイ・タイムラインかんたん検討ガイド



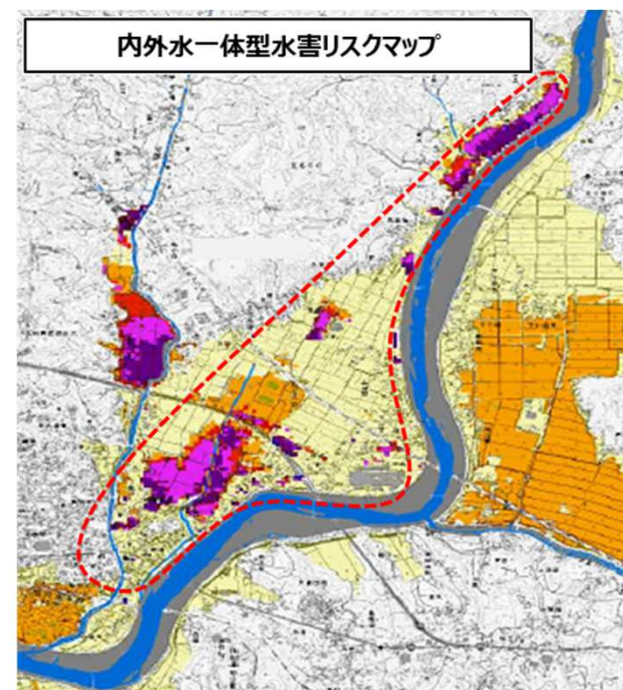
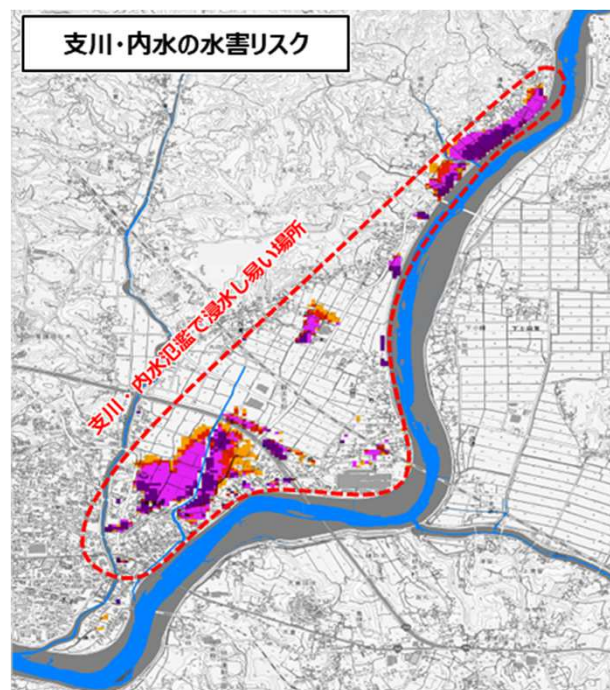
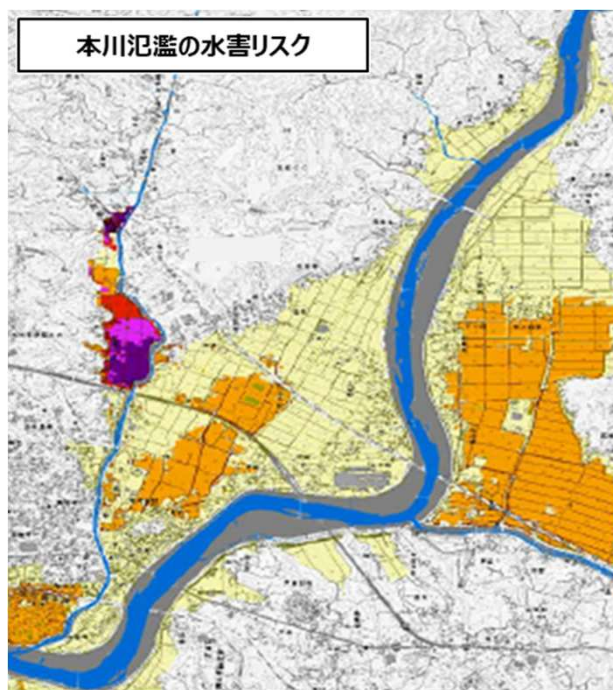
マイ・タイムライン検討のためのワークショップの進め方

逃げキッドを活用したタイムラインの作成方法解説動画 (YouTube)

5. 内外水一体型水害リスクマップの作成

- ▶ 現在公表されている洪水浸水想定区域図は、一般的に大河川・中小河川・下水道等の管理者別に作成・提供されており、それぞれが対象としている降雨規模等が異なることから、防災まちづくりの検討や避難検討で必要となる場所ごとのリスク情報を得るうえで十分とはいえない場合があります。

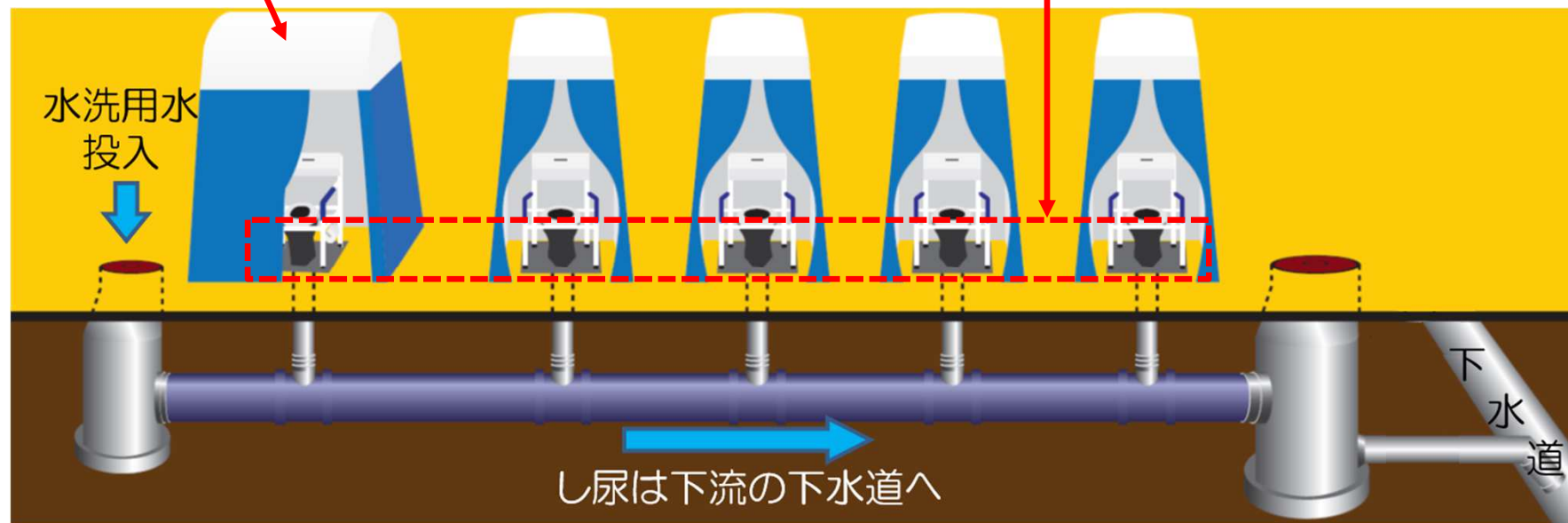
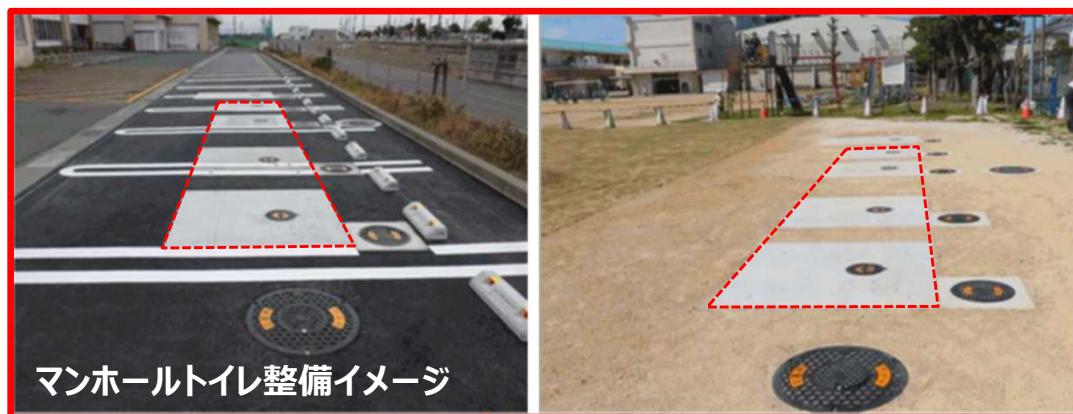
→沿川自治体が水害リスクを評価し、**中～高頻度の被害を軽減する減災対策(防災まちづくり、田んぼダム等)の検討や避難検討(本川氾濫前に支川・内水氾濫により避難し難くなる場所の確認等)に活用**できるように、今後河川管理者が**内外水一体型水害リスクマップ**を作成する。**河川毎ではなく支川や内水(下水道等)も考慮し、浸水しやすい地域や氾濫シナリオなどを検討し、自治体へ水害リスクを情報提供**していきます。



内外水一体型水害リスクマップのイメージ

6. 避難所の整備

- ▶ 天神川水系内で大規模な水害が発生し、多くの住民が避難所に避難する状況に陥った場合、避難者数のキャパシティに対して、既存のトイレ数では不足することが想定されます。
- ▶ 倉吉市は、避難してきた住民に衛生的な環境を提供するために、R6年度からR7年度にかけて市内の全小学校を対象に**マンホールトイレを整備**します(R6年度は、校区人口が多い河北小、西郷小、上灘小、社小、小鴨小学校で実施予定)。



マンホールトイレの構造

7. 浸透対策、パイピング対策、流下能力対策の実施

- 気候変動により頻発・激甚化する水害・土砂災害等に対する安全度の向上を図るために、これまでの河川管理者等による対策でなく、流域のあらゆる関係者の協働によるハード・ソフト一体の水災害対策として「**流域治水**」を推進しています。
- 天神川水系における流域治水の一環として、**小鴨川(生竹地区)**において、**河道掘削**等を実施し、早期に安全性の向上を図ります。

■ 事業箇所

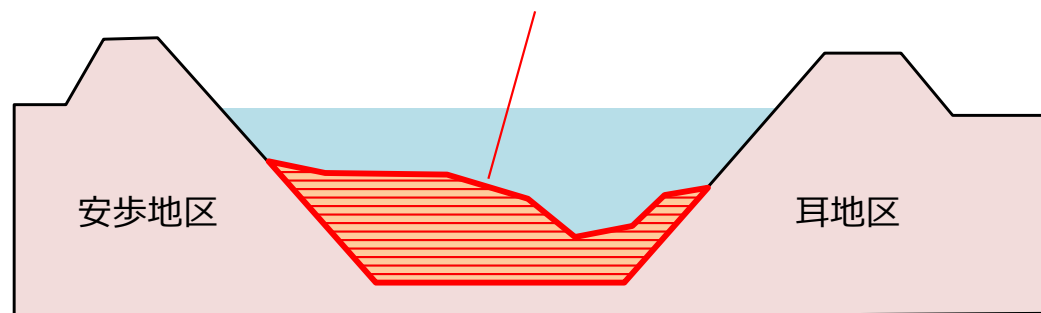
鳥取県倉吉市耳地先

■ 期待される整備効果

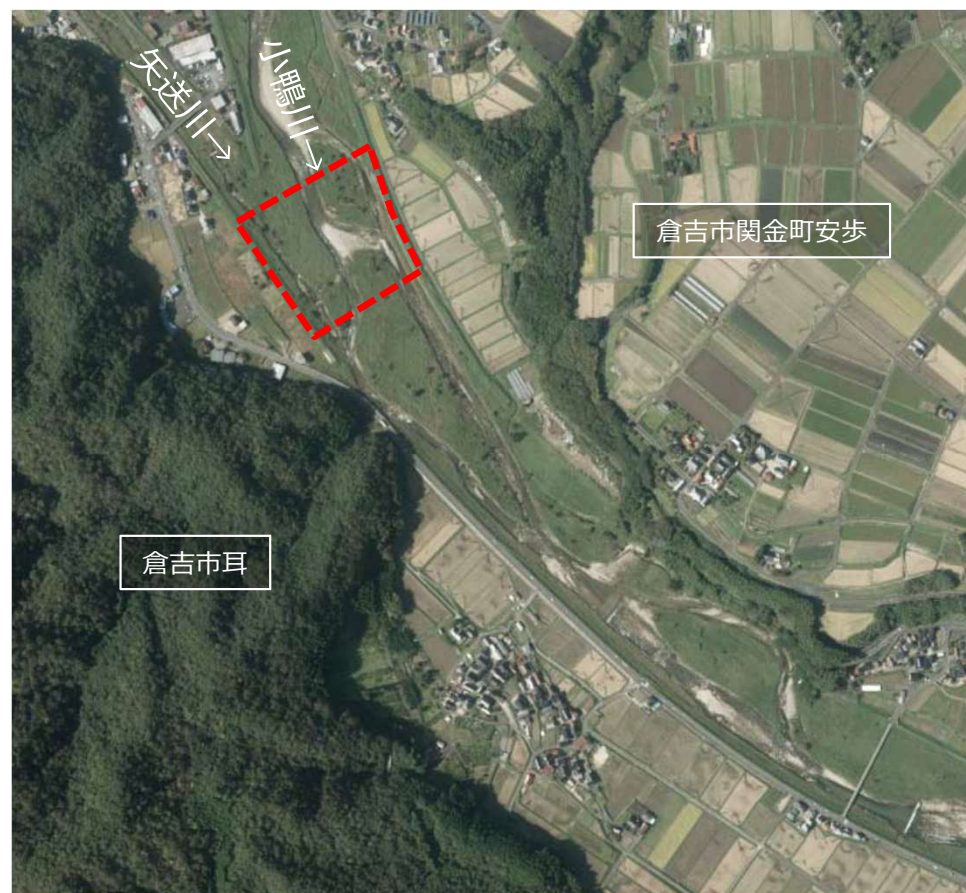
河道掘削を実施することで、戦後最大の洪水となる伊勢湾台風(昭和34年9月)が再び発生した場合において、周辺地域の浸水被害の防止が図られます。

【整備イメージ】

河川の断面を広げることにより、洪水を安全に流す能力が向上する。



■ 令和6年度 事業実施箇所





日野川水系大規模氾濫時の減災対策協議会

規約の主な改正点

- ・ 人事異動等による協議会及び幹事会構成員の役職、事務局の変更

①協議会構成員 鳥取県危機管理部の役職変更

※鳥取県 危機管理局長 → 危機管理部長

②幹事会構成員 鳥取県危機管理部の役職変更

※鳥取県 危機管理局 副局長兼危機管理政策課長 → 鳥取県 危機管理部 次長兼危機管理政策課長

③事務局 鳥取県県土整備部の変更

※鳥取県 県土整備部 河川課 → 鳥取県 県土整備部 河川港湾局 河川課

日野川水系大規模氾濫時の 減災対策協議会 説明資料

1. これまでの検討経緯・・・・・・・・・・P45
2. 令和5年度の主な取組内容・・・・・・・・P46
3. 令和6年度の主な取組予定・・・・・・・・P59

別紙：各取組項目におけるスケジュール

第13回 日野川水系大規模氾濫時の減災対策協議会

これまでの検討経緯

第1期

- 平成28年7月 ○ 「日野川水系大規模氾濫時の減災対策協議会」設立
- 平成28年8月 ○ 「日野川流域の減災に係る取組方針」策定
- 平成29年5月 ○ 減災対策協議会1回開催：フォローアップ他
- 平成29年6月 ○ 緊急行動計画
- 平成29～31年 ○ 減災対策協議会3回開催：行動計画反映、タイムライン検討会発足
- 平成31年1月 ○ 緊急行動計画の改訂
- 令和元～2年 ○ 減災対策協議会2回開催：ダム部会設置、フォローアップ 他

第2期 (現在)

令和3年6月 ○ 第9回減災対策協議会：今後5カ年（令和3～7年度）の取組方針

【5年間で取り組む項目】

- ①逃げ遅れゼロにおけた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- ②一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動等の取組
- ③防災意識の向上を図るべく防災教育(学習)拡充のための取組

令和3年10月 ○ 第10回減災対策協議会：規約改正

令和4年5月 ○ 第11回減災対策協議会：令和3年度フォローアップ

令和5年5月 ○ 第12回減災対策協議会：令和4年度フォローアップ

令和6年6月 ○ 第13回減災対策協議会：令和5年度フォローアップ



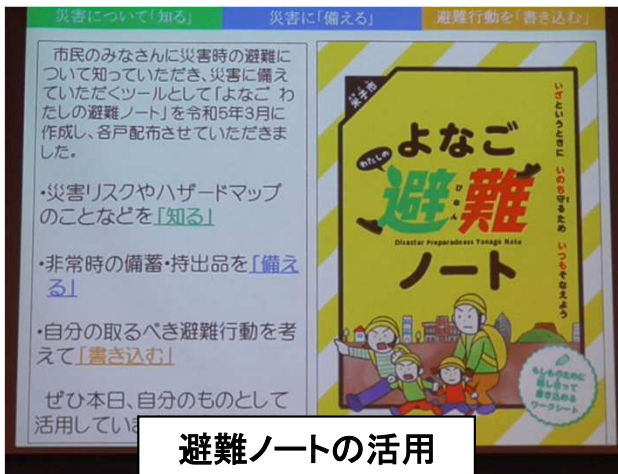
第12回協議会

1. よなご避難ノートの啓発講座
2. 避難所用品の購入、防災講演会・水防研修の実施
3. 水防資機材を使用した訓練の実施
4. 水防資機材の整備とその情報共有
5. 日野川水害タイムライン検討会
6. 小中学校などと連携した日野川水系の洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育の拡充
7. 気象キャスターによるマイ・タイムライン講座での水害(防災)教育の拡充
8. 排水計画に基づく排水訓練等の実施及び参加

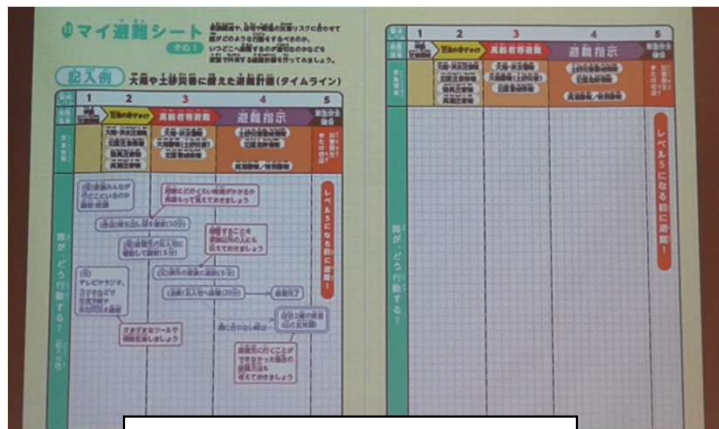
1. 令和5年度の主な取組内容

・**具体的取組** ○避難スイッチの取組・タイムライン作成支援のため、『よなご避難ノート』の使い方、書き込み方など啓発講座を行った。

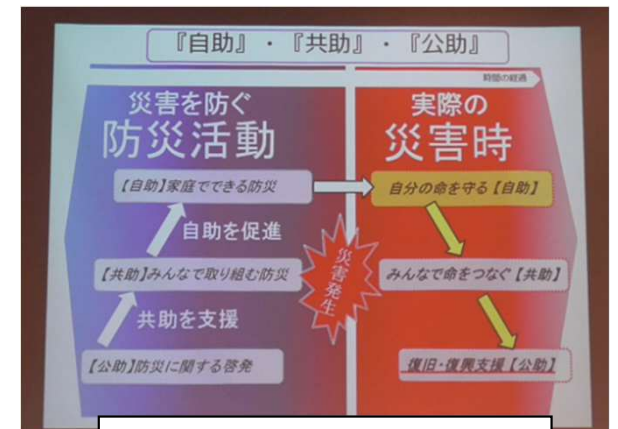
➤ 「よなご避難ノート」普及活用のため、主に高齢者中心でのコミュニティである市民講座「米子人生大学」において、総合的な普及講義を行い、周知と計画作成の啓発を行った。



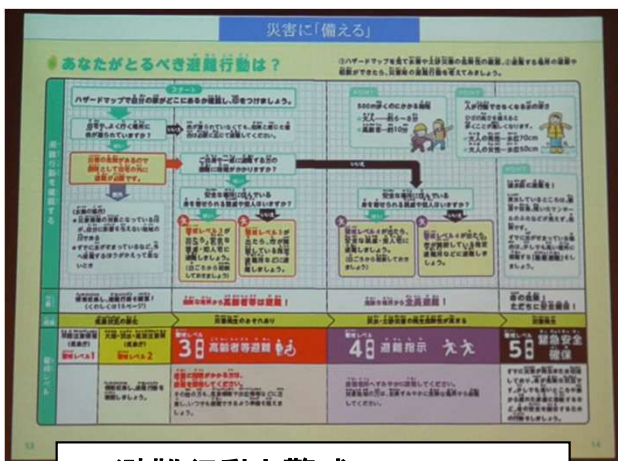
避難ノートの活用



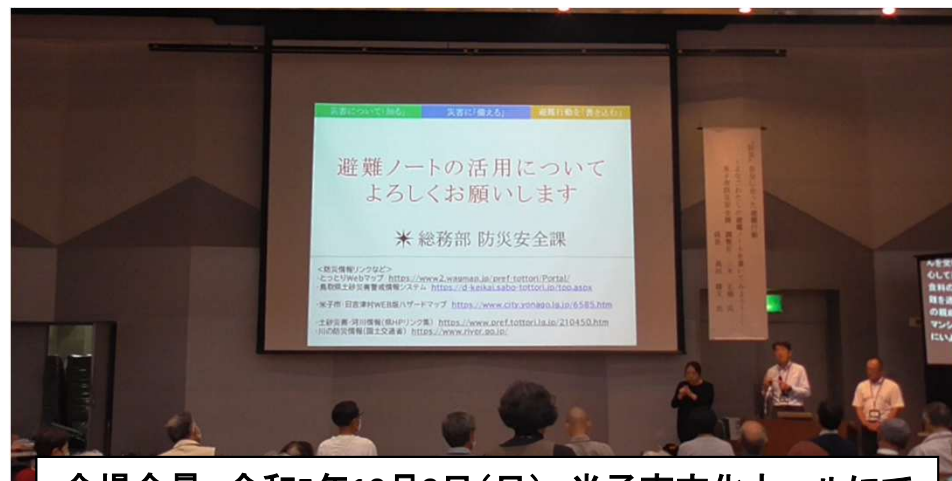
タイムライン(書き込み式)



自助・共助・公助 フロー図



避難行動と警戒Lvの一コマ



会場全景 令和5年10月9日(日) 米子市文化ホールにて

・避難所用物品の購入、防災講演会・水防研修の実施

- 避難所用物品等の購入
 - ・ ポータブル蓄電池 1台（フル充電時 ノートPC118時間、スマホ充電約300回分）
 - ・ 避難所用ベッド 約50台
 - ・ 土嚢袋 500枚
- 地域等での防災講演会の実施
 - ・ 食生活改善推進委員、伯耆町赤十字奉仕団、ロイヤルシティ大山リゾート等 計5回
- 職員向け水防研修の実施



赤十字奉仕団への講演の様子



避難所用ベッド



救助艇研修の様子

・水防資機材を使用した訓練の実施

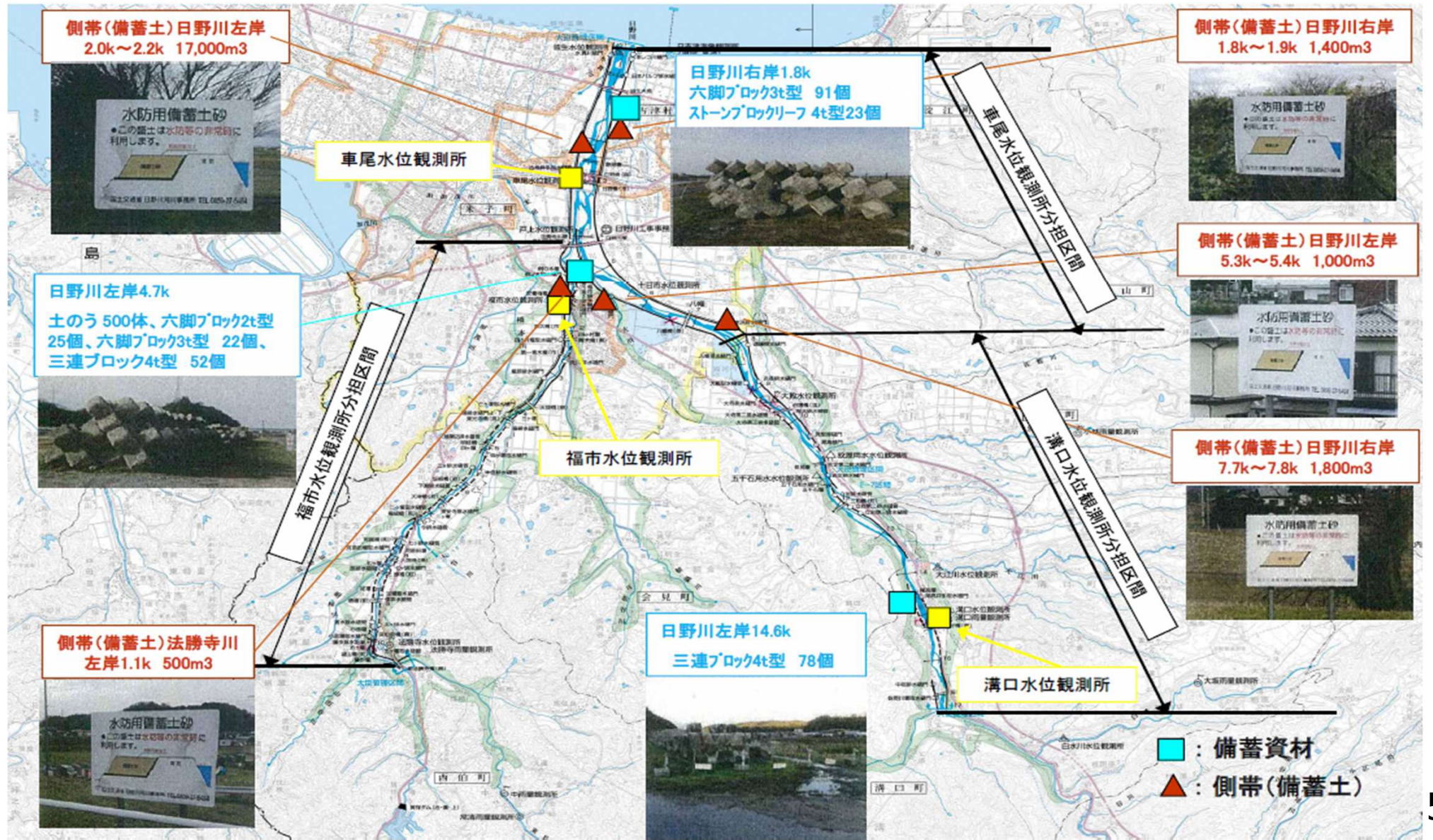
- 村防災訓練の想定災害の設定を「風水害」として実施。
- 消防団の訓練として、救助用ゴムボート及び排水ポンプ等を使用した、救助及び排水訓練を併せて実施。



小学校プールを利用し、救助用資機材訓練

・水防資機材等の整備とその情報共有

保有する水防資機材の状況を平素より管理し、必要に応じて補充するなど、緊急時における速やかな対応を図る。



・水防資機材等の整備とその情報共有

保有する水防資機材の状況を平素より管理し、必要に応じて補充するなど、緊急時における速やかな対応を図る。

備蓄資材及び備蓄土一覧表 (R5年4月現在)

日野川河川事務所 非常時 備蓄資材 調書 (日野川管理室 資材倉庫) 令和5年4月1日現在

資材名称	規格	備蓄数量		支所在庫		備考
		出張所	普沢ダム	合計		
土のう袋		20,400		20,400	袋	袋
土のう袋	耐候性	500		500	袋	袋
大型土のう		20		20	袋	袋
大型土のう	耐候性	280		280	袋	袋
オートフック	5t吊り用	2		2	基	基
ビニールシート	5.4m×2.7m	30		30	枚	枚
ビニールシート	5.4m×3.6m	20		20	枚	枚
金串	直径16mm 長さ1.2m	190		190	本	本
金串	直径16mm 長さ1.8m	50		50	本	本
二子縄		12		12	巻	巻
鉄線	10#亜鉛メッキ	400		400	m	m
軍手		2		2	打	打
掛矢		4		4	丁	丁
ペンチ		5		5	丁	丁
アングルカッター		5		5	丁	丁
シノ		6		6	丁	丁
タコ		2		2	本	本
スコップ		89		89	本	本
手ノコ		6		6	丁	丁
大ハンマー		3		3	丁	丁
かま		5		5	丁	丁
かま		7		7	丁	丁
一輪車		5		5	台	台
つるはし		5		5	丁	丁
トラロープ		1		1	丁	丁
ひしゃく		7		7	個	個
水能マット		2		2	枚	枚
水防マット		2		2	枚	枚
オイルフェンス	ナスコC3-A	4	15	19	本	15本 20m/本
オイルフェンス	ナスコクレモナフェンス	4		4	本	本 20m/本
オイルフェンス	スミレイ 直径7.5cm×10m×2本	11	6	17	箱	6箱
オイルマット	スミレイロングマット (20m)	4		4	箱	20m/箱
オイルマット	スミレイロングマット (10m)	1		1	箱	10m/箱
オイルマット	スミレイ万面旗型 22枚 (一連)		6	6	箱	6箱
オイルマット	もりの木太郎 (20枚入り)	20		20	箱	20枚/箱
オイルマット	タフネルオイルプロッター BL-50	3	9	12	本	9本 100枚/箱
オイルマット	タフネルオイルプロッター BL-65		1	1	本	1本 100枚/箱
オイルマット	αブルー1000シート	27		27	箱	箱 50枚/箱
オイルマット	オイルブロックマットタイプ	1		1	箱	箱 12枚/箱
ゲル化剤	マイティゲルライトMG-2000	2		2	缶	缶
ゲル化剤	マイティゲルライトMG-1650	2		2	缶	缶
粉末油吸吸剤	オイルスポンジパールタイプ	6		6	缶	缶
洗浄液	SC-1000	3		3	缶	缶
Bee Bee Worker		6		6	個	個
ゲル化剤散布機		1		1	台	台

■備蓄土

位置(地先名)	距離標(km)	完成年度	整備内容	関係市町村
日野川 右岸 (富吉地先)	1.8 ~ 1.9	S63	L=100m, B=9m, A=900m ² , V=1,400m ³	日吉津村
日野川 左岸 (皆生地先)	2.0 ~ 2.2	H2	L=200m, B=20m, A=4,000m ² , V=17,000m ³	米子市
日野川 左岸 (福市地先)	5.3 ~ 5.4	S62	L=80m, B=7m, A=560m ² , V=1,000m ³	米子市
日野川 右岸 (八幡地先)	7.7 ~ 7.8	H元	L=120m, B=6m, A=720m ² , V=1,800m ³	米子市
法勝寺川 左岸 (宗像地先)	1.1	H元	L=50m, B=6m, A=300m ² , V=500m ³	米子市

■ブロック

位置(地先名)	距離標(km)	備蓄内容
日野川 右岸 (日吉津村富吉地先)	1.8	六脚ブロック3t型(3.41t) 91個、ストーンブロック74t型(3.6t) 23個
日野川 左岸 (米子市福市地先)	4.7	土のう 500体、六脚ブロック2t型(1.98t) 25個、六脚ブロック3t型(3.41t) 22個、三連ブロック4t型(3.89t) 52個
日野川 左岸 (伯耆町宇代地先)	14.6	三連ブロック4t型(3.89t) 78個

第8回 日野川水害タイムライン検討会

令和5年6月8日(木)

国土交通省 日野川河川事務所 (13:30~15:00)

-次第-

- 1.開会挨拶
- 2.日野川水害タイムラインの概要
- 3.日野川水害タイムラインの運用について
- 4.日野川水害タイムラインの読合せ
- 5.令和5年度出水期の運用に向けた留意事項
- 6.連絡事項
- 7.質疑応答
- 8.講評
- 9.閉会挨拶

令和5年度の出水対応に向けて、タイムラインの運用や各機関の防災行動について確認することを目的とした第8回検討会を開催しました。

◆参加機関

米子市	防災安全課、道路整備課、 学校教育課、水道局	交通 機関	JR西日本(株)、日ノ丸自動 車(株)
伯耆町	総務課、地域整備課	ライフ ライン	中国電力ネットワーク(株)、 米子ガス(株)
南部町	総務課、建設課、健康福祉課	通信イン フラ	NTT西日本(株)
日吉津村	建設産業課、教育委員会事務局	報道 機関	山陰中央テレビジョン放送 (株)、(株) DARAZコミニティ 放送
鳥取県	河川課、米子県土整備局、警察 本部、米子警察署、黒坂警察署、 西部広域行政管理組合消防局	国土 交通省	倉吉河川国道事務所、 日野川河川事務所
気象庁	鳥取地方気象台	出席：17機関 39名	
福祉施設	なんぶ幸朋苑、 米子ワークホーム		

◆タイムラインの読み合せ

＜第7回検討会で挙げられた意見を踏まえたタイムラインの改善方針＞

テーマ	改善方針
①出水時の情報 統制について	✓タイムライン策定以降、 本格的な出水が発生していない ため、まずは重要行動項目とそれに関する情報を読み合わせにて確認。
②タイムライン レベル発動・移行時の情報発信 内容について	✓タイムラインレベル発動・移行時のメールへ「次のメール発信予定」を記載し、 関係機関が次の行動を取る目安 の情報を継続的に発信。
③タイムライン 解説動画、学習 サイトについて	✓タイムラインの引継ぎに活用できるツールとして、 タイムライン解説動画、学習サイトを構築 。
④オンライン 情報共有に ついて	✓出水時は各機関の防災対応で忙しいため、 関係機関が参加しやすい台風説明会 との同時開催で運用。
⑤マルチ画面 お気に入り機能 について	✓スマートフォン対応として、 画面分割数も選択 できるお気に入り機能を追加。

・令和4年12月に開催した第7回検討会で挙げられた意見を踏まえた**タイムラインの改善方針**に基づき、タイムラインの読み合せを実施。

- 読み合せ(1)自機関の行動項目、
各機関が発信する情報の確認
- ▶タイムラインのレベル毎に、防災行動の全体像や、自機関の行動項目、各機関が発信する情報を確認
- 読み合せ(2)タイムラインの運用・活用方法
- ▶テーマ②～⑤の改善方針について事務局より説明



＜タイムラインレベル毎のイメージする状況＞



＜検討会の様子＞



◆タイムラインの概要、運用方法の確認

- ・出水期に向けたタイムラインの確認や、新任の方に理解を深めて頂くことを目的として、タイムラインの概要や運用方法を事務局より説明。
- ・タイムラインの引継ぎツールとして作成した**タイムライン解説動画**を用いて説明。(動画は日野川河川事務所YouTubeに後日アップロード予定)

＜タイムラインの概要、

運用方法の確認内容＞

- ✓タイムラインとは
- ✓タイムラインが想定する浸水被害
- ✓立ち上げ・レベル移行基準の修正案
- ✓タイムラインの活用場面 等



◆講評



鳥取大学 黒岩教授

- ▶出水時の情報共有を的確に行うためには、**タイムラインについて平時から理解を深めて頂くことが重要**である。
- ▶今後も関係機関に意見を頂きながら**タイムラインをブラッシュアップし、人命や財産の保全に努めて頂きたい**。



鳥取大学 三輪教授

- ▶タイムラインの運用においては、**多くの機関から発信される情報を収集・活用**することが重要である。
- ▶新しい担当の方もタイムラインを確認して頂き、「**逃げ遅れゼロ**」を目指して尽力して頂きたい。

◆まとめ

- ・令和5年度の出水期への備えとして、**タイムラインの概要や運用方法、各レベルにおける防災行動の全体像や自機関の防災行動を確認**することができた。
- ・本検討会の意見を踏まえてタイムラインをブラッシュアップし、各機関における**出水対応の円滑な実施**を目指す。

第9回 日野川水害タイムライン検討会

令和5年12月7日(木)

国土交通省 日野川河川事務所 (10:00~12:00)

- 次第-
- 1.開会挨拶
 2. 令和5年度の振り返り
 - 3.事前アンケート結果について
 - 4.状況付与に基づく連携課題の抽出
 - 5.連絡事項・質疑応答
 - 6.講評
 - 7.閉会挨拶

令和5年の出水対応の振り返り、タイムラインのブラッシュアップに向けた課題・解決策の検討を目的として、第9回検討会を開催しました。

◆参加機関

出席：20機関 32名

米子市	福祉施設 なんぶ幸朋苑、よなご大平園
防災安全課、水道局	ライフライン
伯耆町	中国電力ネットワーク㈱、 米子ガス㈱
総務課	交通
南部町	西日本旅客鉄道㈱
総務課	通信インフラ
鳥取県	NTT西日本㈱
危機管理政策課、河川課、米子県 土整備局、米子警察署、黒坂警察 署、西部広域行政管理局消防局	報道機関
気象庁 鳥取地方気象台	㈱DARAZコミュニティ放送
防衛省 陸上自衛隊	国土交通省 日野川河川事務所

<検討会の様子> 対面+Web会議併用で開催



◆令和5年出水期の振り返り

- 令和5年出水期における中国管内の出水概要、台風7号による鳥取県内の被害状況を共有した。
- 日野川においては、**タイムラインを計4回発動し、うち2回はレベル1に到達したものの、大きな被害は発生しなかった。**

<タイムラインの発動状況>

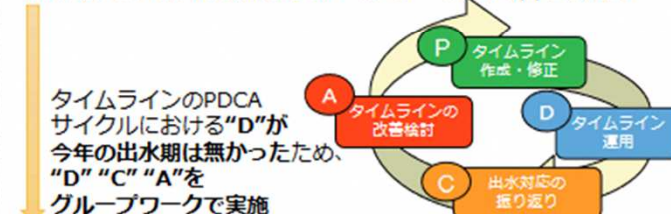
	期間	要因	レベル到達
①	6/30~7/1	梅雨前線への警戒	レベル注意
②	7/7~10	梅雨前線への警戒	レベル注意
③	7/13~14	梅雨前線への警戒	レベル1
④	8/14~16	台風第7号	レベル1

◆事前アンケート結果

- 事前に関係機関に実施した令和5年出水期振り返りアンケート結果を共有した。
- アンケートでは「**台風7号により鳥取市等では孤立被害が発生したが、未然に防ぐために早めの住民避難が必要**」との意見が挙げられた。

◆状況付与に基づく連携課題の抽出

- 令和5年出水期は日野川では大きな被害が無かったが、鳥取県内では孤立等の大規模な被害が発生したことを踏まえて、以下の通りグループワークの内容を設定。



グループワーク内容	PDCAサイクル
① 状況付与	D: タイムライン運用
② 状況に関連する防災行動項目の確認	C: 出水対応の振り返り
③ 連携に関する課題抽出	A: タイムラインの改善検討
④ 解決策の整理	
⑤ 全体意見交換	

<グループワークの様子>



連携に関する課題を付箋に書き出し



<グループワークで挙げられた課題と解決策>

グループ	課題	解決策
住民の避難・救助	レベル4,5で実施する対応のイメージ不足	・訓練の実施 ・台風7号の被害状況を鳥取市から共有
	情報を共有する機関の拡充	・気象防災オンライン会議への参加機関の追加
	水害に対する住民の意識低下	・水害リスクの周知 ・地区の活動活性化・防災教育の実施
	線状降水帯による急な水位上昇への対応	・避難情報の的確な発令判断
交通途絶	リアルタイムの情報共有	・情報共有手段として台風説明会・危機感共有会議、気象防災オンライン会議をタイムラインへ追記
	鉄道事業者としての住民避難支援	・住民の避難先としての駅舎や車両の開放を検討
ライフラインの停止	復旧ルートに係る道路情報の入手	・道路情報を入力するスキームを県+市町村へ拡充
	情報入手先が複数にわたる場合の混乱	・情報の入手先を一本化

◆講評

- ▶タイムラインは関係機関の行動が見えるようになっており、タイムラインを通じて他機関との連携に必要なことを考えて頂きたい。
- ▶関係機関の皆さんからの改善意見によってタイムラインはより有用なものになるので、積極的な活用と改善意見の提示をお願いしたい。



鳥取大学 三輪座長

◆まとめ

- ・台風7号当時の**被害・対応状況を鳥取市から情報提供**して頂き、実際の流れに基づいて訓練ができると**実対応の流れがイメージ**できて有意義。
- ・タイムラインは各機関のマニュアルから防災対応を抽出して整理したものであり、タイムラインへの項目の追加や自機関のマニュアルの変更点の反映が無いが確認し、令和6年度出水期に向けてタイムラインを改善。

・小中学校などと連携した日野川水系の洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育の拡充

- 令和5年9月15日(金) 米子市立車尾(くずも)小学校において、小学4年生4クラスの児童へ向けた出前講座「水防災学習」を実施しました。
- 今回の学習では、車尾小学校校区の全域が浸水域にあることから、ハザードマップを使って日野川・法勝寺川が氾濫するとどのくらい浸水するか。どこに避難するか。を確認し、「逃げる」ことが重要だと理解してもらいました。
- 児童からは、避難の時にどこに逃げるといいか?台風の情報はどのように検索すればいいか?などの質問がでる等、熱心さが伝わってきました。

講義の様子



・小中学校などと連携した日野川水系の洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育の拡充

- 令和5年11月8日(水) 伯耆町立岸本小学校において、小学4年生2クラスの児童へ向けた出前講座「水防災学習」を実施しました。
- 今回の学習では、岸本小学校校区が浸水域にあることから、日野川の洪水被害、平成30年の出水状況などを説明するとともに、ハザードマップを使って日野川が氾濫するとどのくらい浸水するか、どこに避難するかなどを確認し、自分の命を守るためには、「逃げる」ことが大切で、事前に情報収集や準備をしておくことを学習してもらいました。
- 児童からは、避難の時にどこに逃げるといいか?台風の情報はどのように検索すればいいか?などの質問がでる等、熱心さが伝わってきました。

講義の様子



・気象キャスターによるマイ・タイムライン講座での水害(防災)教育の拡充

- 令和6年3月17日(日) 米子コンベンションセンターにおいて、流域治水プロジェクトの一環としてマイ・タイムライン講習会を開催し、日野川流域の住民約30名が参加しました。
- 講師は次のとおり、
 - 福田歩美気象キャスター (NHK松江「しまねっとNEWS610」に出演)
 - 町田朱里気象キャスター (日本海テレビ「おびわんっ!」・「ニュースevery日本海」に出演)
- 参加者には、「逃げキッド」を使用し、自分の住んでいる所の浸水深や家庭の状況・避難先を考えて、それぞれの「マイ・タイムライン」を作成しました。
 - 参加者が考えた自分の準備事項
 - ・貴重品を浸水しない2階に上げておく
 - ・車を浸水地域でない会社の駐車場に移動する



福田歩美 気象キャスター
 ○日野川の水害リスク
 ○最近の気象災害
 ○様々な防災情報



町田朱里 気象キャスター
 ○マイ・タイムラインとは
 ○マイ・タイムラインの作成



【逃げキッド】



•排水計画に基づく排水訓練等の実施及び参加

- 「災害時の応急対策に関する協定」の締結協力事業者を対象に、災害対策機械の操作訓練を実施し、操作の習熟度向上を図る。

災害対策機械訓練状況(令和5年6月17日)

照明車訓練(令和5年度)



排水ポンプ車訓練(令和5年度)



1. よなご避難ノートの啓発講座
2. 避難所用品の購入、防災講演会・水防研修の実施
3. 水防資機材を使用した訓練の実施
4. 水防資機材の整備とその情報共有
5. 日野川水害タイムライン検討会
6. 小中学校などと連携した日野川水系の洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育の拡充
7. 気象キャスターによるマイ・タイムライン講座での水害(防災)教育の拡充
8. 排水計画に基づく排水訓練等の実施及び参加

(3) 令和5年度・令和6年度の減災に係る取組について

- 平成29年度に当初策定した『減災に係る取組方針(第1期)』の対象期間(5年)が令和3年度に経過
- 令和4年度にこれまでの取組状況等を踏まえて、第2期目となる『減災に係る取組方針』(対象期間:R4~R8)を策定した。毎年、取組状況をフォローアップしていく。

平成27年9月 関東・東北豪雨災害(鬼怒川の洪水氾濫)

平成27年12月 社会資本整備審議会答申

「施設の能力には限界があり、施設では防ぎきれない大洪水は必ず発生するもの」へと意識を変革し、社会全体で洪水氾濫に備える必要がある

平成27年12月 「水防災意識社会再構築ビジョン」

ポイント ①より実効性のある「住民目線のソフト対策」 ②「洪水氾濫を未然に防ぐハード対策」に加え、「危機管理型ハード対策」 ③地域一体の取組

平成28年8月以降 相次いで発生した台風による豪雨災害(岩手県小本川などの洪水氾濫)
中小河川においても甚大な被害が発生

平成28年11月 「水防災意識社会再構築ビジョン」の取組を都道府県管理河川に拡大

平成29年5月18日 第1回 減災対策協議会『千代川圏域県管理河川の減災対策協議会』設立

平成30年2月7日 第2回 減災対策協議会『千代川圏域県管理河川の減災に係る取組方針(第1期)』策定

5年間で達成すべき目標 河川整備率が低く、また、急流河川で水位上昇が急激な県管理河川の特性を踏まえ、発生しうる大規模水害に対し、ハード整備とソフト対策が一体となったとっとりらしい防災・減災対策に取り組み、「地域防災力の強化」「安全・安心で活力ある地域づくり」を目指す。

達成に向けた3本柱の取組 ①鳥取県の強み「支え愛」による地域防災力の強化
②鳥取方式による地域と一体となった効率的な水防・河川管理の実施と治水対策
③住民の避難を促す鳥取県の実情を踏まえた水害リスク情報等の提供

令和元年5月29日 第5回 減災対策協議会 取組方針一部改正 平成30年7月豪雨を教訓とした安全・避難の有り方研究会の提言等を追加

令和2年5月27日 第6回 減災対策協議会 取組方針一部改正 令和元年「水防対策検討会」及び「防災避難対策検討会」に係る提言等を追加

令和4年5月26日 第10回 減災対策協議会 第2期取組方針策定

5年を目途に策定

減災のための目標

第2期(R4～R8)

5年間で達成すべき目標

河川整備率が低く、また、急流河川で水位上昇が急激な県管理河川の特性を踏まえ、発生しうる大規模水害に対し、ハード整備とソフト対策が一体となった、とっとりらしい防災・減災対策に取り組み、「地域防災力の強化」「安全・安心で活力ある地域づくり」を目指す。

達成に向けた3本柱の取組

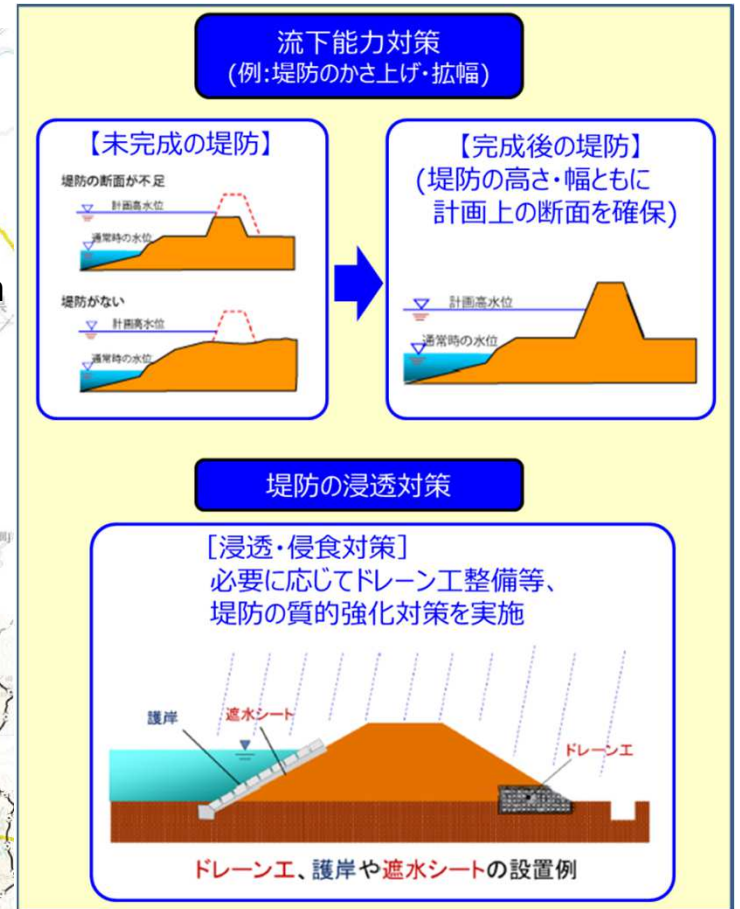
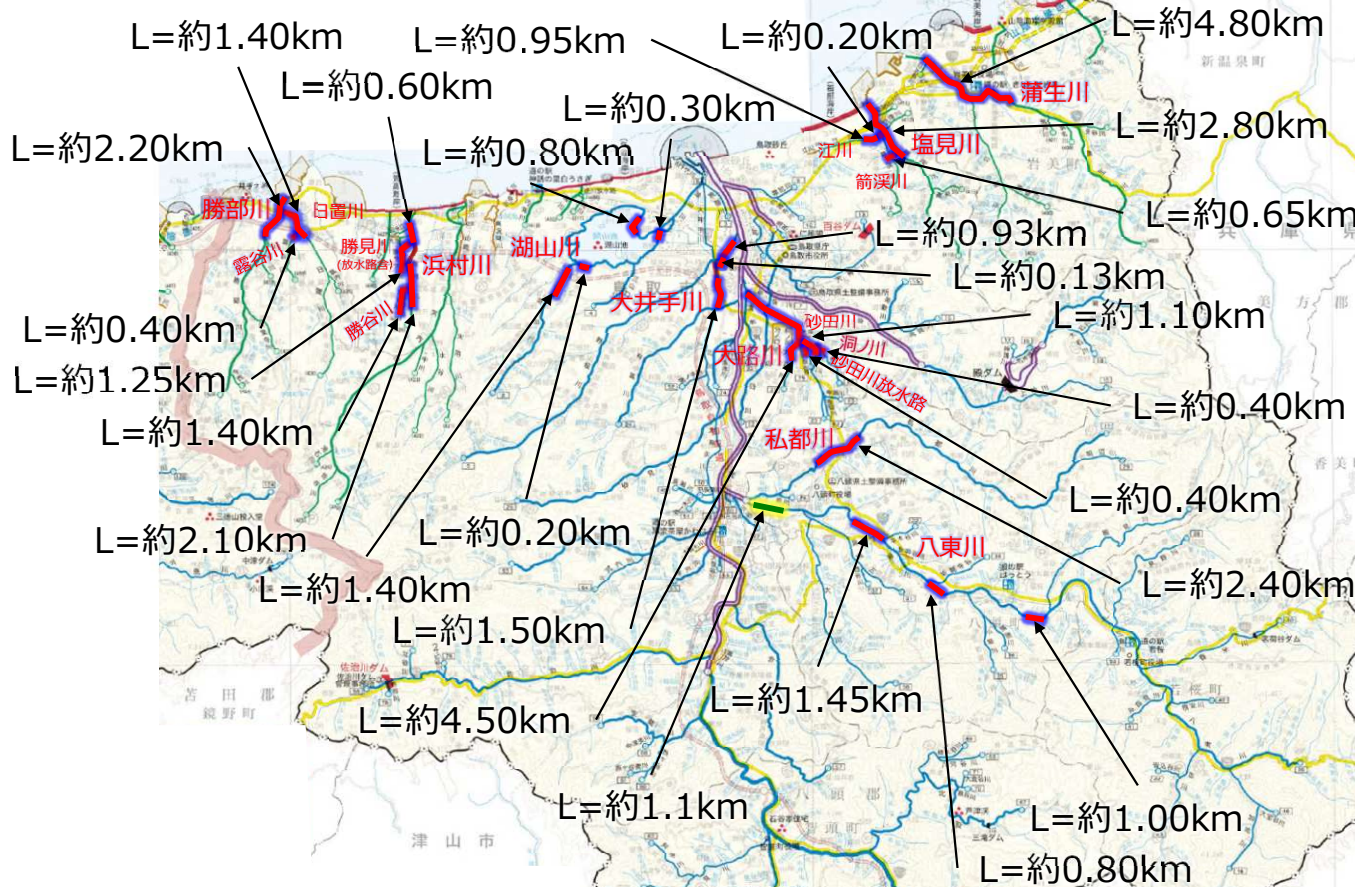
- ①鳥取県の強み「支え愛」による地域防災力の強化
- ②鳥取方式による地域と一体となった効率的な水防・河川管理の実施と治水対策
- ③住民の避難を促す鳥取県の実情を踏まえた水害リスク情報等の提供

※引き続き、平成30年7月豪雨を教訓とした安全・避難対策のあり方研究会・令和元年台風19号、令和5年台風7号を受けての鳥取県水防対策検討会等の結果を踏まえた取組を推進する

河川整備計画に基づき、治水対策を着実に推進していく。

千代川圏域

洪水を未然に防ぐためのハード対策 概要図



※具体的実施箇所等については、今後の調査検討や洪水被害の発生状況等によって変更となる場合があります。

【凡例】河川整備計画等に基づき取組を進める箇所

- : 流下能力対策
- : 浸透対策
- : 洪水処理対策

一級河川 (指定区間外)	一級河川 (指定区間)	二級河川	準用河川	ダ (鳥取県)	ダ (国土交通省)	海岸保全区域 (国土交通省)	海岸保全区域 (国土交通省)	海岸保全区域 (農林水産省)	海岸保全区域 (農林水産省)

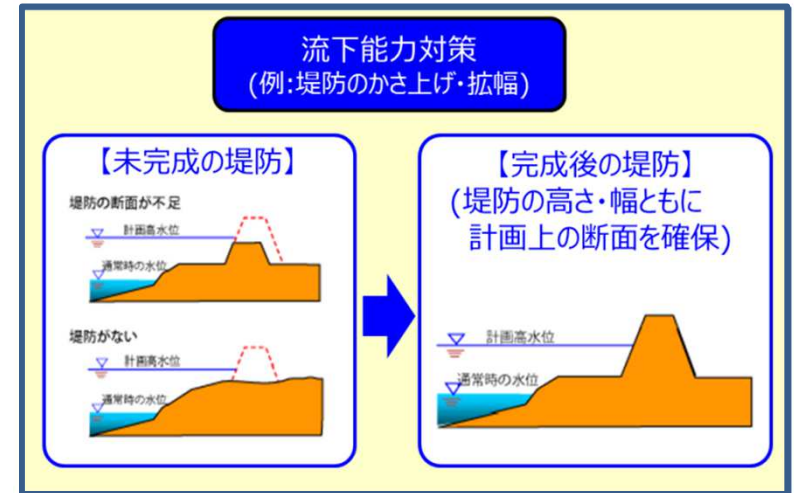
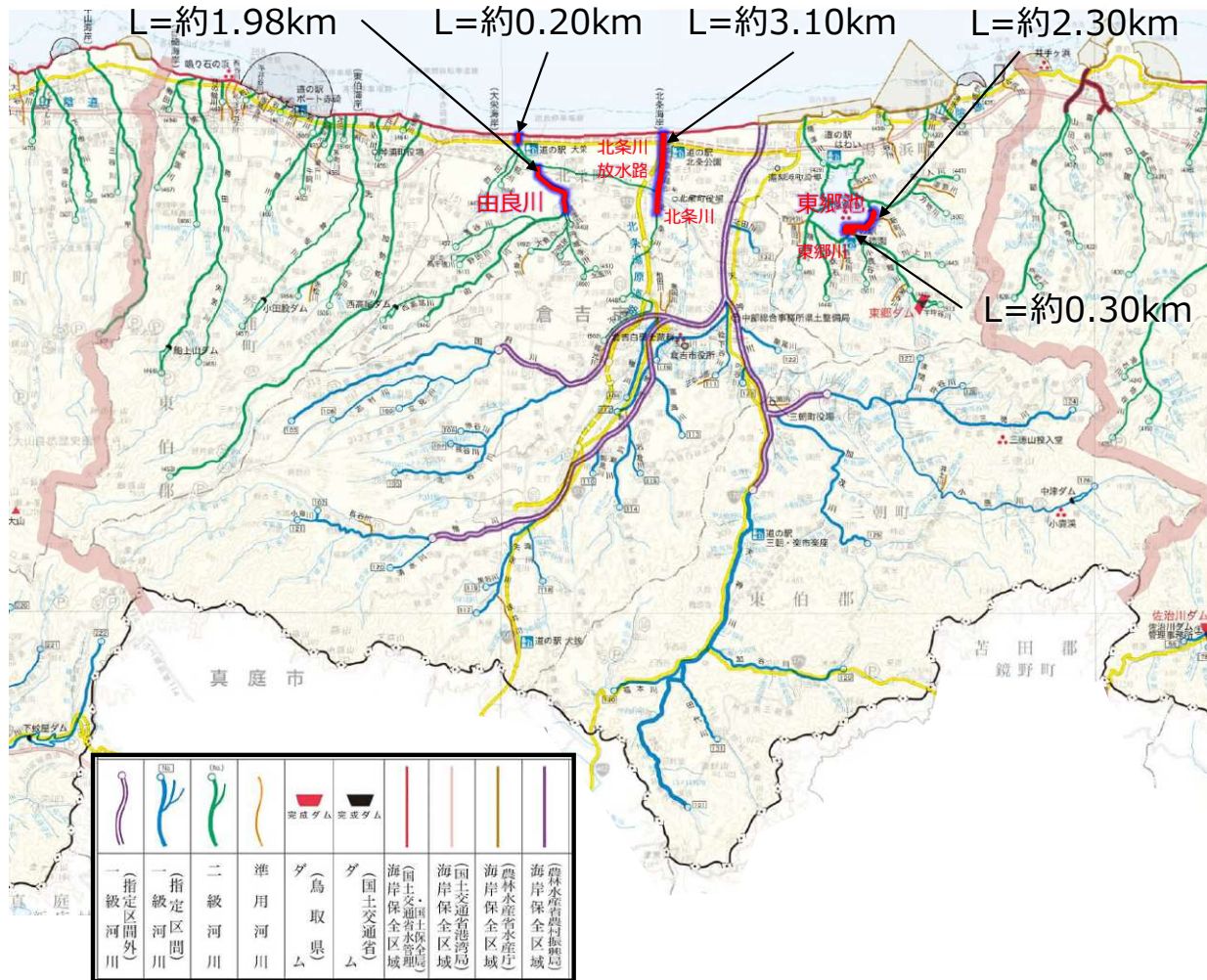
○塩見川(鳥取市福部町細川付近)における流下能力対策工事を重点的に実施中。

○八東川(八頭町石田百井付近)における堤防の浸透対策を検討中。

河川整備計画に基づき、治水対策を着実に推進していく。

天神川圏域

洪水を未然に防ぐためのハード対策 概要図



※具体的実施箇所等については、今後の調査検討や洪水被害の発生状況等によって変更となる場合があります。

【凡例】河川整備計画等に基づき取組を進める箇所

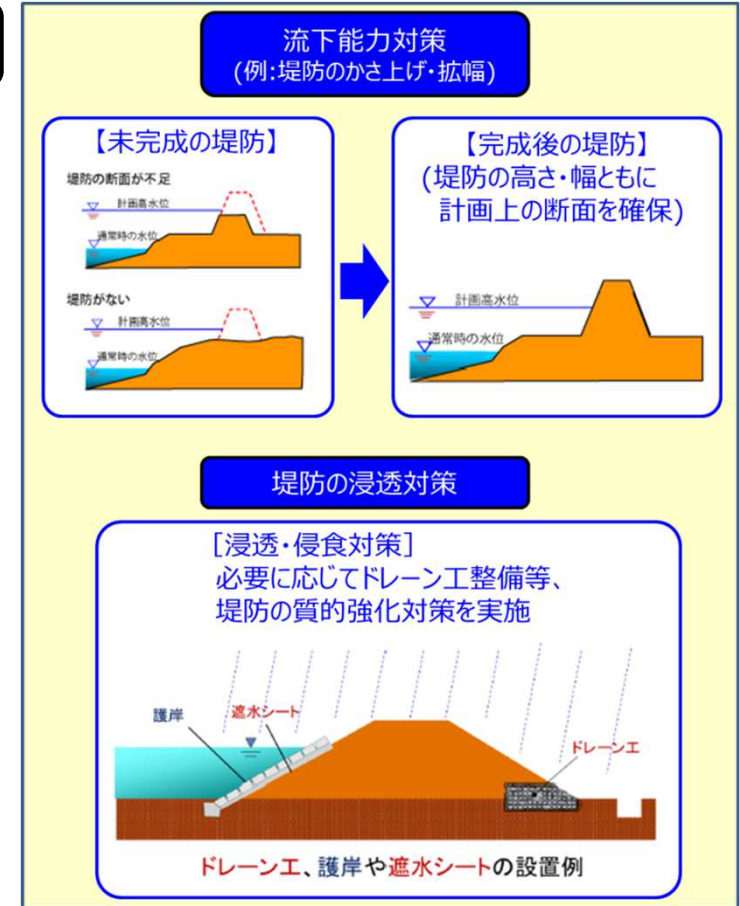
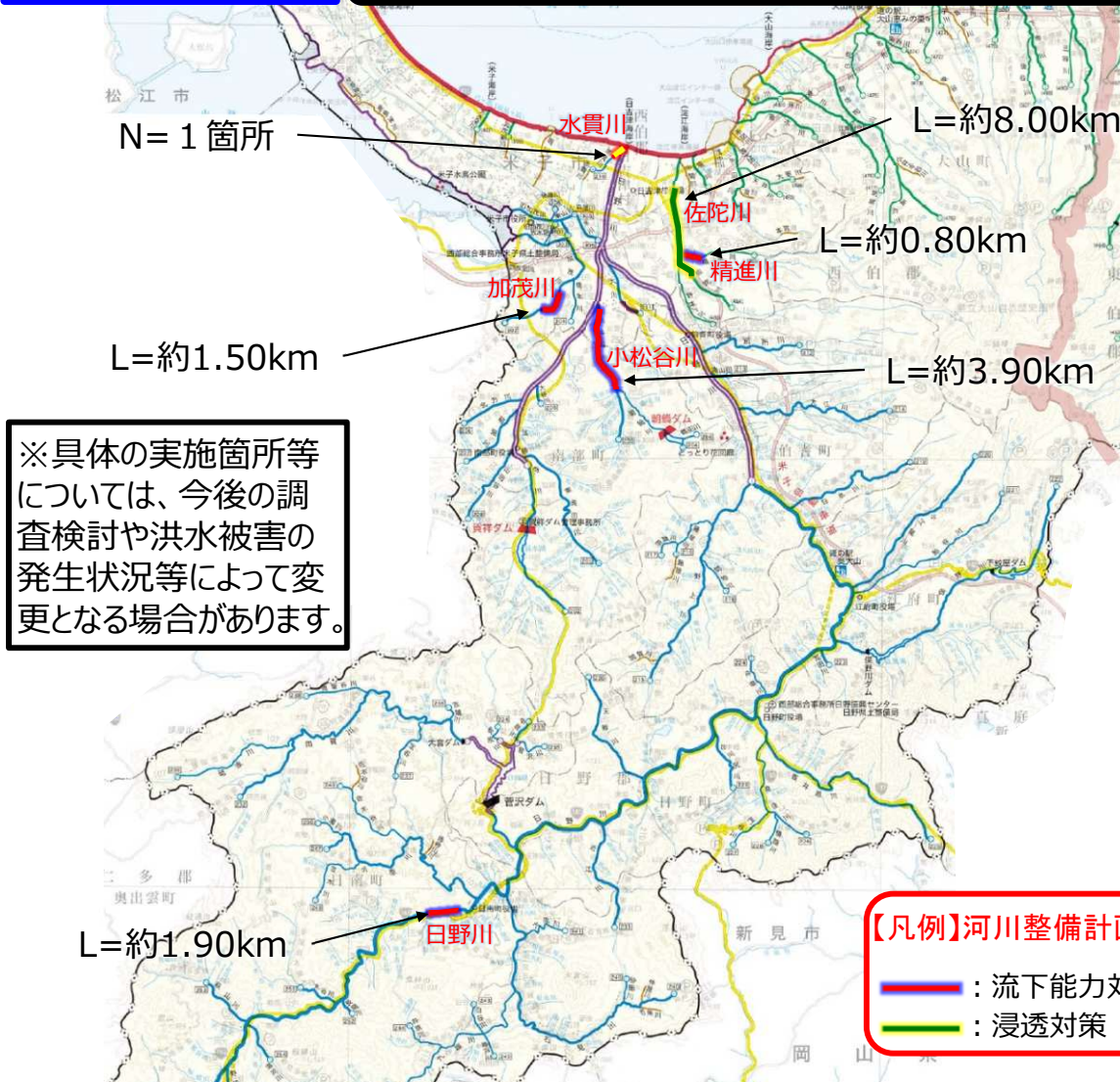
- : 流下能力対策
- : 浸透対策
- : 洪水処理対策

- 東郷池の南岸における流下能力対策工事を重点的に実施中。
- 由良川(北栄町瀬戸)における流下能力対策を検討中。

河川整備計画に基づき、治水対策を着実に推進していく。

日野川圏域

洪水を未然に防ぐためのハード対策 概要図



【凡例】河川整備計画等に基づき取組を進める箇所

- : 流下能力対策
- : 洪水処理対策
- : 浸透対策

一級河川 (指定区間外)	一級河川 (指定区間)	二級河川	準用河川	ダム (鳥取県)	ダム (国土交通省)	海岸保全区域 (国土交通省)	海岸保全区域 (国土交通省)	海岸保全区域 (農林水産省)	海岸保全区域 (農林水産省)

○小松谷川(米子市青木付近)における流下能力対策工事を重点的に実施中。

河川の氾濫リスクの軽減を目的として、治水安全度を計画的に向上させるために必要な**樹木伐採・河道掘削**を防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策、緊急浚渫推進事業債の予算を活用しながら、**計画的に実施**してきたところであり、**台風第7号**において、**人的被害がなかったことはこれまでの取り組みの成果**。

【令和5年度(補正)実施予定】勝部川（鳥取市青谷～吉川）、三徳川（三朝町横手～俵原）等 38箇所

【令和6年度実施予定】野本川（米子市河岡～押口）、河内川（鳥取市鹿野町鹿野）等 65箇所

<実施要件：5か年加速化対策> (R3年度※R2国補正前倒し～R7年度)

- ①流域治水（事前防災）の位置づけで実施され一定の効果を見込める箇所
- ②次のいずれかに該当する河川
 - ・毎年度実施する維持的な伐開・掘削以外の箇所
 - ・近年浸水実績があった場所
 - ・河川背後や浸水想定区域内に家屋、重要施設がある箇所
 - ・鳥取方式洪水浸水リスク図の浸水範囲 等

<実施要件：緊急浚渫事業債> (R2年度～R6年度)

- ①県管理河川は全ての箇所が対象※個別計画の提出が必要

令和5年度 実施事例



着手前
河道掘削実施



完成



着手前
河道掘削実施



完成

効果事例



着手前
河道掘削実施



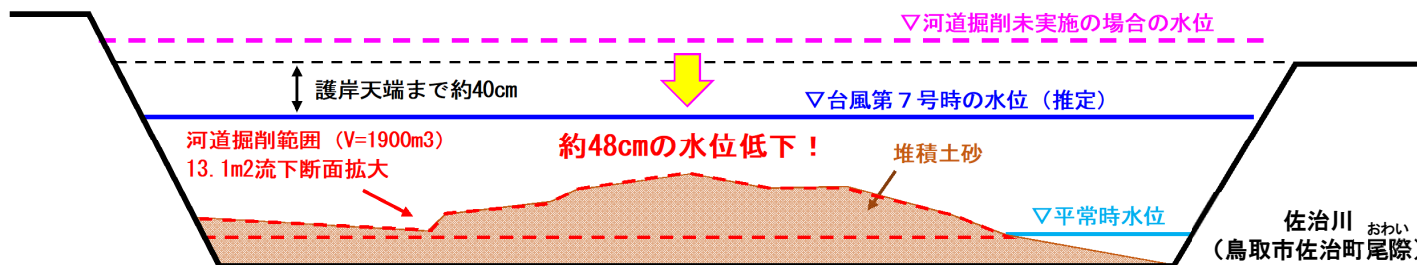
完成

増水

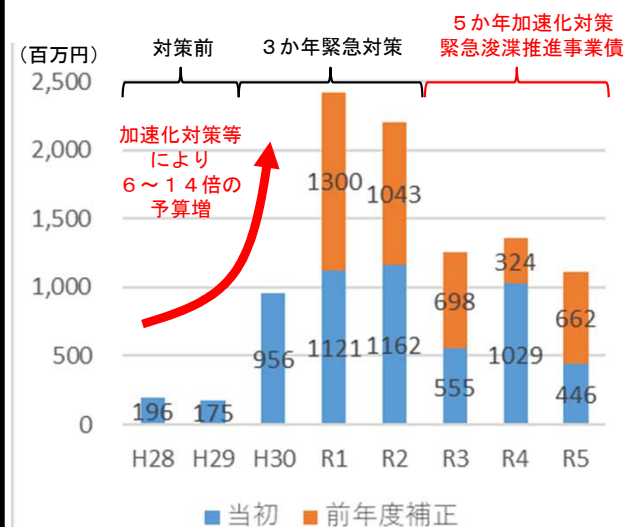


台風第7号襲来時

溢水を防ぐことができた



予算推移



支え愛マップの取り組み支援等について、次のような取り組みを実施している。

①支え愛マップづくりインストラクター養成研修

【目的】マップづくりの推進役として自治会等を支援するスタッフを育成する。

【対象者】市町村社会福祉協議会職員、市町村職員、防災士

【R5実績】7/6 倉吉福祉センター 47人参加 (内容)マップづくり体験、個人情報保護法の基礎

7/25 倉吉未来中心 41人参加(内容)災害情報の取得、まちあるきのポイント

②支え愛マップづくりの取組状況

【目標】40地区／年

【R5実績(R6年1月31日時点)】新たに34地区が作成

【取組み時に活用いただきたい動画】～コロナ禍における支え愛マップづくり～
(県社協作成) https://youtu.be/4ByGD_J2V_o (YouTubeにて公開)



支え愛マップづくり
～顔の見える関係をめざして～

取組状況



支え愛マップ作成状況



支え愛マップ完成

救急救命が必要な場合を見越しての訓練状況



⇒水害・土砂災害に備え、防災・土木部局が連携して、自治会等に安全な避難場所・経路等について助言するとともに、マップを活用した訓練の実施をサポートしながら、地域防災力の強化を図っていく。

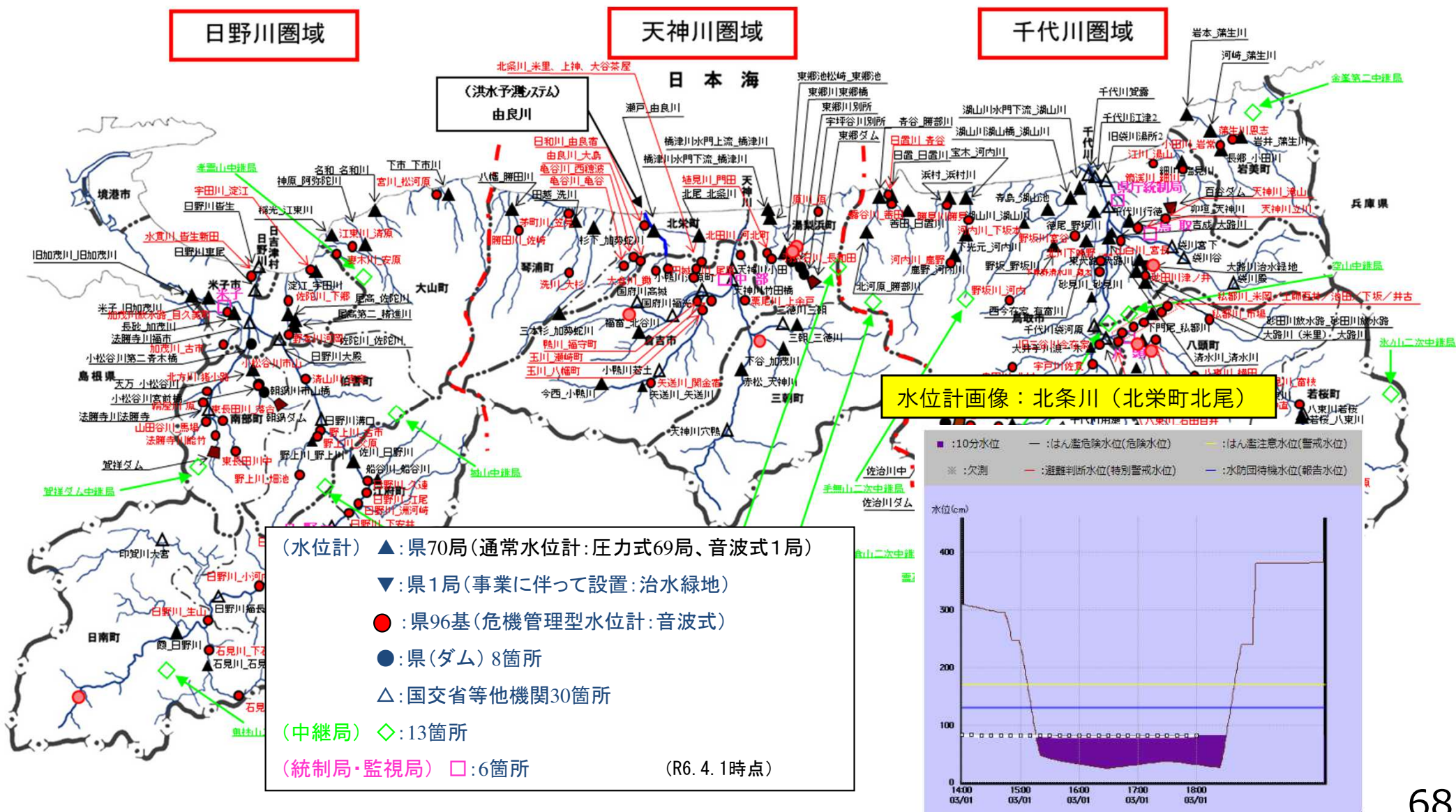
河川背後地の状況や簡易浸水想定の結果等を踏まえ、河川監視カメラや量水標、水位計等を継続して設置していく。(R4年度161箇所⇒R5年度165箇所へ増設)

※R6年度は東部（八頭）2箇所、西部（日野）5箇所増設予定



重要水防区域や溢水の恐れのある箇所、溢水により市役所、役場が浸水する恐れのある箇所等、水位計等を設置していく。(R5年度までに166箇所設置済み)

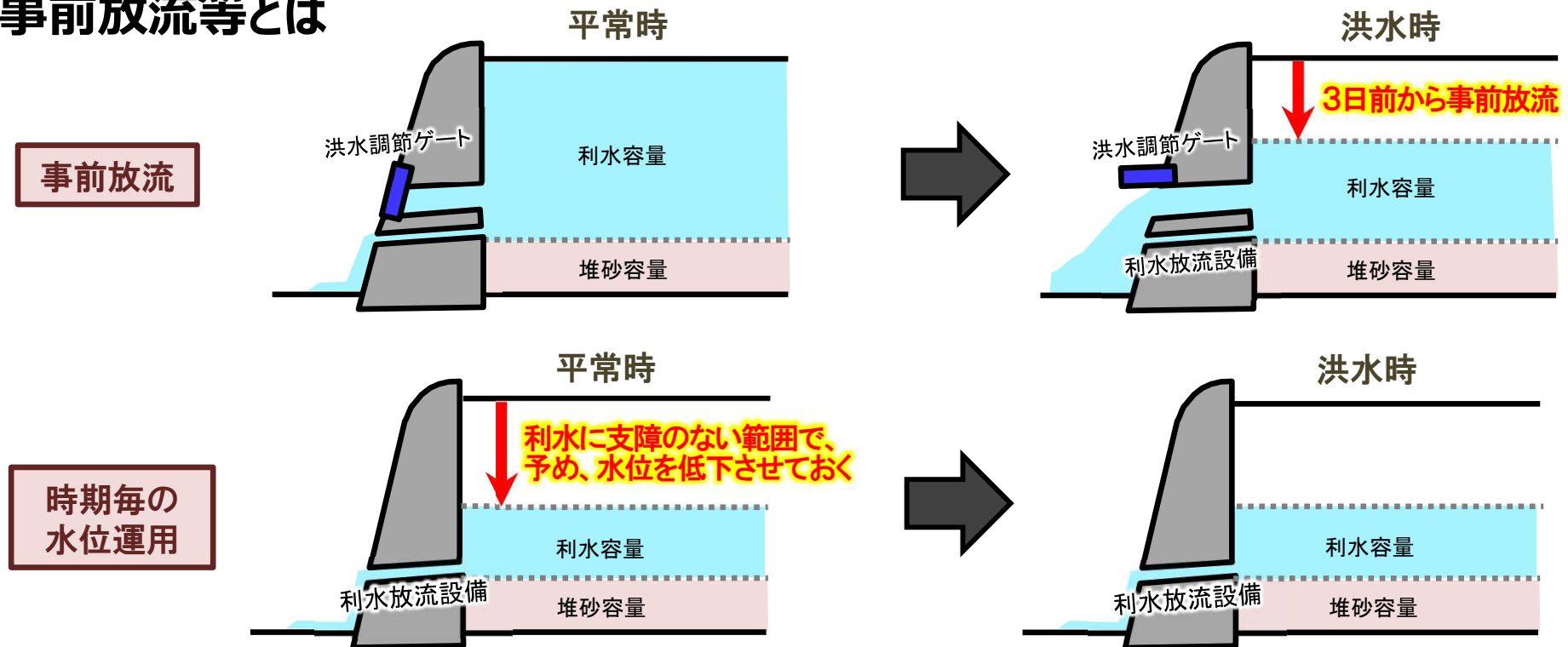
※R6年度は西部（日野）3箇所増設予定



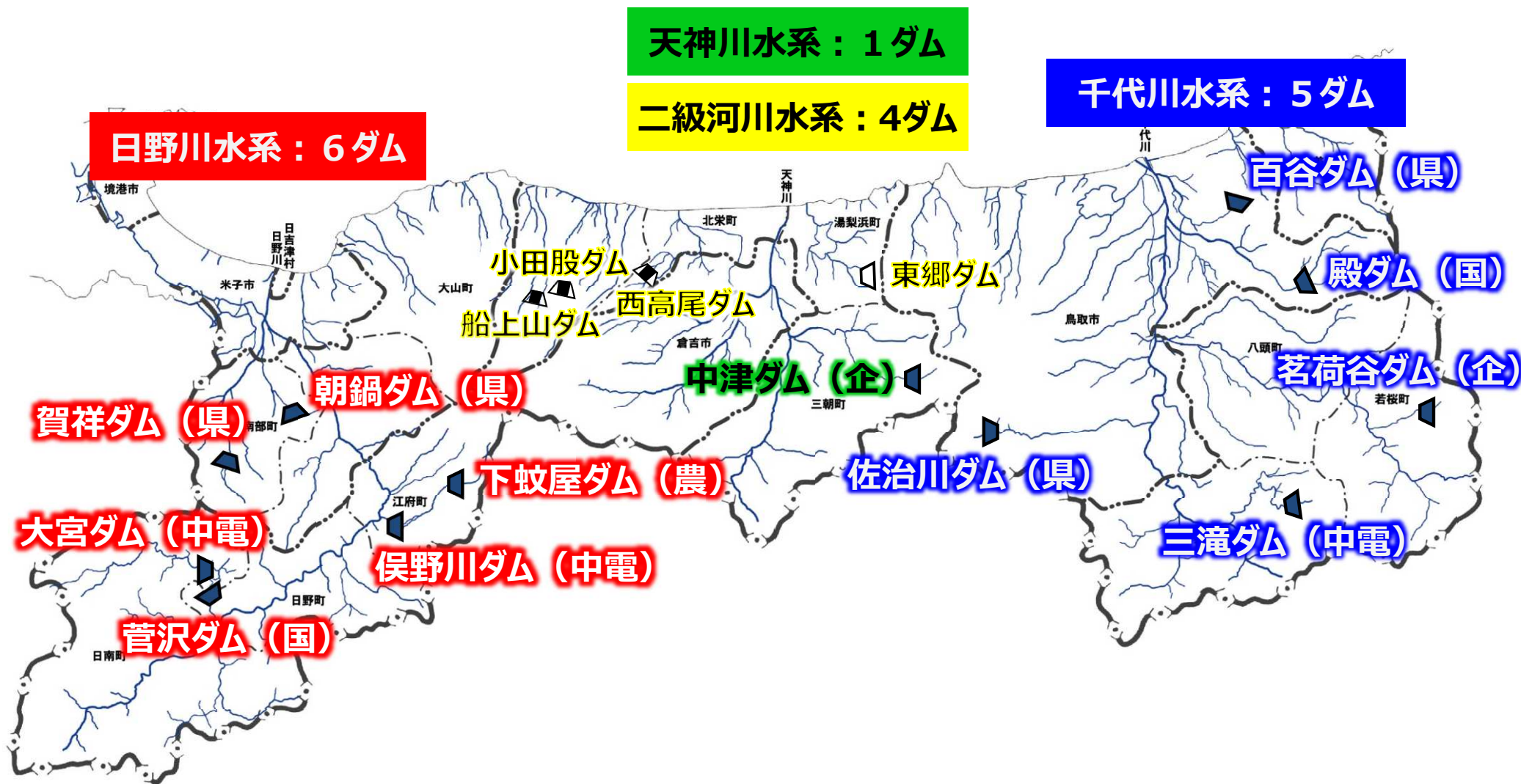
取組9 既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた取組

- ◎ 令和元年東日本台風を受け、令和元年12月、政府は、『既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた基本方針』を打ち出しました。これにより、
 - ① 全国全ての既存ダム(治水ダム・利水ダムともに)で『事前放流等』を実施する。
 - ② 水系毎に、河川管理者・ダム管理者・関係利水者が一同で、事前放流等の方法等を記した『治水協定』を締結する。
 ことになりました。
- ◎ 鳥取県内では、全てのダムにおいて治水協定を締結し、事前放流による洪水調節機能の強化を図っています。

事前放流等とは



既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた取組



既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた取組

ダムの諸元						事前放流の内容※注	
水系	ダム名	管理者	有効貯水容量 (a+b)	洪水調節容量 (a)	利水容量 (b)	基準 降雨量	洪水調節 可能容量
千代川	殿ダム	国交省	1,120万m ³	550万m ³	570万m ³	307mm	311万m ³
“	佐治川ダム	県	188万m ³	147.6万m ³	40.4万m ³	別途運用	22.8万m ³
“	茗荷谷ダム	企業局	40万m ³	—	40万m ³	236mm	27.7万m ³
“	三滝ダム	中電	15.8万m ³	—	15.8万m ³	142mm	14.7万m ³
“	百谷ダム	県	24.2万m ³	20万m ³	4.2万m ³	—	4.2万m ³

(※注) ① 累計降雨量が基準降雨量に到達することが予想される場合、3日間で、洪水調節可能容量の範囲内で事前放流を実施する。

② 百谷ダムについては、「時期毎の水位運用」とする。

既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた取組

ダムの諸元						事前放流の内容※注1	
水系	ダム名	管理者	有効貯水容量 (a+b)	洪水調節容量 (a)	利水容量 (b)	基準 降雨量	洪水調節 可能容量
天神川	中津ダム	企業局	121万m ³	-	121万m ³	346mm	78.3万m ³ ^{注2}
橋津川	東郷ダム	県	65万m ³	46万m ³	19万m ³	-	5.4万m ³
由良川	西高尾ダム	北栄町 琴浦町	38.7万m ³	-	38.7万m ³	-	13.8万m ³
洗川	小田股ダム	北栄町 琴浦町	39.0万m ³	-	39.0万m ³	-	14.5万m ³
勝田川	船上山ダム	北栄町 琴浦町	11.3万m ³	-	11.3万m ³	-	4.0万m ³

(※注1) ①累計降雨量が基準降雨量に到達することが予想される場合、3日間で、洪水調節可能容量の範囲内で事前放流を実施する。

②東郷ダム、西高尾ダム、小田股ダム、船上山ダムについては、「時期毎の水位運用」とする。

(※注2) 中津ダムは令和3年11月～令和6年7月までリニューアル事業（発電停止）のため、フリーフロー放流としており、事前放流（洪水調整）はできません。

令和6年8月から運営権がM&C鳥取水力発電株式会社に移りますので、治水協定に基づき事前放流（洪水調整）を実施するよう調整中です。

既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた取組

ダムの諸元						事前放流の内容※注	
水系	ダム名	管理者	有効貯水容量 (a+b)	洪水調節容量 (a)	利水容量 (b)	基準 降雨量	洪水調節 可能容量
日野川	菅沢ダム	国交省	1,720万m ³	【7月】 250万m ³ 【8月】 680万m ³ 【9月】1,650万m ³ 【10月】 510万m ³ 【ほか】 160万m ³	【7月】 1,470万m ³ 【8月】 1,040万m ³ 【9月】 70万m ³ 【10月】1,210万m ³ 【ほか】 1,560万m ³	241mm	104.2万m ³
“	賀祥ダム	県	669万m ³	330万m ³	339万m ³	別途運用	182万m ³
“	朝鍋ダム	県	119万m ³	64万m ³	55万m ³	—	26.5万m ³
“	俣野川ダム	中電	670万m ³	—	670万m ³	251mm	670万m ³
“	大宮ダム	中電	31.9万m ³	—	31.9万m ³	241mm	31.9万m ³
“	下蚊屋ダム	農水省	344万m ³	—	344万m ³	—	26.4万m ³

(※注) ① 累計降雨量が基準降雨量に到達することが予想される場合、3日間で、洪水調節可能容量の範囲内で事前放流を実施する。

② 朝鍋ダムについては、「時期毎の水位運用」とする。

令和元年東日本台風（19号）を踏まえ、安全・確実な住民避難につなげるため防災対策「水防対策検討会」（主にハード対策）と「防災避難対策検討会」（主にソフト対策）を設置。

【台風19号で甚大な被害が発生】



阿武隈川：福島県須賀川市（令和元年10月13日）

・阿武隈川、千曲川など71河川、140箇所
で堤防決壊が発生
・「バックウォーター現象」や「越水」により堤防が決壊

【水防対策検討会・防災避難対策検討会設置】

<水防対策検討会>

・「治水施設の機能向上により、洪水氾濫の軽減等を図りつつ、効果的な水防活動等により、いかに安全な住民避難を実現させるか」という観点で検討



第2回水防対策検討会
（令和元年12月2日）

<防災避難対策検討会>

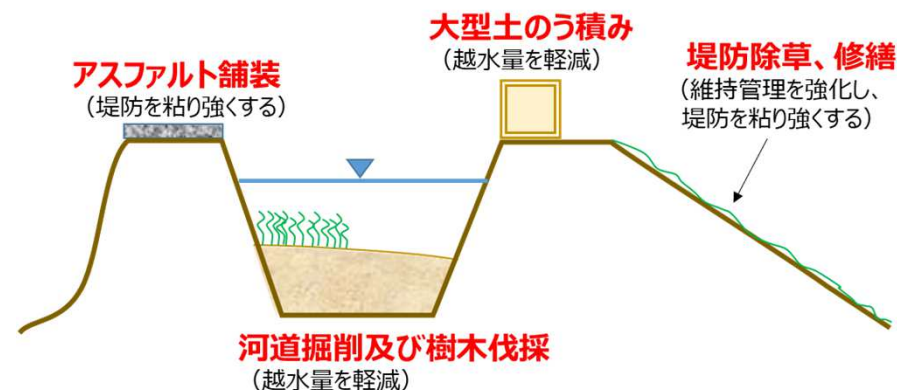
- ・次の項目を主要な柱として議論
- ①「積極的な避難」をこれからの常識とするための取組
 - ・避難所環境の整備、避難情報・避難行動の理解促進
- ②被害の広域化、ライフラインの切断への対処
- ③ハザードエリアを踏まえた避難の体制整備

今後の取組方針

【水防対策（ハード対策）】

<短期的取組>

- ①堤防強化（堤防舗装、管理強化、水防体制強化）
- ②バックウォーター対策（河道掘削及び樹木伐採）
- ③河川情報（河川監視カメラ・水位計）の発信強化 等



【防災避難対策（ソフト対策）】

- ・あらゆる人が積極的に避難行動を取ることが常識となるよう意識啓発や情報提供を行う
- ・あらゆる人が安全に避難でき、健康が維持できる避難所環境を確保していく など

P78避難スイッチモデル事業参照

千代川圏域における取組状況（R6年度以降も継続実施）

【防災避難対策（ソフト対策）】

小・中学校における防災教育の実施

県の防災の取組やハザードマップを活用した命を守る行動の大切さを伝え、考える。

<模型実験>

<城北小5年生（50名）>



<グループディスカッション>



<用瀬小5年生（30名）>



【水防対策（ハード対策）】

堤防舗装の実施

R5年度に引き続きバックウォーター区間、重要水防区域における堤防舗装を実施。



R5施工箇所：野坂川（鳥取市）

樋門操作の省力化（手動⇒電動化）

- 地域住民などに市町を經由して操作を委託している手動の樋門について、操作員の負担軽減かつ開閉迅速化による省力化推進のため、電動化に着手。
- 令和5年2月14日に、県内1号機（大路川：鳥取市雲山）の設置を完了し、令和7年度までに全県で160基（予定）を設置していく。



- 既設ハンドルを取り外し機器を固定
- 電動ドリルで昇降作業可能

千代川圏域における取組状況（平成6年度以降も継続実施）

【防災避難対策（ソフト対策）】

小学校における防災教育の実施（令和3年度4校）

- 「やず・防災つたえ隊」の活動として、『洪水・土砂災害』の概要等（動画・クイズ）の学習を実施。
- 「防災マップ」を活用した学習（危険箇所・避難箇所）を実施。
 - ・7月4日八東小学校5年生22名
 - ・2月29日若桜学園小5年生18名



八東小学校での防災学習の様子

若桜学園小学校での現場見学の様子



【水防対策（ハード対策）】

- 堤防舗装の実施
バックウォーター区間、重要水防区域Aにおける堤防舗装を実施。



R4施工箇所：八東川（八頭町）

天神川圏域における取組状況（令和6年度以降も継続実施）

【防災避難対策（ソフト対策）】

小学校における防災教育の実施
令和5年度（北谷小学校）

- 小学5年生を対象に、土砂災害の種類、危険な場所、大雨情報の知り方などを学び、安全、迅速な避難の知識を学んだ。
- 模型を用いて土砂災害のメカニズムを学ぶとともに、堰堤などの対策施設の効果を学んだ。



北谷小学校（2/14）

自治会における防災教育の実施
令和5年度（みどり町自主防災会）

- 倉吉しみどり町の地域住民を対象に洪水や土砂災害が発生すると予想又は発生した時の行動について講義を実施。
- ハザードマップを確認し、家族間でも避難に関する話をする事の大切さを伝えた。



倉吉しみどり町自主防災会（9/3）

【水防対策（ハード対策）】

● 河道掘削の実施

出水等により河川内に堆積した土砂を除去し、河川の安全・安心の向上を図った。

国府川（倉吉市）



天神川(三朝町町)



日野川圏域における取組状況 (R6年度以降も継続)

【防災避難対策 (ソフト対策)】

「まるごとまちごとハザードマップ (想定浸水表示板の設置)」 (米子市)



- 令和2~4年度 南部町 32箇所
- 令和3年度 米子市 1箇所
- 令和4年度 日吉津村 18箇所
- 令和5年度 伯耆町 4箇所

「防災教育」の実施

- 【令和3年度】 八郷小 (伯耆町)、会見小 (南部町)
- 【令和4年度】 会見小 (南部町)、箕蚊屋小 (米子市)
- 【令和5年度】 車尾小・就将小・箕蚊屋小 (米子市)、大山小 (大山町)

車尾小学校 (米子市) 実施状況



大山小学校 (大山町) 実施状況



「河川監視カメラ・低コストの水位計」の増設

令和5年度までの実施状況

- 【河川監視カメラ】 33箇所 (加茂新川 (米子市) ほか)
- 【危機管理型水位計】 20箇所 (加茂川放水路 (米子市) ほか)

令和6年度以降

- 【河川監視カメラ】 朝鍋ダム (南部町) ほか
- 【危機管理型水位計】 必要に応じて追加設置

【河川監視カメラ】
宇田川
(米子市淀江町)



【危機管理型水位計】
加茂川放水路
(米子市目久美町)

【水防対策 (ハード対策)】



精進川 (米子市尾高)

● 堤防強化

令和5年度までの実施状況

- バックウォーター区間、重要水防区域Aにおける堤防舗装
(小松谷川・北方川 (南部町)、佐陀川・精進川 (米子市)、清山川 (伯耆町))

令和6年度以降

- バックウォーター区間、重要水防区域Bにおける堤防舗装
(佐陀川・精進川・野本川・天井川 (米子市)、絹屋川 (南部町))

鳥取県における取組状況（令和6年度以降も継続実施）

【防災避難対策（ソフト対策）】

- 『洪水・土砂災害』の概要、水害リスク、流域治水の取組、避難等を小学校を中心に防災学習、出前説明を実施した。
- 防災フェスタに水防に関する展示を行い、防災意識の向上を図った。
- 住民の防災意識向上、避難行動促進のため、子どもへの防災学習は非常に有効であるため、令和6年度も引き続き実施していく。

【主な実施状況】

- 9月10日 防災フェスタ開催（展示出店）
- 10月17日 遷喬小学校 5年生11名
- 11月29日 修立小学校 3年生34名
- 12月18日 東郷小学校 3, 4年生 9名
- 2月 8日 鳥取県銀行協会 9名



土砂災害、流域治水の模型実験の様子



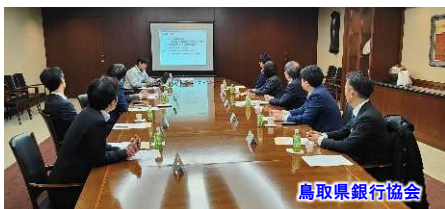
防災フェスタの実施状況



小学校における防災教育の実施



出前説明の実施状況



【水防対策（ハード対策）】

- 令和元年台風19号の甚大な浸水被害が発生したことを踏まえ、本県の課題の抽出及び取り組むべき対策を検討するため、有識者・関係行政機関で構成する「水防対策検討会」を設置した。
- 検討会による提言を受け、速やかに取組を進め早期に効果を発現させるべき内容について、事業を実施中。

【提言内容】

「できる限り越水による堤防決壊を遅らせて避難の時間を稼ぐ対策（粘り強い堤防）」及び「バックウォーター対策」を短期的に取り組むべき。

【事業内容】

- ①堤防強化対策（堤防舗装、大型土のう購入）
- ②浸水想定区域に関する住民理解促進（浸水表示板の設置）
- ③バックウォーター対策（樹木伐採・河道掘削）
- ④河川情報（水位計・河川監視カメラ）の発信強化
- ⑤ダム放流に関する安全・避難対策（説明会の開催）

堤防舗装の実施状況

- 令和5年度予算までで、予定していた重要水防A区間及びバックウォーター箇所等の優先箇所の対策が完了した。
- 今後は、未実施である重要水防区間Bや個別の優先すべき箇所を引き続き実施していく。

精進川（米子市尾高）



野坂川（鳥取市大塚）



避難スイッチとは？

避難行動を起こすきっかけとする目安を、住民自ら決める取り組み

避難スイッチ策定の流れ

市町村が発表する避難情報を基本に、気象警報や目で見える身近な異変を組み合わせ、地域で共有。近隣の方への声かけや、自力で避難が困難な方の避難支援を併せて実施。

(組み合わせ例) 市町村の避難情報 (高齢者等避難) + 河川水位の急激な上昇 * いずれか早い方

事業実施状況

- ※ 令和元年度「防災避難対策検討会」の提言を受け、R2年度から取組を推進
- 令和2・3年度 避難スイッチモデル事業
各地区での避難スイッチ作成を支援
[取組地区]
○ 若桜町3地区 (上町、中町、西町)
○ 鳥取市南大覚寺町内会
○ 高齢者福祉施設 (養護老人ホーム鳥取市なごみ苑)
- 令和4年度 手引きの作成
鳥取県版「避難スイッチ」取り組みの手引きを作成
<https://www.pref.tottori.lg.jp/299571.htm>

南大覚寺町内会 (鳥取市) の避難スイッチ

鳥取市からの避難情報に基づく避難行動の実施を前提とし、町内会による逃げ遅れの住民による呼びかけを次の基準により補完

○避難に関する各種情報

⇒ 市からの情報(高齢者等避難(警戒レベル3)、避難指示(警戒レベル4))

○目で見える「身近な異変」

⇒ 大路川 (吉成) の水位変化、地区ふれあい会館後ろの樋門横の水位変化

今後の支援等

- 支え愛マップづくりの過程で希望する地域に避難スイッチに関する助言等を受ける経費を支援(支え愛マップ作成推進事業・県社協委託)

水防団待機水位の段階で町内会が情報収集
町内会で住民の避難行動を補完

災害発生の危険度	鳥取市の避難情報	水位の変化 (大路川 (吉成))	住民の行動	町内会の行動
災害発生又は切迫している状況	警戒レベル5: 緊急安全確保 (※)	5.3m 20m危険水位	ただちに避難を完了、身の安全を守る行動	身の安全を守る行動を呼びかけ (伝達)
災害発生のおそれが高い	警戒レベル4: 避難指示	4.4m 避難判断水位	全員が避難	85歳以上の高齢者の避難状況を確認、声掛け 補完
災害発生のおそれあり	警戒レベル3: 高齢者等避難情報	3.7m 10m注意水位	高齢者、不安な住民等は避難	警戒準備体制 (情報収集を継続)
気象状況の悪化		3.2m 水防団待機水位		警戒準備体制 (情報収集を開始)

※警戒レベル5 (緊急安全確保) は必ず発出される情報ではない。



樋門横階段に目安を表示 (地区の集会所から視認可能)

(4) 二級水系流域治水プロジェクトについて

(4) 二級水系流域治水プロジェクトについて

(流域治水の取組)

地域みんなで取り組む「流域治水」

・頻発する大規模水害に備え、行政ほか住民や事業者が協力して被害を減らす努力が不可欠となっており、流域全体で水害を軽減させる治水対策「流域治水」への転換を推進しています。

流域治水の施策イメージ(3本の柱)

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

雨水貯留機能の拡大 集水域
 [県・市、企業、住民]
 雨水貯留浸透施設の整備、
 ため池等の治水利用

流水の貯留 河川区域

[国・県・市・利水者]
 治水ダムの建設・再生、
 利水ダム等において貯留水を
 事前に放流し洪水調節に活用

[国・県・市]
 土地利用と一体となった遊水
 機能の向上

持続可能な河道の流下能力の維持・向上

[国・県・市]
 河床掘削、引堤、砂防堰堤、
 雨水排水施設等の整備

氾濫水を減らす

[国・県]
 「粘り強い堤防」を目指した
 堤防強化等

② 被害対象を減少させるための対策

リスクの低いエリアへ誘導/
 住まい方の工夫
 [県・市、企業、住民]
 土地利用規制、誘導、移転促進、
 不動産取引時の水害リスク情報提供、
 金融による誘導の検討

浸水範囲を減らす
 [国・県・市]
 二線堤の整備、
 自然堤防の保全



③ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

土地のリスク情報の充実 氾濫域
 [国・県]
 水害リスク情報の空白地帯解消、
 多段型水害リスク情報を発信

避難体制を強化する
 [国・県・市]
 長期予測の技術開発、
 リアルタイム浸水・決壊把握

経済被害の最小化
 [企業、住民]
 工場や建築物の浸水対策、
 BCPの策定

住まい方の工夫
 [企業、住民]
 不動産取引時の水害リスク情報
 提供、金融商品を通じた浸水対
 策の促進

被災自治体の支援体制充実
 [国・企業]
 官民連携によるTEC-FORCEの
 体制強化

氾濫水を早く排除する
 [国・県・市等]
 排水門等の整備、排水強化

➡ 3つの柱の対策を組み合わせ、総合的・多層的に水災害に備える

～あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」～

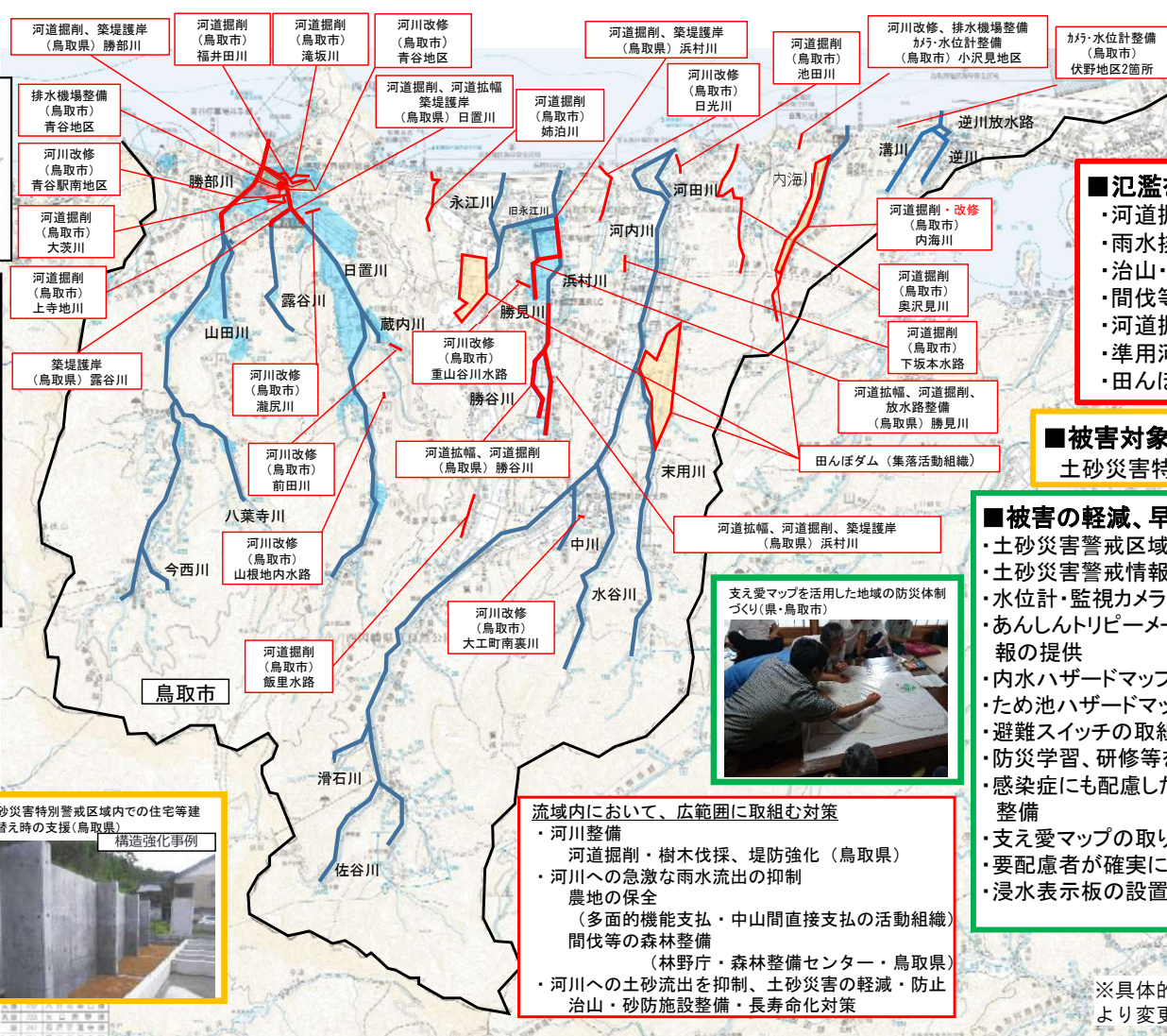
○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、二級水系においても事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、流域における浸水被害の軽減を図ります。
このうち、浜村川、勝見川、勝谷川については、観測史上最大降雨が発生した昭和54年10月台風20号と同規模の洪水を安全に河道に流下させ、被害の軽減を図ります。
また、勝部川、日置川、露谷川については、観測史上最大降雨が発生した昭和62年10月台風19号と同規模の洪水を安全に河道に流下させ、被害の軽減を図ります。
○あわせて、迅速かつ適切な情報収集・提供体制を構築し、ホットラインを含めた確実な避難行動に資する情報発信などの取組を実施し、「逃げ遅れゼロ」を目指します。

位置図



【凡例】

- 二級河川
- 氾濫を防ぐ対策
- エリア境
- 浸水実績
(浜村川流域)
昭和54年10月台風20号
(勝部川流域)
昭和62年10月台風19号



■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 河道掘削、河道拡幅、堤防整備、放水路整備等
- 雨水排水施設の整備
- 治山・砂防関係施設の整備・長寿命化対策
- 間伐等の森林整備
- 河道掘削・樹木伐採
- 準用河川等の河川整備
- 田んぼダムによる流出抑制対策 等

■ 被害対象を軽減させるための対策
土砂災害特別警戒区域内での住宅等建て替え時の支援

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害防止対策の推進
- 土砂災害警戒情報と危険度情報の提供
- 水位計・監視カメラの設置
- あんしんトリピーメール等の情報配信ツールを活用した防災情報の提供
- 内水ハザードマップ・浸水想定区域図の作成
- ため池ハザードマップ作成・避難訓練の実施
- 避難スイッチの取組推進、マイ・タイムラインの作成
- 防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発
- 感染症にも配慮した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備
- 支え愛マップの取り組み支援等による地域の防災体制づくり
- 要配慮者が確実に避難できる個別避難計画作成等の推進
- 浸水表示板の設置 等



流域内において、広範囲に取組む対策

- 河川整備
 - 河道掘削・樹木伐採、堤防強化(鳥取県)
- 河川への急激な雨水流出の抑制
 - 農地の保全(多面的機能支払・中山間直接支払の活動組織)
 - 間伐等の森林整備(林野庁・森林整備センター・鳥取県)
- 河川への土砂流出を抑制、土砂災害の軽減・防止
 - 治山・砂防施設整備・長寿命化対策

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

●流域エリア全体を俯瞰的にとらえ、流域に関連する機関が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】露谷川等の護岸整備を行う。

【中期】勝見川、日置川については護岸整備、勝谷川、勝部川については、下流域に引き続き、河道拡幅・河道掘削・護岸整備行う。

【中長期】浜村川、勝谷川の河道拡幅・護岸整備を行う。

あわせて、河道掘削や樹木伐採を必要に応じて実施していくほか、逃げ遅れゼロを目指した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備、防災学習、研修等を通じた地域住への意識啓発などソフト対策を継続的に実施する。

浜村川・勝部川外流域治水プロジェクト(県東部西エリア)

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	(浜村川)河道拡幅・河道掘削・築堤護岸	鳥取県	[Red bar]		
	(勝見川)河道拡幅・河道掘削・放水路整備	鳥取県	[Red bar]		
	(勝谷川)河道拡幅・河道掘削	鳥取県	[Red bar]	[Red bar]	[Red bar]
	(勝部川)河道拡幅・築堤護岸	鳥取県	[Red bar]	[Red bar]	[Red bar]
	(日置川)河道拡幅・河道掘削・築堤護岸	鳥取県	[Red bar]		
	(露谷川)築堤護岸	鳥取県	[Red bar]		
	(県管理区間)河道掘削・樹木伐採	鳥取県	[Red bar]		
	(鳥取市管理区間)河道掘削	鳥取市	[Red bar]		
	治山施設の整備・長寿命化対策	鳥取県	[Red bar]		
	砂防関係施設の整備・長寿命化対策	鳥取県	[Red bar]		
	間伐等の森林整備	林野庁 森林整備センター 鳥取県	[Red bar]		
	(青谷地区)排水機場整備	鳥取市	[Red bar]		
	(小沢見地区)排水機場整備	鳥取市	[Red bar]		
	(小沢見地区、青谷地区、青谷駅南地区)河川改修	鳥取市	[Red bar]		
	(日光川)河川改修	鳥取市	[Red bar]		
	(瀧尻川、内海川、前田川、山根水路、大工町南裏川、重山谷川)河川改修	鳥取市	[Red bar]		
	洪水の流出を抑制する田んぼダム	集落活動組織	会下地区、上光地区、内海地区		
	被害対象を減少させるための対策	土砂災害特別警戒区域内での住宅建て替え時の支援	鳥取県 鳥取市	[Yellow bar]	
土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害防止対策の推進		鳥取県	[Green bar]		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土砂災害警戒情報と危険度情報の提供	鳥取県	[Green bar]		
	水位計・監視カメラの設置	鳥取県 鳥取市	[Green bar]		
	あんしんトリブメール等の情報配信ツールを活用した防災情報の提供	鳥取県 鳥取市	[Green bar]		
	ため池ハザードマップの作成・避難訓練の実施	鳥取市	[Green bar]		
	浸水想定区域図、内水ハザードマップ作成	鳥取市	[Green bar]		
	避難スイッチの取組推進、マイ・タイムラインの作成	鳥取県 鳥取市	[Green bar]		
	防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発	鳥取県 鳥取市	[Green bar]		
	感染症にも配慮した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備	鳥取市	[Green bar]		
	支え愛マップの取り組み支援等による地域の防災体制づくり	鳥取県 鳥取市	[Green bar]		
	要配慮者が確実に避難できる個別避難計画作成等の推進	鳥取市	[Green bar]		
	浸水深表示の設置	鳥取県 鳥取市	[Green bar]		

浜村川・勝部川外流域治水プロジェクト(県東部西エリア)[フォローアップ資料]

R5年度末時点 取組状況

【評価凡例】 前倒して実施:◎、予定通り実施:○、作業中:△、未着手:×、R5年度 対象外:ー

区分	対策内容	実施主体	工程			地区等	評価	R5年度の取組状況	R6年度の取組予定	摘要	
			短期	中期	中長期						
氾濫をできるだけ防ぎ、減らすための対策	(浜村川)河道拡幅・河道掘削・築堤護岸	鳥取県						○ 河道拡幅・護岸整備	河道拡幅・護岸整備		
	(勝見川)河道拡幅・河道掘削・放水路整備	鳥取県						○ 放水路整備に向けての条件整理	放水路整備に向けての条件整理		
	(勝谷川)河道拡幅・河道掘削	鳥取県						ー	ー		
	(勝部川)河道拡幅・築堤護岸	鳥取県						○ 流下能力向上の検討	流下能力向上の検討		
	(日置川)河道拡幅・河道掘削・築堤護岸	鳥取県						○ 護岸整備	護岸整備		
	(露谷川)築堤護岸	鳥取県						○ 護岸整備・工機補償	護岸整備・工機補償		
	(県管理区間)河道掘削・樹木伐採	鳥取県						○ 河道掘削・樹木伐採	河道掘削・樹木伐採		
	(鳥取市管理区間)河道掘削	鳥取市				内海川		○ 河道掘削L=320m	河道掘削L=300m		
	治山施設の整備・長寿命化対策	鳥取県						○ 治山施設整備(八葉寺地区外)	治山施設整備(八葉寺地区外)		
	砂防関係施設の整備・長寿命化対策	鳥取県						○ 砂防施設整備(見生寺谷川外)	砂防施設整備(見生寺谷川外)		
	間伐等の森林整備	林野庁 森林整備センター 鳥取県				(林野庁) (森林整備センター) (鳥取県)		○ 令和5年度実施済 ○ 72haの間伐実施 ○ 間伐実施済み	事業予定なし 30haの間伐予定 間伐継続実施		
	(青谷地区)排水機場整備	鳥取市				青谷地区		△ 詳細設計中	排水機場用地造成工事		
	(小沢見地区)排水機場整備	鳥取市				小沢見地区		△ 改良工事中	機械・電気設備工事		
	(小沢見地区、青谷地区、青谷駅南地区)河川改修	鳥取市				小沢見地区 青谷地区		× 未実施 × 未実施	未定 未定		
	(日光川)河川改修	鳥取市				青谷駅南地区		○ 詳細設計中	排水路整備L=30m	R4.9.1追加	
	(瀬尻川、内海川、前田川、山根水路、大工町南裏川、重山谷川)河川改修	鳥取市	瀬尻川				瀬尻川		△ 詳細設計中	用地買収	
			内海川				内海川		○ 改良工事実施(R5年度L=22m)	予定なし	R5.6.5追加
			前田川				前田川		△ 改良工事中	工事完成	
			山根水路				山根水路		× 未実施	予定なし	
			大工町南裏川				大工町南裏川		△ 詳細設計中	未定	
洪水の流出を抑制する田んぼダム	集落活動組織	会下地区				会下地区		○ 実施予定991aのうち、35%で実施見込み	実施予定991aのうち、53%で実施		
		上光地区				上光地区		△ 地元調整	地元調整		
被害対象を減少させるための対策	土砂災害特別警戒区域内での住宅建て替え時の支援	鳥取県				(鳥取県)		ー 建て替え時の支援として市町への補助金を確保	建て替え時の支援として市町への補助金を確保		
		鳥取市				(鳥取市)		△ 鳥取市土砂災害特別警戒区域等危険住宅立替事業実施(5年度0件)	鳥取市土砂災害特別警戒区域等危険住宅立替事業実施		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害防止対策の推進	鳥取県						○ 地形改変箇所、防災工事完了箇所等の基礎調査を実施	地形改変箇所、防災工事完了箇所等の基礎調査を実施		
	土砂災害警戒情報と危険度情報の提供	鳥取県						○ 気象台と連携し情報発信(情報提供)	気象台と連携し情報発信(情報提供)		
	水位計・監視カメラの設置	鳥取県 鳥取市				(鳥取県)		○ ため池遠隔監視装置(カメラ、水位センサー)の設置	ため池遠隔監視装置(カメラ、水位センサー)の設置・運用		
	あんしんトリビュール等の情報配信ツールを活用した防災情報の提供	鳥取県 鳥取市				(鳥取県)		○ 伏野・東大路・小沢見の浸水面所計5箇所のカメラ・水位情報公開	予定なし	R5.6.5追加	
						(鳥取県)		○ あんしんトリビュール、アプリといった県運営ツールに加え、X(旧Twitter)等のウェブサイト、SNSを活用し、災害時等における防災・危機管理情報を迅速かつ的確に提供。気象情報や河川・道路カメラ映像等を集約して公開する「防災情報ポータルサイト」を構築。			
	ため池ハザードマップの作成・避難訓練の実施	鳥取市				(鳥取市)		○ ため池ハザードマップ作成済	ため池ハザードマップ作成済		
	浸水想定区域図、内水ハザードマップ作成	鳥取市						△ 浸水モデルの作成	予定区域の内水浸水想定区域図の作成・公表を完了		
	避難スイッチの取組推進、マイ・タイムラインの作成	鳥取県 鳥取市				(鳥取県)		○ 支え愛マップ作成に当たっての専門家派遣支援	支え愛マップ作成に当たっての専門家派遣支援		
	防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発	鳥取県 鳥取市				(鳥取市)		○ 講座資料を活用したマイ・タイムラインの普及	講座資料を活用したマイ・タイムラインの普及		
						(鳥取県)		○ 防災講習を実施	防災講習を実施		
	感染症にも配慮した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備	鳥取市						○ 避難所において感染症に対応するための備蓄品整備	備蓄品の整備		
	支え愛マップの取り組み支援等による地域の防災体制づくり	鳥取県 鳥取市				(鳥取県)		○ 市町村、社協職員及び防災士等を対象とした支え愛マップづくりインストラクター養成研修を実施するなど災害に強い地域づくりを推進	市町村、社協職員及び防災士等を対象とした支え愛マップづくりインストラクター養成研修を実施するなど災害に強い地域づくりを推進		
						(鳥取市)		○ 3地区で見直しを実施	継続実施		
	要配慮者が確実に避難できる個別避難計画作成等の推進	鳥取市						○ 個別避難計画作成等の推進	継続実施		
	浸水深表示の設置	鳥取市				(鳥取市)		○ 事業完了	経年劣化等対応		

塩見川・蒲生川外流域治水プロジェクト(県東部東エリア)(フォローアップ資料)			R5年度末時点 取組状況			〔評価凡例〕 前倒しで実施:◎、予定通り実施:○、作業中:△、未着手:×、R5年度 対象外:ー				
区分	対策内容	実施主体	工程			地区等	評価	R5年度の取組状況	R6年度の取組予定	摘要
			短期	中期	中長期					
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	(蒲生川)河道拡幅・河道掘削・築堤護岸	鳥取県	下流域		上流域		○	河道掘削・護岸整備	河道掘削・護岸整備	
	(塩見川)河道拡幅・河道掘削・築堤護岸	鳥取県	暫定整備		本施工		○	河道掘削・護岸整備	河道掘削・護岸整備	
	(箭浜川)河道拡幅・河道掘削・築堤護岸・放水路整備	鳥取県	暫定整備		本施工		○	予備設計(道路・取水施設等)	予備設計(橋梁予備等)	
	(江川県管理区間)河道拡幅・河道掘削・築堤護岸	鳥取県					ー			
	(県管理区間)河道掘削・樹木伐採	鳥取県					○	河道掘削・樹木伐採	河道掘削・樹木伐採	
	治山施設の整備・長寿命化対策	鳥取県					○	治山施設整備(浦富地区外)	治山施設整備(浦富地区外)	
	砂防関係施設の整備・長寿命化対策	鳥取県					○	砂防施設整備(山/谷川外)	砂防施設整備(山/谷川外)	
	(塩見川潮止樋門)樋門の長寿命化対策	鳥取県					○	継続実施	継続実施	
	(平野川)溪流保全工	鳥取県					○	床固工	溪流保全工	
	間伐等の森林整備	林野庁 森林整備センター 鳥取県				(林野庁) (森林整備センター)	◎	52haの間伐実施	20haの間伐予定	
	(鳥取市管理区間)河道掘削	鳥取市				(鳥取市)	○	間伐実施済み	間伐継続実施	
	(湯山地区、浜湯山地区)排水機場整備・河川改修	鳥取市				湯山地区 浜湯山地区	×	河道掘削L=320m	河道掘削L=300m	
	(江川・鳥取市管理区間)河川改修	鳥取市					×		予定なし	
	(細川地区)河川改修	鳥取市					×		予定なし	
被害対象を減少させるための対策	土砂災害特別警戒区域内での住宅等建て替え時の支援	鳥取県 鳥取市 岩美町				(鳥取県) (鳥取市) (岩美町)	ー ○ ○	建て替え時の支援として市町への補助金を確保 鳥取市土砂災害特別警戒区域等危険住宅立替事業実施(5年度0件) 取組中	建て替え時の支援として市町への補助金を確保 鳥取市土砂災害特別警戒区域等危険住宅立替事業実施 継続実施	
	土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害防止対策の推進	鳥取県					○	地形改変箇所、防災工事完了箇所等の基礎調査を実施	地形改変箇所、防災工事完了箇所等の基礎調査を実施	
	土砂災害警戒情報と危険度情報の提供	鳥取県					○	気象台と連携し情報発信(情報提供)	気象台と連携し情報発信(情報提供)	
被害の軽減、早期復旧、復興のための対策	水位計・監視カメラの設置	鳥取県					ー	ー	国土省主催「ワンコイン浸水センサ実証実験実施予定」	
	あんしんトリビュール等の情報配信ツールを活用した防災情報の提供	鳥取県				(鳥取県)	○	あんしんトリビュール、アプリといった県運営ツールに加え、X(旧Twitter)等のウェブサイト、SNSを活用し、災害時等における防災・危機管理情報を迅速かつ的確に提供。気象情報や河川・道路カメラ映像等を集約して公開する「防災情報ポータルサイト」を構築。	あんしんトリビュール、アプリといった県運営ツールに加え、X(旧Twitter)等のウェブサイト、SNSを活用し、災害時等における防災・危機管理情報を迅速かつ的確に提供。気象情報や河川・道路カメラ映像等を集約して公開する「防災情報ポータルサイト」を構築。	
	内水ハザードマップ、浸水想定区域図作成	鳥取市				湯山地区	×	未実施	予定なし	
	ため池ハザードマップの作成・避難訓練の実施	鳥取市 岩美町				(鳥取市) (岩美町)	○ △	ため池ハザードマップ作成済 ため池ハザードマップは作成済。避難訓練は未実施。	ため池ハザードマップ作成済 各地域への訓練実施の働きかけ	
	避難スイッチの取組推進、マイ・タイムラインの作成	鳥取県 鳥取市 岩美町				(鳥取県) (鳥取市) (岩美町)	○ ○ △	支え愛マップ作成に当たっての専門家派遣支援 講座資料を活用したマイ・タイムラインの普及 情報提供の実施	支え愛マップ作成に当たっての専門家派遣支援 講座資料を活用したマイ・タイムラインの普及 作成支援の研修会を実施	
	防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発	鳥取県 鳥取市 岩美町				(鳥取県) (鳥取市) (岩美町)	○ ○ ○	防災講習を実施 防災講習の実施 講演会を実施	防災講習を実施 防災講習の実施 自主防災士育成、自主防災組織の研修訓練支援	
	感染症にも配慮した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備	鳥取市 岩美町				(鳥取市) (岩美町)	○ ー	避難所において感染症に対応するための備用品整備	備用品の整備	
	支え愛マップの取り組み支援等による地域の防災体制づくり	鳥取県 鳥取市 岩美町				(鳥取県) (鳥取市) (岩美町)	○ △ ○	市町村、社協職員及び防災士等を対象とした支え愛マップづくりインストラクター養成研修を実施するなど災害に強い地域づくりを推進 取組を継続 1つの自治会内の11の区で作成	市町村、社協職員及び防災士等を対象とした支え愛マップづくりインストラクター養成研修を実施するなど災害に強い地域づくりを推進 継続して実施 未作成集落への継続した働きかけを行う	
	要配慮者が確実に避難できる個別避難計画作成等の推進	鳥取市 岩美町				(鳥取市) (岩美町)	○ ○	申請により実施 全集落へ文書送付、説明実施。随時作成中。	継続して実施 継続して実施する	

●流域エリア全体を俯瞰的にとらえ、流域に関連する機関が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期～中期】東郷池の築堤護岸整備等を行う。

【中長期】橋津川水門の長寿命化対策を行う。

あわせてエリア内河川の河道掘削や樹木伐採を必要に応じて実施していくほか、逃げ遅れゼロを目指した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備、防災学習、研修等を通じた地域住への意識啓発などソフト対策を継続的に実施する。

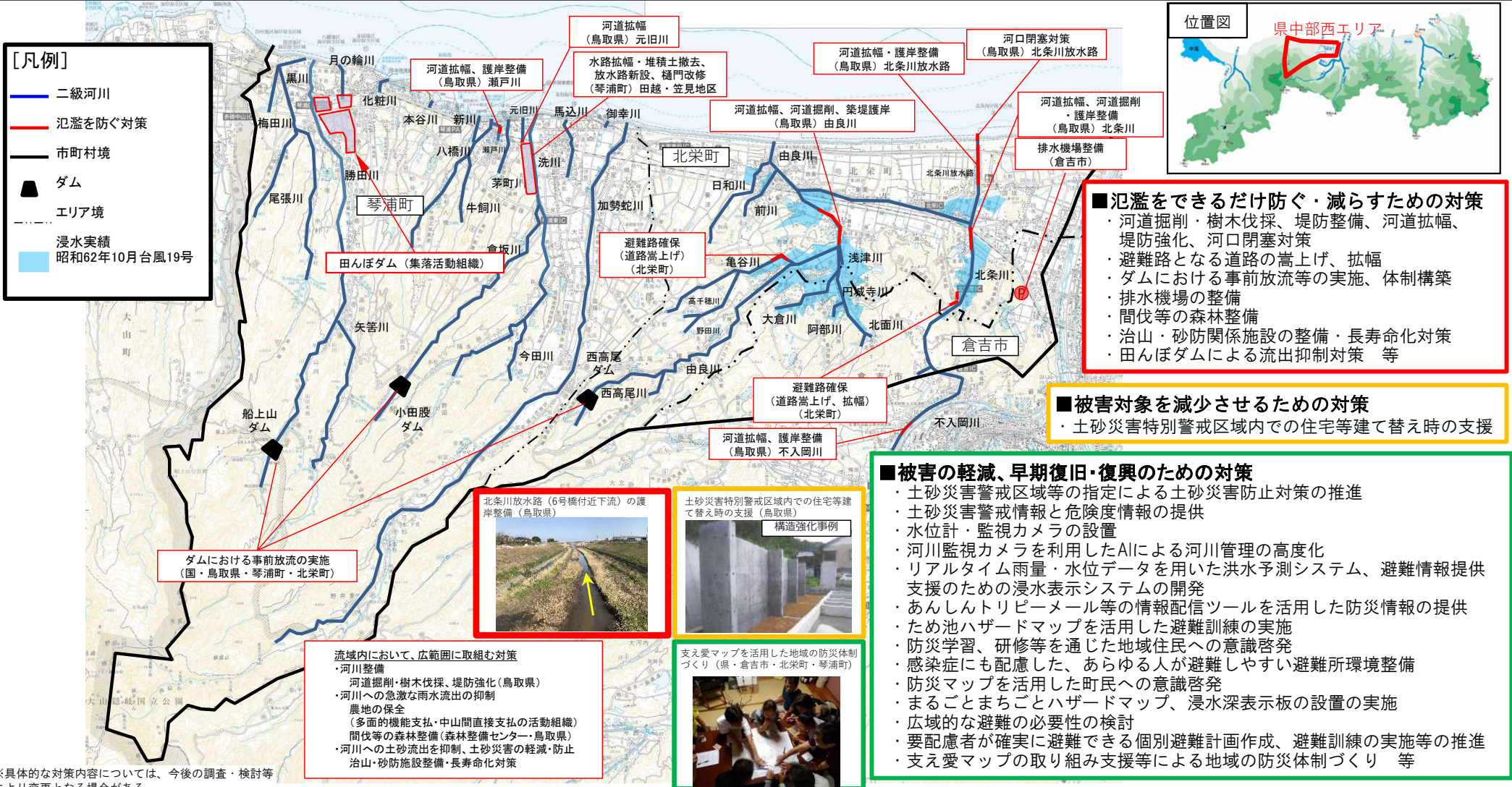
区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	(東郷池)築堤護岸	鳥取県	[進捗バー]		
	(県管理区間)河道掘削・樹木伐採	鳥取県	[進捗バー]		
	(橋津川水門)水門の長寿命化対策	鳥取県	[進捗バー]		
	治山施設の整備・長寿命化対策	鳥取県	[進捗バー]		
	砂防関係施設の整備・長寿命化対策	鳥取県	[進捗バー]		
	(石脇地区、上浅津地区外)避難路となる道路の嵩上げ(県道泊絹見青谷線、県道東郷湖線外)	鳥取県	[進捗バー]		
	東郷ダムにおける事前放流の実施、体制構築	鳥取県	[進捗バー]		
	間伐等の森林整備	森林整備センター 鳥取県	[進捗バー]		
	(松崎地区)排水機場整備 2箇所	鳥取県 湯梨浜町	[進捗バー]		
	洪水の流出を抑制する田んぼダム	集落活動組織	原地区 [進捗バー]		
被害対象を減少させるための対策	土砂災害特別警戒区域内での住宅建て替え時の時の支援	鳥取県 湯梨浜町	[進捗バー]		
土砂災害警戒情報と危険度情報の提供	土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害防止対策の推進	鳥取県	[進捗バー]		
	土砂災害警戒情報と危険度情報の提供	鳥取県	[進捗バー]		
	水位計・監視カメラの設置	鳥取県	[進捗バー]		
	まるごとまちごとハザードマップ、浸水深表示板の設置の実施	湯梨浜町	[進捗バー]		
	避難スイッチの取組推進	鳥取県 湯梨浜町	[進捗バー]		
	ため池ハザードマップを活用した避難訓練の実施	湯梨浜町	[進捗バー]		
	広域的な避難の必要性の検討	鳥取県 湯梨浜町	[進捗バー]		
	支え愛マップの取り組み支援等による地域の防災体制づくり	鳥取県 湯梨浜町	[進捗バー]		
	防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発	鳥取県 湯梨浜町	[進捗バー]		
	あんしんトリブメール等の情報発信ツールを活用した防災情報の提供	鳥取県 湯梨浜町	[進捗バー]		
	感染症にも配慮した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備	湯梨浜町	[進捗バー]		
	要配慮者が確実に避難できる個別避難計画作成、避難訓練の実施等の推進	湯梨浜町	[進捗バー]		

橋津川外流域治水プロジェクト(県中部東エリア)(フォローアップ資料)			R5年度末時点 取組状況			[評価凡例] 前倒しで実施:◎、予定通り実施:○、作業中:△、未着手:×、R5年度 対象外:-				
区分	対策内容	実施主体	工程			地区等	評価	R5年度の取組状況	R6年度の取組予定	摘要
			短期	中期	中長期					
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	(東郷池)築堤護岸	鳥取県	■	■	■		○ 築堤護岸等(松崎工区)	築堤護岸等(松崎工区)		
	(県管理区間)河道掘削・樹木伐採	鳥取県	■	■	■		○ 河道掘削・樹木伐採(東郷川外)	河道掘削・樹木伐採(東郷川外)		
	(橋津川水門)水門の長寿命化対策	鳥取県	■	■	■		○ 詳細設計(制水ゲート開閉装置)	詳細設計(制水ゲート開閉装置)		
	治山施設の整備・長寿命化対策	鳥取県	■	■	■		○ 治山施設整備(藤津地区・羽衣石地区外)	治山施設整備(藤津地区・羽衣石地区外)		
	砂防関係施設の整備・長寿命化対策	鳥取県	■	■	■		○ 砂防施設整備(谷谷川・川上川外)	砂防施設整備(谷谷川・川上川外)		
	(石脇地区、上浅津地区外)避難路となる道路の嵩上げ(県道泊瀬見青谷線、県道東郷湖線外)	鳥取県	■	■	■	石脇地区	○ 測量調査(石脇地区)	測量調査(石脇地区)	R4.9.1追加	
						上浅津地区外	-	-		
	東郷ダムにおける事前放流の実施、体制構築	鳥取県	■	■	■		△ 事前放流の実施	事前放流の実施		
	間伐等の森林整備	森林整備センター 鳥取県	■	■	■	(森林整備センター)	-	事業予定なし		
	(松崎地区)排水機場整備 2箇所	鳥取県 湯梨浜町	■	■	■	(鳥取県)	○ 水門整備(新町川)	水門整備(新町川)		
洪水の流出を抑制する田んぼダム	集落活動組織	■	■	■	原地区	○ R4稼働の龍島排水機場の効果を確認 新町川排水機場設置に向けての用地交渉 - せき板の設置及び盛土、あぜ板設置による畦畔の強化を実施 ○ 実施予定1483a全てについて実施見込み	新町川排水機場設置に向けて計画検討 R5完了 実施予定1483a全てについて実施見込み	R4.9.1追加		
被害対象を減少させるための対策	土砂災害特別警戒区域内での住宅建て替え時の時の支援	鳥取県 湯梨浜町	■	■	■	(鳥取県)	- 建て替え時の支援として市町への補助金を確保(実施なし)	建て替え時の支援として市町への補助金を確保		
					(湯梨浜町)	- 該当する相談なし	引き続き相談を受け			
土砂災害警戒情報と危険度情報の提供	土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害防止対策の推進	鳥取県	■	■	■		○ 地形改変箇所、防災工事完了箇所等の基礎調査を実施	地形改変箇所、防災工事完了箇所等の基礎調査を実施		
	土砂災害警戒情報と危険度情報の提供	鳥取県	■	■	■		○ 気象台と連携し情報発信(情報提供)	気象台と連携し情報発信(情報提供)		
	水位計・監視カメラの設置	鳥取県	■	■	■		-	危機管理型水位計設置(東郷池) 河川監視カメラ設置(羽衣石川)		
	まるごとまちごとハザードマップ、浸水深表示板の設置の実施	湯梨浜町	■	■	■	(湯梨浜町)	○ 県により町内の県管施設へ表示板を設置	自治公民館等の緊急避難場所への設置を検討		
	避難スイッチの取組推進	鳥取県 湯梨浜町	■	■	■	(鳥取県)	○ 支え愛マップ作成に当たっての専門家派遣支援	支え愛マップ作成に当たっての専門家派遣支援		
						(湯梨浜町)	○ 集落の防災講習会に出向き避難スイッチを説明	集落の防災講習会に出向き取り組みを推進		
	ため池ハザードマップを活用した避難訓練の実施	湯梨浜町	■	■	■		○ ため池サポートセンターを共同して1地区で避難訓練を実施(国債)	他の訓練と合同での実施を検討		
	広域的な避難の必要性の検討	鳥取県 湯梨浜町	■	■	■	(鳥取県)	○ 広域避難体制の整備等を行う市町村に補助金を支給	広域避難体制の整備等を行う市町村を交付金で支援		
						(湯梨浜町)	- 広域避難の具体的な検討に至っていない	広域避難ケースと避難先の検討		
	支え愛マップの取り組み支援等による地域の防災体制づくり	鳥取県 湯梨浜町	■	■	■	(鳥取県)	○ 市町村、社協職員及び防災士等を対象とした支え愛マップづくりインストラクター養成研修を実施するなど災害に強い地域づくりを推進	市町村、社協職員及び防災士等を対象とした支え愛マップづくりインストラクター養成研修を実施するなど災害に強い地域づくりを推進		
						(湯梨浜町)	○ 支え愛マップ作成済みの3地区でステップアップ事業を活用し、防災体制の強化を図った(橋津、新川、松崎)	引き続き、社会福祉協議会の協力により支え愛マップの取り組みを支援		
	防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発	鳥取県 湯梨浜町	■	■	■	(鳥取県)	○ 小学校と連携して防災教育の実施を検討	小学校と連携して防災教育の実施を検討		
						(湯梨浜町)	○ 各自治会等の実施する防災講習、避難訓練で意識啓発 R5実績 延べ25団体	各自治会、福祉施設、教育団体で実施する防災講習・避難訓練で意識啓発		
あんしんトリブナーメール等の情報配信ツールを活用した防災情報の提供	鳥取県 湯梨浜町	■	■	■	(鳥取県)	○ あんしんトリブナーメール、アプリといった県運営ツールに加え、X(旧Twitter等)のウェブサイト、SNSを活用し、災害時等における防災・危機管理情報を迅速かつ的確に提供。	あんしんトリブナーメール、アプリといった県運営ツールに加え、X(旧Twitter)等のウェブサイト、SNSを活用し、災害時等における防災・危機管理情報を迅速かつ的確に提供。気象情報や河川・道路カメラ映像等を集約して公開する「防災情報ポータルサイト」を構築。			
					(湯梨浜町)	○ 町公式LINEの新設に伴い防災メニューを設置し防災情報を配信 町職員参集メールのシステムを更新	導入した情報配信ツールを活用して防災情報を提供			
感染症にも配慮した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備	湯梨浜町	■	■	■		○ 折り畳み式ベッドの購入				
要配慮者が確実に避難できる個別避難計画作成、避難訓練の実施等の推進	湯梨浜町	■	■	■		△ 要配慮者利用施設の避難訓練の実施と実施報告書の提出を依頼	福祉部局と連携し、個別避難計画作成につなげる			

～あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、二級水系においても事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、流域における浸水被害の軽減を図ります。
このうち、由良川・北条川については、観測史上最大被害である昭和62年10月台風19号と同規模の洪水を安全に河道に流下させ、家屋の浸水被害軽減を図ります。

○あわせて、迅速かつ適切な情報収集・提供体制を構築し、ホットラインを含めた確実な避難行動に資する情報発信などの取組を実施し、「逃げ遅れゼロ」を目指します。



二級水系由良川外流域治水プロジェクト（県中部西エリア）

【ロードマップ】

●流域エリア全体を俯瞰的にとらえ、流域に関連する機関が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
 【短期】北条川放水路の護岸整備、河口閉塞対策等を行う。
 【中期】北条川放水路上流域における北条川の河道拡幅・河道掘削・護岸整備等を行う。
 【中長期】由良川の河道拡幅・河道掘削・護岸整備等を行う。
 あわせて、エリア内河川の河道掘削や樹木伐採を必要に応じて実施していくほか、逃げ遅れゼロを目指した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備、防災学習、研修等を通じた地域住への意識啓発などソフト対策を継続的に実施する。

由良川外流域治水プロジェクト（県中部西エリア）

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	(由良川)河道拡幅・河道掘削・築堤護岸	鳥取県	短期	中期	中長期
	(北条川)河道拡幅・河道掘削・護岸整備	鳥取県	短期	中期	中長期
	(北条川放水路)河道拡幅・河道掘削・護岸整備、河口閉塞対策	鳥取県	短期	中期	中長期
	(県管理区域)河道掘削・樹木伐採	鳥取県	短期	中期	中長期
	(不入岡川)河道拡幅・護岸整備	鳥取県	短期	中期	中長期
	(瀬戸川)河道拡幅・護岸整備	鳥取県	短期	中期	中長期
	(元旧川)河道拡幅	鳥取県	短期	中期	中長期
	ダム(船上山、小田股、西高尾)における事前放流の実施、体制構築	鳥取県 中国四国農政局 北栄町、琴浦町	短期	中期	中長期
	治山施設の整備・長寿命化対策	鳥取県	短期	中期	中長期
	砂防関係施設の整備・長寿命化対策	鳥取県	短期	中期	中長期
	間伐等の森林整備	林野庁 森林整備センター 鳥取県	短期	中期	中長期
	(米里地区)避難路となる道路の高上げ、拡幅(町道米里北尾線、米里12号線)	北栄町	短期	中期	中長期
	(大島地区)避難路となる道路の高上げ(町道島取線、町道高千穂西穂波線)	北栄町	短期	中期	中長期
	(古川沢地区)排水機場整備	倉吉市	短期	中期	中長期
	(田越・笠見地区)水路拡幅・堆積土撤去、放水路新設、樋門改修	琴浦町	短期	中期	中長期
洪水の流出を抑制する田んぼダム	集落活動組織	短期	中期	中長期	
被害対象を減少させるための対策	土砂災害特別警戒区域内での住宅建て替え時の支援	鳥取県、倉吉市 北栄町、琴浦町	短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害防止対策の推進	鳥取県	短期	中期	中長期
	土砂災害警戒情報と危険度情報の提供	鳥取県	短期	中期	中長期
	水位計・監視カメラの設置	鳥取県	短期	中期	中長期
	河川監視カメラを利用したAIによる河川管理の高度化（北条川で試行）	鳥取県	短期	中期	中長期
	リアルタイム雨量・水位データを用いた洪水予測システム、避難情報提供支援のための浸水表示システムの開発（北条川で試行）	鳥取県	短期	中期	中長期
	あんしんトリビュートメールや防災アプリ等の情報配信ツールを活用した防災情報の提供	鳥取県、倉吉市 北栄町、琴浦町	短期	中期	中長期
	ため池ハザードマップを活用した避難訓練の実施	倉吉市、北栄町 琴浦町	短期	中期	中長期
	防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発	鳥取県、倉吉市 北栄町、琴浦町	短期	中期	中長期
	感染症にも配慮した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備	倉吉市 北栄町、琴浦町	短期	中期	中長期
	防災マップを活用した住民への意識啓発	倉吉市、北栄町 琴浦町	短期	中期	中長期
	浸水深表示板の設置	倉吉市	短期	中期	中長期
	支え愛マップの取り組み支援等による地域の防災体制づくり	鳥取県、倉吉市 北栄町、琴浦町	短期	中期	中長期
	要配慮者が確実に避難できる個別避難計画作成等の推進	倉吉市 北栄町、琴浦町	短期	中期	中長期

由良川外流域治水プロジェクト(県中部西エリア)【フォローアップ資料】

R5年度末時点 取組状況

【評価凡例】 前倒して実施:◎、予定通り実施:○、作業中:△、未着手:×、R5年度 対象外:ー

区分	対策内容	実施主体	工程			地区等	評価	R5年度の取組状況	R6年度の取組予定	摘要
			短期	中期	中長期					
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	(由良川)河道拡幅・河道掘削・築堤護岸	鳥取県					○ 護岸整備(六尾地区)	護岸整備(六尾地区)		
	(北条川)河道拡幅・河道掘削・護岸整備	鳥取県					○ 測量・設計、北尾地区の詳細設計等(米里地区)	測量・設計、北尾地区の詳細設計等(米里地区)		
	(北条川放水路)河道拡幅・河道掘削・護岸整備・河口閉塞対策	鳥取県					○ 護岸整備(弓原地区)	護岸整備(弓原地区)		
	(県管理区域)河道掘削・樹木伐採	鳥取県					○ 河道掘削・樹木伐採(勝田川外)	河道掘削・樹木伐採(勝田川外)		
	(不入岡川)河道拡幅・護岸整備	鳥取県					○ 河道拡幅・護岸整備	河道拡幅・護岸整備		
	(瀬戸川)河道拡幅・護岸整備	鳥取県					○ 工損補償	工損補償		
	(元旧川)河道拡幅	鳥取県					○ 測量・設計	用地測量	R4.9.1追加	
	ダム(船上山、小田股、西高尾)における事前放流の実施、体制構築	鳥取県 中国四国農政局 琴浦町 北栄町				(中国四国農政局)	○ 各ダム(船上山、小田股、西高尾)の治水協定に基づいた貯水水位運用を行なった。	治水協定に基づく貯水水位運用の継続。		
	治山施設の整備・長寿命化対策	鳥取県					—	—		
	砂防関係施設の整備・長寿命化対策	鳥取県					○ 砂防施設整備(加勢蛇川外)	砂防施設整備(加勢蛇川外)		
	間伐等の森林整備	林野庁 森林整備センター 鳥取県				(林野庁) (森林整備センター) (鳥取県)	— 実施事業なし —	事業予定なし 30haの間伐予定		
	(米里地区)避難路となる道路の嵩上げ、拡幅(町道米里北尾線、米里12号線)	北栄町					○ 米里北尾線1工区完成、米里12号線:用地買収済	米里12号線:工事着手		
	(大島地区)避難路となる道路の嵩上げ(町道島取線、町道高千穂西穂波線)	北栄町					○ 高千穂西穂波線:用地買収	高千穂西穂波線:工事着手		
	(古川沢地区)排水機場整備	倉吉市					— R3年度整備済み	R3年度整備済み		
	(田越・笠見地区)水路拡幅・堆積土撤去、放水路新設、樋門改修	琴浦町					○ 放水路新設等に係る設計業務及び水路分水部工事発注、業務・工事	水路新設及び改修	R4.9.1追加	
洪水の流出を抑制する田んぼダム	集落活動組織				上出地区 八幡地区	○ 実施予定3483a全てについて実施見込み ○ 実施予定428aのうち、38%で実施見込み	実施予定3483a全てについて実施見込み 実施予定428aのうち、58%で実施見込み	R3.9.3追加 R5.8.10追加		
被害対象を減少させるための対策	土砂災害特別警戒区域内での住宅建て替え時の支援	鳥取県 倉吉市 琴浦町 北栄町				(鳥取県) (倉吉市) (琴浦町) (北栄町)	— 建て替え時の支援として市町への補助金を確保(実績無し) ○ レッド区域内の住宅の建て替え等経費の補助を実施。 — 特になし ○ 継続実施	建て替え時の支援として市町への補助金を確保 継続実施 特になし 継続予定		
	土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害防止対策の推進	鳥取県					○ 地形改変箇所、防災工事完了箇所等の基礎調査を実施	地形改変箇所、防災工事完了箇所等の基礎調査を実施		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土砂災害警戒情報と危険度情報の提供	鳥取県					○ 気象台と連携し情報発信(情報提供)	気象台と連携し情報発信(情報提供)		
	水位計・監視カメラの設置	鳥取県					—	—		
	河川監視カメラを活用したAIによる河川管理の高度化(北条川で試行)	鳥取県					○ たため池遠隔監視装置(カメラ、水位センサー)の運用	たため池遠隔監視装置(カメラ、水位センサー)の設置		
	リアルタイム雨量・水位データを用いた洪水予測システム、避難情報提供支援のための浸水表示システムの開発(北条川で試行)	鳥取県					○ 北条川で試行 ○ 北条川で試行	北条川で試行 北条川で試行		
	あんしんトリビュールメールや防災アプリ等の情報配信ツールを活用した防災情報の提供	鳥取県 倉吉市 琴浦町 北栄町				(鳥取県) (倉吉市) (琴浦町) (北栄町)	あんしんトリビュールメール、アプリといった県運営ツールに加え、X(旧Twitter)等のウェブサイト、SNSを活用し、災害時における防災・危機管理情報を迅速かつ的確に提供。 ○ 登録メール、あんしんトリビュールメール、LINE、ヤフー防災 ○ LINE等を活用した防災情報の提供を実施	あんしんトリビュールメール、アプリといった県運営ツールに加え、X(旧Twitter)等のウェブサイト、SNSを活用し、災害時における防災・危機管理情報を迅速かつ的確に提供。気象情報や河川・道路カメラ映像等を集約して公開する「防災情報ポータルサイト」を構築。 継続実施 LINE等を活用した防災情報の提供を実施		
	ため池ハザードマップを活用した避難訓練の実施	倉吉市 琴浦町 北栄町				(倉吉市) (琴浦町) (北栄町)	○ ため池サポートセンターと連携し、管理者や地域住民を支援。 ○ 鳥取県ため池サポートセンターと連携し、東郷新町公民館関係者と避難訓練を実施。 △ ため池周辺の集落での研修時にリスク周知	継続実施 鳥取県ため池サポートセンターと連携し、管理者や地域住民を支援。 地域と連携して実施についての協議を行う		
	防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発	鳥取県 倉吉市 琴浦町 北栄町				(倉吉市) (琴浦町) (北栄町)	○ ため池サポートセンターと連携して、防災研修を実施した。 ○ 小学校と連携して防災教育を実施。 ○ 地域の防災研修等で早期避難の重要性等を啓発した。	ため池サポートセンターと連携して、避難訓練を実施予定。 小学校と連携して防災教育の実施を検討 継続実施		
	感染症にも配慮した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備	倉吉市 琴浦町 北栄町				(倉吉市) (琴浦町) (北栄町)	○ 避難所環境に係る資機材整備を実施 ○ 継続実施	避難所環境に係る資機材整備を実施 継続予定		
	防災マップを活用した住民への意識啓発	倉吉市 琴浦町 北栄町				(倉吉市) (琴浦町) (北栄町)	○ 避難所へのマンホールトイレ、防災井戸整備に係る設計 ○ 集落等での研修会により啓発を実施	避難所へのマンホールトイレ、防災井戸整備(6か所) 研修等で啓発を実施		
	浸水深表示板の設置	倉吉市					○ 継続実施	継続予定		
	支え愛マップの取り組み支援等による地域の防災体制づくり	鳥取県 倉吉市 琴浦町 北栄町				(鳥取県) (倉吉市) (琴浦町) (北栄町)	○ 自主防災組織の設置に対し1/2補助、4組織が設置。 ○ 市町村、社協職員及び防災士等を対象とした支え愛マップづくりインストラクター養成研修を実施するなど災害に強い地域づくりを推進 ○ 市社協等と連携し、支え愛マップ作成を支援した。	自主防災組織の設置に対し、1/2補助を行う。 市町村、社協職員及び防災士等を対象とした支え愛マップづくりインストラクター養成研修を実施するなど災害に強い地域づくりを推進 継続実施		
	要配慮者が確実に避難できる個別避難計画作成等の推進	倉吉市 琴浦町 北栄町				(倉吉市) (琴浦町) (北栄町)	○ 支え愛マップづくりの取り組み推進等の実施 ○ 継続実施 ○ 民生委員等と連携し、個別避難計画の作成を推進した。 ○ 支え愛マップに取り組んだ集落で計画を作成	支え愛マップづくりの取り組み推進等の実施 継続予定 継続実施 支え愛マップに取り組んだ集落で計画を作成		
						(北栄町)	○ 継続実施	継続予定		

由良川外流域治水プロジェクト(県中部西エリア)(フォローアップ資料)

R5年度末時点 取組状況

【評価凡例】 前倒して実施:◎、予定通り実施:○、作業中:△、未着手:×、R5年度 対象外:ー

Table with columns: 区分, 対策内容, 実施主体, 短期, 工程(中期), 中長期, 地区等, 評価, R5年度の取組状況, R6年度の取組予定, 摘要. Rows include measures like riverbank reinforcement, flood prevention, and disaster response across various regions like 北条川 and 由良川.

流域治水分科会

令和4年2月16日の「鳥取県中部地区 流域治水及び減災対策協議会」において、これまでの検討に加え、内水被害等の軽減に資する流域治水対策についても議論していくこととしました。令和4年3月に中部管内の各市町ごとに分科会を立ち上げて、市町により抽出された課題への対策について、各分科会で市町・県の関係者が集まって議論を行っているところです。…事務局は、各市町担当課

＜検討経緯＞

- R3. 12末 抽出した課題に対して「課題・対策整理表」による対策(案)の整理・検討を開始。
- R4. 2. 16 減災対策協議会において流域治水に関する分科会設置等を了承。
- R4. 3中旬 関係課による打合せを行い、流域治水の「分科会」を立上げ。
- R4. 4中旬 分科会（第1回）を開催。
- R4. 5～12 分科会（現地検討会等を含む）（第2, 3回）を開催。
- R5. 4～11 分科会（令和5年第1, 2回）を開催。
- R6. 4～12 分科会（令和6年度）を開催予定。（2回程度予定）

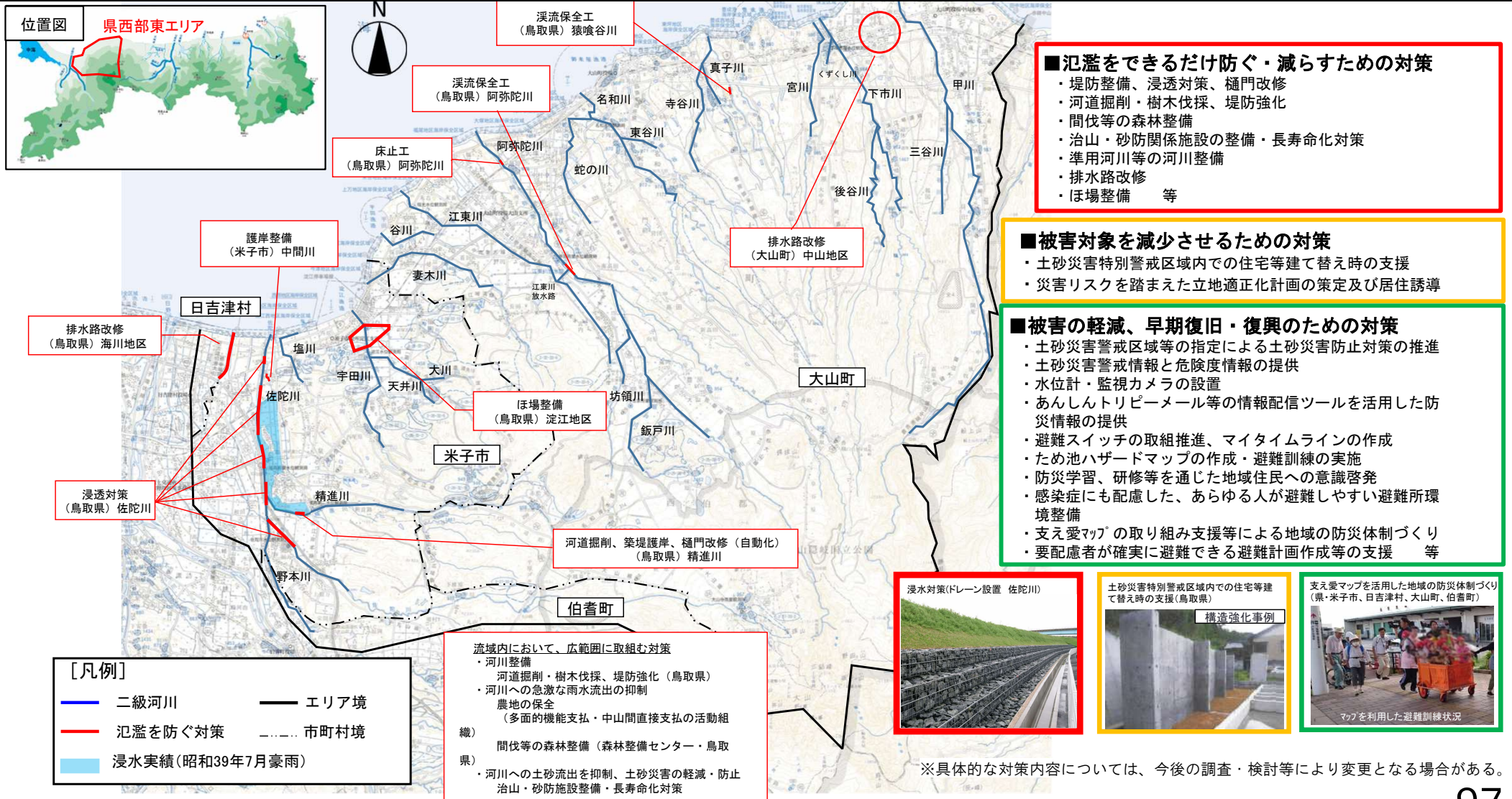
＜今後のスケジュール(令和6年度)＞

- ◇R6.5月頃:協議会において主要箇所の進捗状況を報告
- ◇ ~ 11月:各対策の実施について検討及び分科会構成員間で意見交換
- ◇必要に応じて「流域治水プロジェクト」の改訂案を作成(実施可能なものからプロジェクトに掲載)

※「課題・対策整理表」、「流域治水プロジェクト」は毎年更新

～あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」～

- 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、二級水系においても事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、流域における浸水被害の軽減を図ります。
このうち、佐陀川及び精進川については、観測史上最大降雨が発生した昭和39年7月の豪雨と同規模の洪水を安全に河道に流下させ、洪水による被害の軽減を図ります。
- あわせて、迅速かつ適切な情報収集・提供体制を構築し、ホットラインを含めた確実な避難行動に資する情報発信などの取組を実施し、「逃げ遅れゼロ」を目指します。



- 流域エリア全体を俯瞰的にとらえ、流域に関連する機関が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短期】精進川の河道掘削・護岸整備を行う。
 - 【中期】佐陀川の堤防の浸透対策を行う。
 - 【中長期】河道掘削や樹木伐採を必要に応じて実施していくほか、逃げ遅れゼロを目指した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備、防災学習、研修等を通じた地域住への意識啓発などソフト対策を継続的に実施する。

佐陀川外流域治水プロジェクト(県西部東エリア)

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	(佐陀川)浸透対策	鳥取県	■		
	(精進川)河道掘削・築堤護岸	鳥取県	■		
	(県管理河川)河道掘削・樹木伐採	鳥取県	■		
	間伐等の森林整備	森林整備センター 鳥取県	■		
	治山施設の整備・長寿命化対策	鳥取県	■		
	砂防関係施設の整備・長寿命化対策	鳥取県	■		
	(阿弥陀川)床止工	鳥取県	■		
	(阿弥陀川)溪流保全工	鳥取県	■		
	(猿喰谷川)溪流保全工	鳥取県	■		
	(中間川)護岸整備	米子市	■		
	(中山地区)排水路改修	大山町	■		
	(淀江地区)ほ場整備による雨水貯留対策	鳥取県	■		
	(海川地区)排水路改修	鳥取県	■		
被害対象を減少させるための対策	土砂災害特別警戒区域内での住宅建て替え時の支援	鳥取県、米子市 大山町、伯耆町 日吉津村	■		
	災害リスクを踏まえた立地適正化計画の策定及び居住誘導	米子市	■		
被害の軽減・早期復旧・復興のための対策	土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害防止対策の推進	鳥取県	■		
	土砂災害警戒情報と危険度情報の提供	鳥取県	■		
	水位計・監視カメラの設置	鳥取県	■		
	あんしんトリビーム等の情報配信ツールを活用した防災情報の提供	鳥取県、米子市 大山町、伯耆町 日吉津村	■		
	避難スイッチの取組推進、マイ・タイムラインの作成	鳥取県、米子市 大山町、伯耆町 日吉津村	■		
	ため池ハザードマップの作成・避難訓練の実施	米子市、大山町	■		
	防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発	鳥取県、米子市 大山町、伯耆町 日吉津村	■		
	感染症にも配慮した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備	米子市、日吉津村 大山町、伯耆町	■		
	支え愛マップの取り組み支援等による地域の防災体制づくり	鳥取県、米子市 大山町、伯耆町 日吉津村	■		
	要配慮者が確実に避難できる個別避難計画作成等の推進	米子市、日吉津村 大山町、伯耆町	■		

佐陀川外域流域治水プロジェクト(県西部東エリア)[フォローアップ資料]

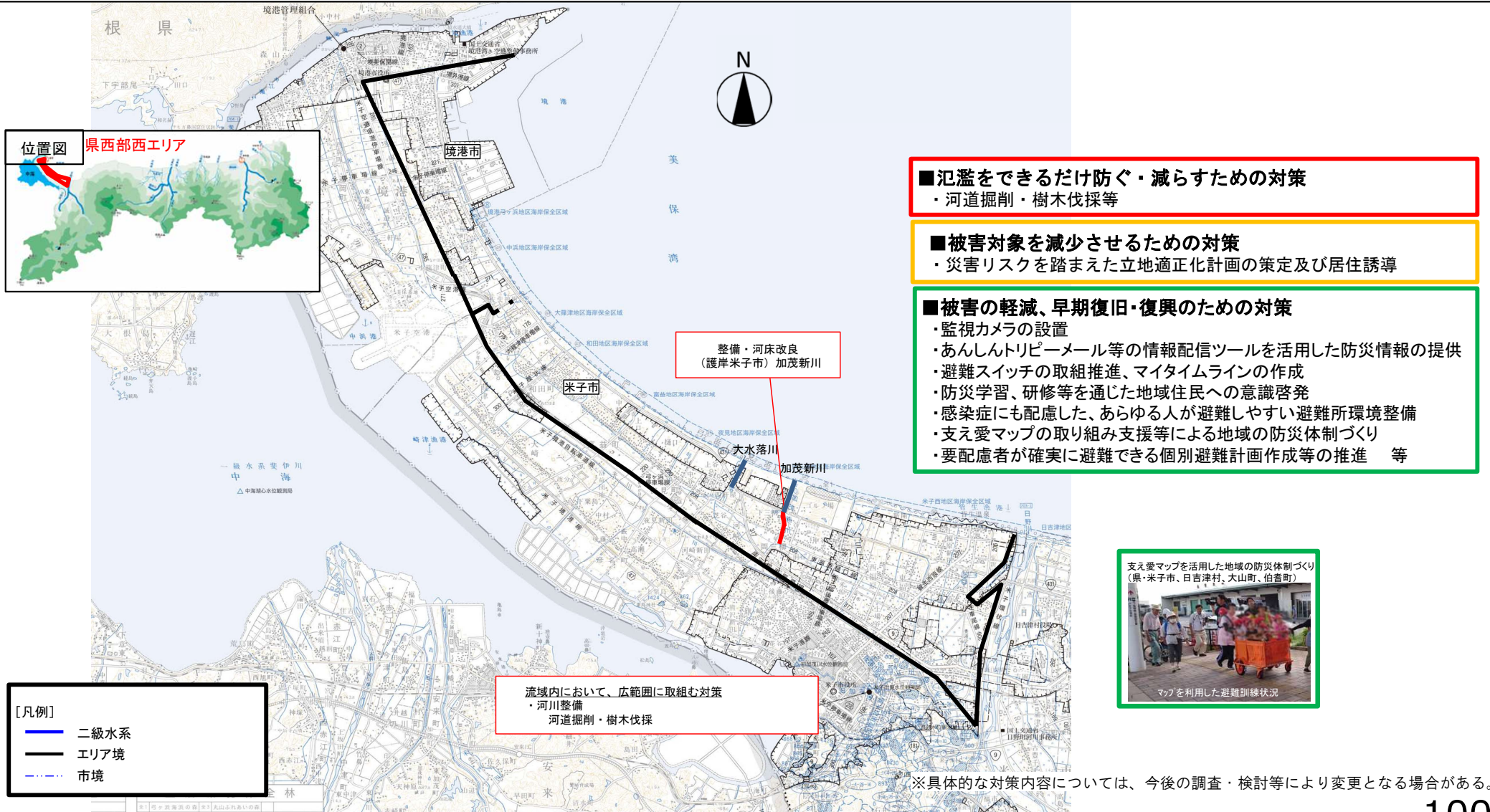
R5年度末時点 取組状況

[評価凡例] 前倒して実施:◎、予定通り実施:○、作業中:△、未着手:×、R5年度 対象外:ー

区分	対策内容	実施主体	工程			地区等	評価	R5年度の取組状況	R6年度の取組予定	摘要
			短期	中期	中長期					
氾濫をできるだけ防ぎ、減らすための対策	(佐陀川)浸透対策	鳥取県					○	浸透対策工事、次工区の詳細設計業務	浸透対策工事	
	(精進川)河道掘削・築堤護岸	鳥取県					○	築堤護岸工、旧橋撤去、橋台工	築堤護岸工、旧橋撤去、橋台工	
	(県管理河川)河道掘削・樹木伐採	鳥取県					○	阿弥陀川外河道掘削・伐採	佐陀川外河道掘削・伐採	
	間伐等の森林整備	森林整備センター 鳥取県				(森林整備センター) (鳥取県)	○	30haの間伐実施	20haの間伐予定	
	治山施設の整備・長寿命化対策	鳥取県					○	豊房地区治山工事	豊房地区治山工事	
	砂防関係施設の整備・長寿命化対策	鳥取県					○	設計業務の実施。長寿命化計画更新業務の実施。	設計業務の実施。長寿命化計画更新業務の実施。	
	(阿弥陀川)床止工	鳥取県					×	(進捗調整)	床止工	
	(阿弥陀川)溪流保全工	鳥取県					○	溪流保全工	溪流保全工	
	(猿喰谷川)溪流保全工	鳥取県					○	溪流保全工	溪流保全工	
	(中間川)護岸整備	米子市					○	護岸改修工事の実施(L=33m)	設計業務の実施。護岸改修工事の実施(L=47m)	
	(中山地区)排水路改修	大山町					○	R5年度事業完了	R5に事業完了	
	(淀江地区)ほ場整備による雨水貯留対策	鳥取県				米子市淀江町	○	ほ場整備実施設計、換地原案策定	ほ場整備工事	
(海川地区)排水路改修	鳥取県				日吉津村日吉津	○	排水路改修	排水路改修		
被害対象を減少させるための対策	土砂災害特別警戒区域内での住宅建て替え時の支援	鳥取県 米子市 日吉津村 大山町 伯耆町				(鳥取県) (米子市) (日吉津村) (大山町) (伯耆町)	ー	建て替え時の支援として市町への補助金を確保	建て替え時の支援として市町への補助金を確保	
	災害リスクを踏まえた立地適正化計画の策定及び居住誘導	米子市					○	策定した計画に基づく居住誘導	策定した計画に基づく居住誘導	R5.5.30追加
	土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害防止対策の推進	鳥取県					○	地形変更箇所、防災工事完了箇所の基礎調査を実施	地形変更箇所、防災工事完了箇所の基礎調査を実施	
土砂災害警戒情報と危険度情報の提供	鳥取県					○	気象台と連携し情報発信(情報提供)	気象台と連携し情報発信(情報提供)		
水位計・監視カメラの設置	鳥取県					×	R5設置なし	R6設置予定あり		
	鳥取県					○	ため池遠隔監視装置(カメラ・水位センサー)の運用	ため池遠隔監視装置(カメラ・水位センサー)の運用		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	あんしんトリビュール等の情報配信ツールを活用した防災情報の提供	鳥取県 米子市 日吉津村 大山町 伯耆町				(鳥取県) (米子市) (日吉津村) (大山町) (伯耆町)	○	あんしんトリビュール、アプリといった県運営ツールに加え、X(旧Twitter)等のウェブサイト、SNSを活用し、災害時等における防災・危機管理情報を迅速かつ的確に提供。	あんしんトリビュール、アプリといった県運営ツールに加え、X(旧Twitter)等のウェブサイト、SNSを活用し、災害時等における防災・危機管理情報を迅速かつ的確に提供。気象情報や河川・道路カメラ映像等を集約して公開する「防災情報ポータルサイト」を構築。	
	避難スイッチの取組推進、マイ・タイムラインの作成	鳥取県 米子市 日吉津村 大山町 伯耆町				(米子市) (日吉津村) (大山町) (伯耆町)	○	情報ツールを活用した防災情報の提供	引き続き実施	
		鳥取県				(鳥取県)	○	防災無線受信アプリの導入	継続実施	
		鳥取県				(大山町)	○	SNS等(LINE)により防災情報を配信した。	継続実施	
		鳥取県				(伯耆町)	○	適宜情報配信	適宜情報配信	
		鳥取県				(鳥取県)	○	支え愛マップ作成に当たった専門家派遣支援	支え愛マップ作成に当たった専門家派遣支援	
		鳥取県 米子市 日吉津村 大山町 伯耆町				(米子市) (日吉津村)	○	避難ノートを活用した啓発の推進	引き続き実施	
		(大山町)					△		継続実施	
		(伯耆町)					○	自治会等からの要請により防災研修会を実施し、内容を説明した。	自主防災組織の防災研修等において周知、普及する。	
		(伯耆町)					×	なし	なし	
		(米子市)					○	引き続き支援を実施(R4にため池HM完成済)	引き続き支援	
		(大山町)					○	ハザードマップ作成済み。地震津波に関連した避難訓練を実施した。	町が行う各種の訓練等に合わせた実施を検討する。	
防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発	防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発	鳥取県 米子市 日吉津村 大山町 伯耆町				(鳥取県) (米子市) (日吉津村) (大山町) (伯耆町)	○	防災教育の実施(箕紋屋小、大山小)	防災教育の実施(継続)	
		鳥取県				(米子市)	○	地域住民等への出前講座等の実施	引き続き実施	
		(日吉津村)					○	風水害を想定した訓練の実施	継続実施	
		(大山町)					○	自治会等からの要請により、防災研修を実施した。	継続実施	
		(伯耆町)					○	2か所で防災学習を実施	適宜、学習会・研修会の実施	
		(米子市)					○	資機材整備、マニュアルの改訂による対応の配慮	引き続き実施	
		(日吉津村)					○	継続実施	継続実施	
		(大山町)					○	避難所運営マニュアルに沿った環境整備に努めた。	継続実施	
		(伯耆町)					○	備品の整備	必要物品等の購入	
		(鳥取県)					○	市町村、社協職員及び防災士等を対象とした支え愛マップづくりインストラクター養成研修を実施するなど災害に強い地域づくりを推進	市町村、社協職員及び防災士等を対象とした支え愛マップづくりインストラクター養成研修を実施するなど災害に強い地域づくりを推進	
		(米子市)					○	取り組みに対する地域への支援等の実施	引き続き支援	
		(日吉津村)					○	継続実施	継続実施	
支え愛マップの取り組み支援等による地域の防災体制づくり		鳥取県 米子市 日吉津村 大山町 伯耆町				(鳥取県) (米子市) (日吉津村) (大山町) (伯耆町)	○	町社会福祉協議会と連携して自治会等でのマップ作成を支援した。	継続実施	
		(伯耆町)					○	社会福祉協議会へ支え愛マップ作成支援	継続実施	
		(米子市)					○	部局を横断した計画作成の支援	引き続き支援	
		(日吉津村)					△	継続実施	継続実施	
		(大山町)					○	自主防災組織が個別避難計画を作成する活動に対し支援した。	継続実施	
要配慮者が確実に避難できる個別避難計画作成等の推進		米子市 日吉津村 大山町 伯耆町				(伯耆町)	○	作成済み(同意のみ)	継続実施	

～あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」～

- 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、二級水系においても事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、流域における浸水被害の軽減を図る。
- あわせて、迅速かつ適切な情報収集・提供体制を構築し、ホットラインを含めた確実な避難行動に資する情報発信などの取組を実施し、「逃げ遅れゼロ」を目指します。



●流域エリア全体を俯瞰的にとらえ、流域に関連する機関が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期～中長期】逃げ遅れゼロを目指した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備、防災学習、研修等を通じた地域住への意識啓発などソフト対策を継続的に実施する。

加茂新川外流域治水プロジェクト(県西部西エリア)

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削・樹木伐採	鳥取県	→		
	(加茂新川)護岸整備・河床改良	米子市	→		
被害対象を減少させるための対策	災害リスクを踏まえた立地適正化計画の策定及び居住誘導	米子市	→		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	監視カメラの設置	鳥取県	→		
	あんしんトリピーメール等の情報配信ツールを活用した防災情報の提供	鳥取県 米子市、境港市	→		
	避難スイッチの取組推進、マイ・タイムラインの作成	鳥取県 米子市、境港市	→		
	防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発	鳥取県 米子市、境港市	→		
	感染症にも配慮した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備	米子市、境港市	→		
	支え愛マップの取り組み支援等による地域の防災体制づくり	鳥取県 米子市、境港市	→		
	要配慮者が確実に避難できる個別避難計画作成等の推進	米子市、境港市	→		

加茂新川外域流域治水プロジェクト(県西部西エリア)[フォローアップ資料]			R5年度末時点 取組状況			[評価凡例] 前倒しで実施:◎、予定通り実施:○、作業中:△、未着手:×、R5年度 対象外:-)				
区分	対策内容	実施主体	工程			地区等	評価	R5年度の取組状況	R6年度の取組予定	摘要
			短期	中期	中長期					
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削・樹木伐採	鳥取県					○	河道掘削・樹木伐採(加茂新川)	河道掘削・樹木伐採(加茂新川)	
	(加茂新川)護岸整備・河床改良	米子市					○	護岸改修工事の実施(L=87m)	護岸改修工事の実施(L=158m)	R5.5.30追加
被害対象を減少させるための対策	災害リスクを踏まえた立地適正化計画の策定及び居住誘導	米子市					○	策定した計画に基づく居住誘導	策定した計画に基づく居住誘導	R5.5.30追加
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	監視カメラの設置	鳥取県					○	河川監視カメラの整備(加茂新川)	予定なし(当面の予定箇所は完了)	
	あんしんトリビュール等の情報配信ツールを活用した防災情報の提供	鳥取県 米子市 境港市				(鳥取県)	○	あんしんトリビュール、アプリといった県運営ツールに加え、X(旧Twitter)等のウェブサイト、SNSを活用し、災害時における防災・危機管理情報を迅速かつ的確に提供。	あんしんトリビュール、アプリといった県運営ツールに加え、X(旧Twitter)等のウェブサイト、SNSを活用し、災害時における防災・危機管理情報を迅速かつ的確に提供。気象情報や河川・道路カメラ映像等を集約して公開する「防災情報ポータルサイト」を構築。	
			(米子市)	○	情報ツールを活用した防災情報の提供	引き続き実施				
			(境港市)	○	出前講座等での登録普及・啓発及び職員への操作教育	継続実施				
	避難スイッチの取組推進、マイ・タイムラインの作成	鳥取県 米子市 境港市				(鳥取県)	○	支え愛マップ作成に当たっての専門家派遣支援	支え愛マップ作成に当たっての専門家派遣支援	
			(米子市)	○	避難ノートを活用した啓発の推進	引き続き実施				
			(境港市)	○	出前講座等での普及・啓発	継続実施				
	防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発	鳥取県 米子市 境港市				(鳥取県)	×	実績なし ※エリア外ではあり。	小学校等での防災教育の実施	
			(米子市)	○	地域住民等への出前講座等の実施	引き続き実施				
			(境港市)	○	出前講座等での普及・啓発	継続実施				
感染症にも配慮した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備	米子市 境港市				(米子市)	○	資機材整備、マニュアルの改訂による対応の配慮	引き続き実施		
		(境港市)	○	感染症に対応した避難所運営訓練、装備品の点検・補充	継続実施					
支え愛マップの取り組み支援等による地域の防災体制づくり	鳥取県 米子市 境港市				(鳥取県)	○	市町村、社協職員及び防災士等を対象とした支え愛マップづくりインストラクター養成研修を実施するなど災害に強い地域づくりを推進	市町村、社協職員及び防災士等を対象とした支え愛マップづくりインストラクター養成研修を実施するなど災害に強い地域づくりを推進		
		(米子市)	○	取り組みに対する地域への支援等の実施	引き続き支援					
		(境港市)	○	出前講座等での普及・啓発、社会福祉協議会との連携	継続実施					
要配慮者が確実に避難できる個別避難計画作成等の推進	米子市 境港市				(米子市)	○	部局を横断した計画作成の支援	引き続き支援		
		(境港市)	○	策定した個別避難計画の点検・更新	継続実施					

・各機関の取組について

○地域の支え愛マップづくりを通じた地域防災力向上

【R5実績(R6.1月末時点)】新たに34地区が作成(合計975地区)。

<支え愛マップづくりの様子>

○各種ツールによる県民への周知

・あんしんトリピーメール、防災アプリ(あんしんトリピーなび)等の多様なツールを活用し、避難情報や警報など、いち早く情報を届ける。

○広域避難の取組推進

・市町村の行政界を超えた事前の広域避難について市町村と検討を開始。

○災害ケースマネジメントの推進

- ・鳥取県中部地震を契機に、被災者一人ひとりに寄り添った生活復興支援を平成30年4月から開始。
- ・令和4年10月に県、市町村、専門士業団体、県社協等で構成する「災害ケースマネジメント協議会」を設立し、関係機関が連携して災害ケースマネジメントに取り組む体制を構築。

<災害ケースマネジメント：訪問調査の様子>



田んぼダムモデルほ場実証研修

田んぼダムの周知や地域全体の取組推進を図るため、その効果を見える化したモデルほ場で実証研修を行うとともに、不安視される水稻への生育影響調査を併せて実施。

研修会の開催

- 研修回数：8回（R4～R5実績 各年4回）
- 参加者：392名（農業者215名、地域住民177名）
- ※参加した98%が田んぼダムの効果や実施方法等を理解された。
- ※モデルほ場はR5.12に撤去



【研修会の様子】



【堰板作成の実演】

【模型による流域治水の説明】

水稻の生育影響調査

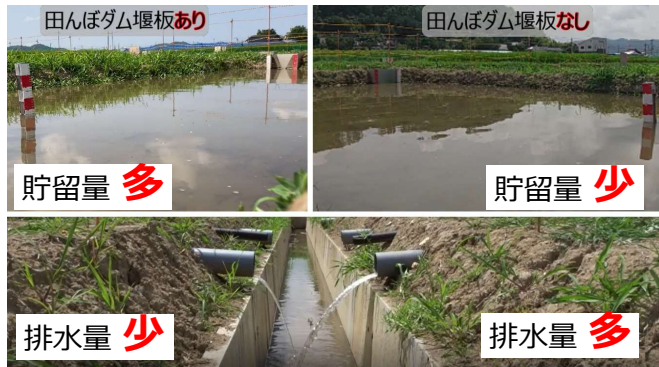
- 通常の水管理を行う1区画と田んぼダムを想定した4区画を設定。
 - 田んぼダム想定区画では豪雨（数回湛水。20cm・2日間）を再現。
 - 収穫後、収量・品質を比較。
- （結果）生育収量への影響は確認されない。
（R4:きぬむすめ R5:コシヒカリで実証）



【通常区画】

【田んぼダム区画】

作付品種	R4年度（きぬむすめ）	R5年度（コシヒカリ）
収量	登熟歩合、千粒重が高く、収量はほぼ同等となり湛水処理が収量を減少させるほどの影響は見られなかった。	収量は同等であり、本実証の湛水処理が収量を減少させるまでの影響は見られなかった。
品質	食味を左右するタンパク質含量が同等で、食味値等ほぼ同等であった。湛水処理が食味関連形質に及ぼす影響は見られなかった。	食味を左右するタンパク質含量がほぼ同等で、食味値も同等であった。深水湛水処理が、外観品質や食味関連形質に及ぼす影響は見られなかった。

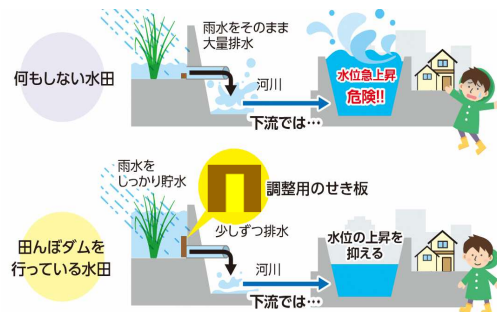


貯留量 多

貯留量 少

排水量 少

排水量 多



第2表 代表株調査による計算収量

区画	稈数/㎡	登熟歩合%	千粒重	計算収量g/㎡	同左比
通常⑦	36,872	72.6	21.89	586	100
ダム⑧⑨	34,373	76.7	22.13	584	100
ダム⑩⑪	30,856	81.7	23.19	585	100

第3表 食味関連形質

区番	食味値Point	アミロース%	タンパク質%	水分%	脂肪酸度mg/100g
通常⑦	80	18.6	7.4	14.7	14.2
ダム⑧⑨	81	18.5	7.4	15.0	14.5
ダム⑩⑪	81	18.5	7.4	15.3	13.2

※登熟歩合：稲の中に占める正常な穂の割合
※千粒重：穀類や豆類の種実1000粒の重量

田んぼダム取組状況

R3年度		R4年度		R5年度（見込み）	
地区数	面積(ha)	地区数	面積(ha)	地区数	面積(ha)
10	60	17	147	21	250

県農地・水保全課の取組 防災重点農業用ため池における流域治水対策等の取組

ソフト対策

ため池ハザードマップの作成



令和3年7月豪雨による洪水吐流下状況（下流人家の床下浸水等が発生）



※十分な洪水吐を有していても、ため池堤体は守られるが、流下水量が増すことで、被害が発生する場合もある。

避難訓練の実施



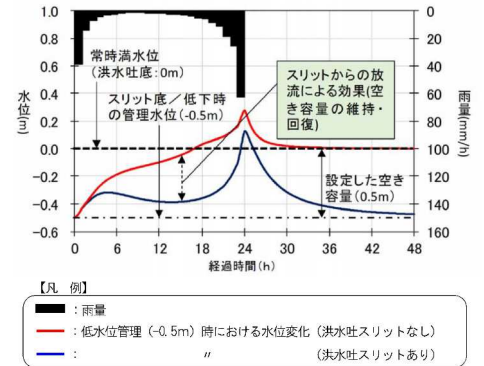
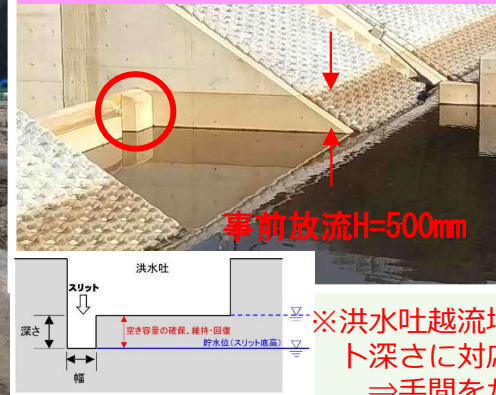
監視カメラ・水位センサーの設置



ハード対策



ため池洪水吐へのスリット付与



※洪水吐越流堰等にスリットを設けることで、スリット深さに対応した空き容量を確保。
⇒手間をかけずに低水位を保つことが可能。

- ① ハード整備 … 力強く推進していく。（防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策）
 主な予定 … 塩見川（駅前工区および箭溪川放水路）、砂田川（鉄道橋拡幅）、
 日置川（堤防整備）、蒲生川（堤防整備）、浜村川・勝見川（放水路）
 八東川（堤防整備）、私都川（JR鉄道橋架替促進）
私都川（延命寺工区、麻生工区での改良復旧工事） など
- ② 排水対策 … 今年度排水ポンプ車を1台追加配備し、計3台で緊急時に備える。
 樋門の省力化を推進していく。（楽に開閉でき、操作員の負担を軽減する）※下記
- ③ 流域治水 … 大路川流域において、雨水貯留対策について住民との合意形成を図っていく。
 県・市が連携して効果的な内水対策を推進していく。【本協議会にて分科会を設立】
- ④ 河川情報 … デジタル技術を活用した新たな発信手段の導入を検討していく。
 （早く、確実に、わかりやすい発信）
- ⑤ 啓発活動 … 防災教育や出前説明会を継続的に取り組んでいく。
 （要配慮者施設についても要請があれば実施する）

樋門操作の省力化（手動⇒電動化）

- 地域住民などに市町を經由して操作を委託している手動の樋門について、操作員の負担軽減かつ開閉迅速化による省力化推進のため、電動化に着手。
- 令和5年2月14日に、県内1号機（大路川：鳥取市雲山）の設置を完了。
- 令和7年度までに全県で160基（予定）を設置していく。



- 既設ハンドルを取り外し機器を固定
- 電動ドリルで昇降作業可能

【概要】

令和5年8月の台風第7号により、私都川（延命寺）では、溢水による家屋や農地等の浸水被害や護岸崩壊等の甚大な被害が発生した。災害復旧事業による原形復旧のみでは事業効果が限定されることから、災害関連事業により、堤防嵩上げや、河道掘削等を行うことで、流下能力を向上させ、再度災害防止を図るものである。

【事業内容】

事業主体：鳥取県

河川名：一級河川 千代川水系 私都川
せんだいがわ きさいちがわ
や ず ぐ ん や ず ち ょ う さ さ な み べ ぶ

事業箇所：八頭郡八頭町篠波 ～ 別府

事業延長：約2.5km

事業期間：令和5年度～令和7年度(予定)

事業費：約11億円(うち改良費5億円)

事業概要：護岸工、堤防嵩上げ等

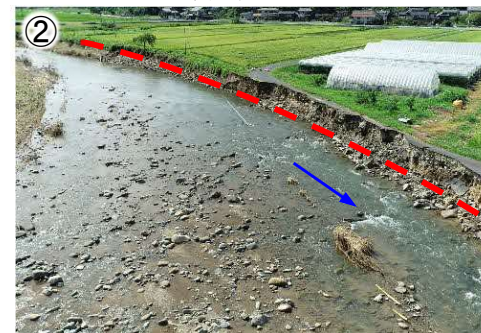
【位置図】



【被災状況写真】



▲農地浸水の状況

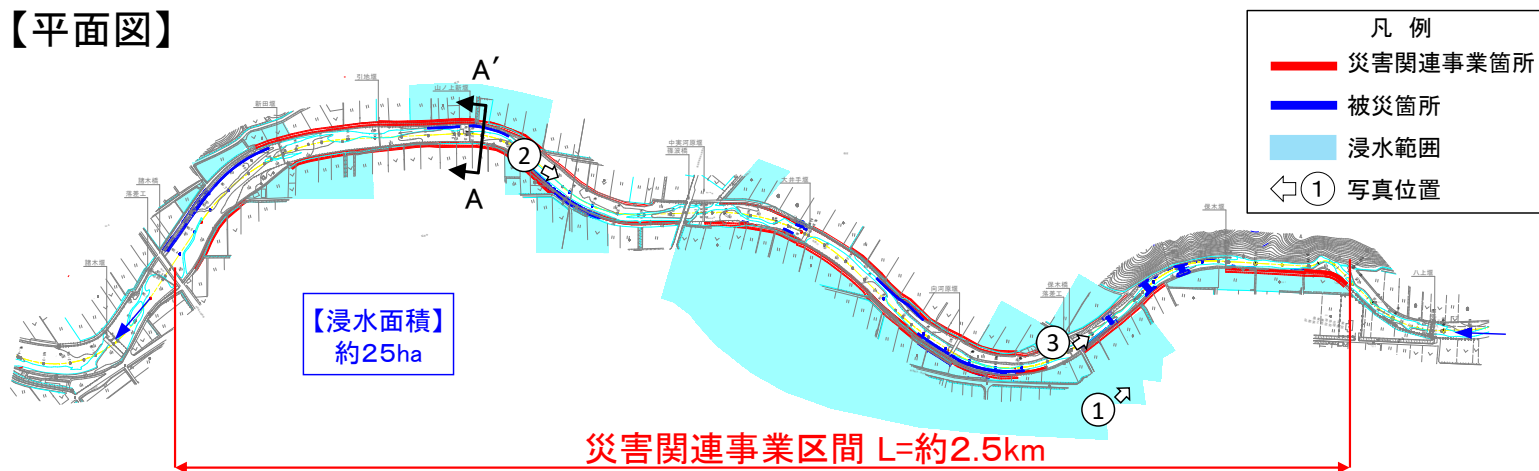


▲護岸崩壊の状況

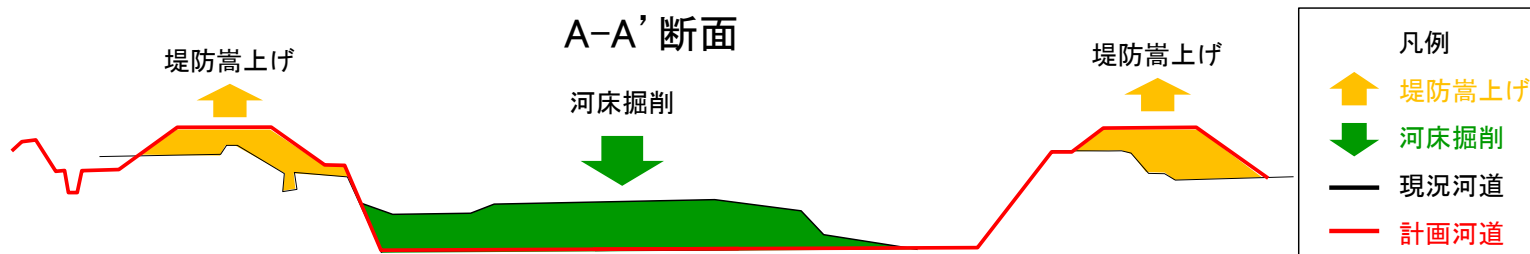


▲護岸崩壊の状況

【平面図】



【横断図(イメージ)】



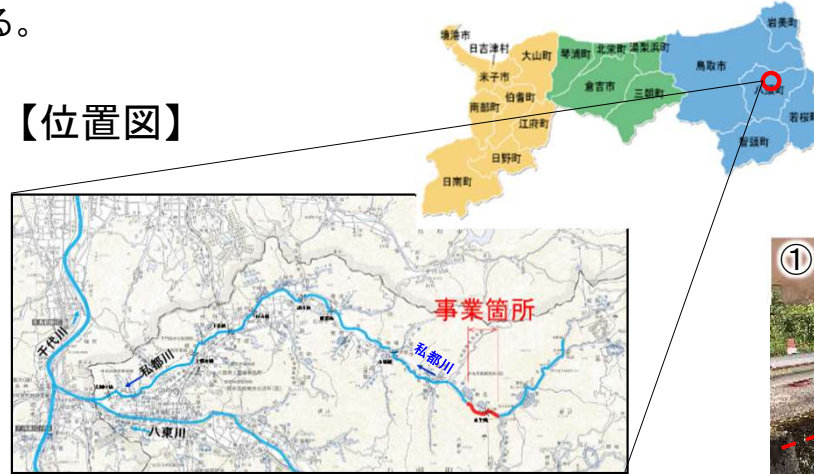
【概要】

令和5年8月の台風第7号により、私都川（麻生）では、溢水による家屋や農地等の浸水被害や護岸崩壊等の甚大な被害が発生した。災害復旧事業による原形復旧のみでは事業効果が限定されることから、災害関連事業により、堤防嵩上げや、河道掘削等を行うことで、流下能力を向上させ、再度災害防止を図るものである。

【事業内容】

- 事業主体：鳥取県
- 河川名：一級河川 千代川水系 私都川
- 事業箇所：八頭郡八頭町麻生
- 事業延長：約1.3km
- 事業期間：令和5年度～令和7年度(予定)
- 事業費：約4.6億円(うち改良費1.5億円)
- 事業概要：護岸工、堤防嵩上げ等

【位置図】



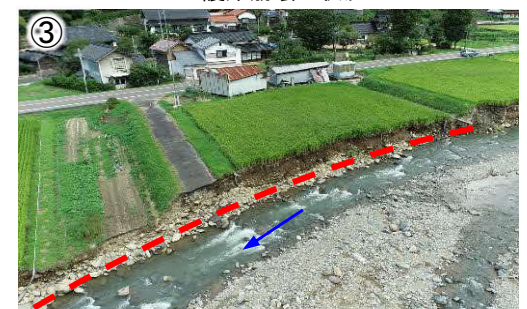
【被災状況写真】



▲護岸崩壊の状況



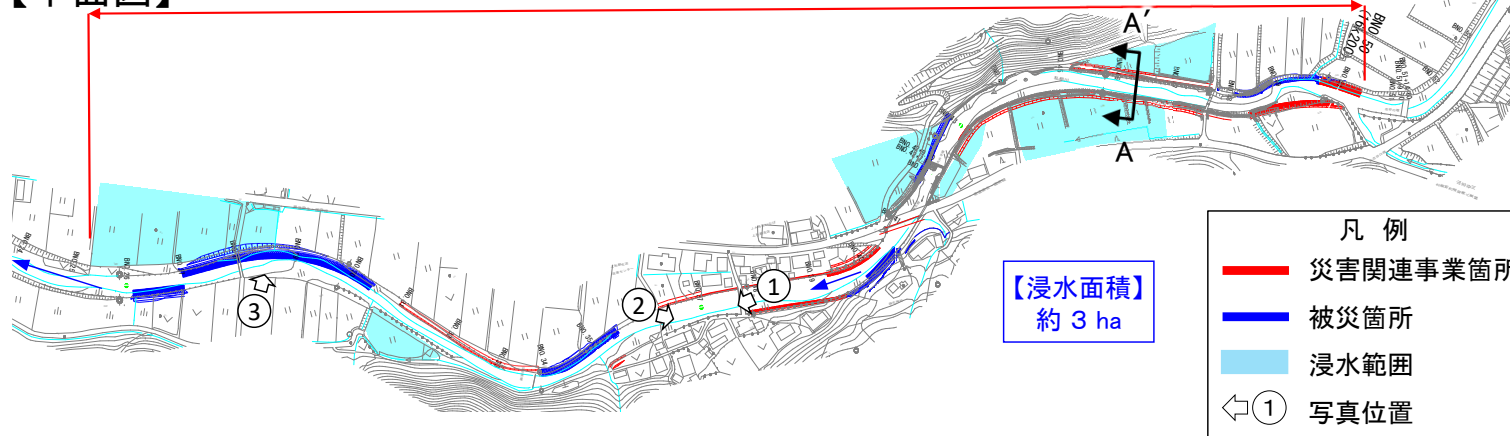
▲護岸崩壊の状況



▲護岸崩壊の状況

【平面図】

災害関連事業区間 L=約1.3km



【横断図(イメージ)】

A-A' 断面



米子県土の取組 「的確な避難行動のための取組」

○小中学校などと連携した防災教育

防災意識向上への「防災教育」、河川等の役割を理解してもらう「河川(砂防)学習会」を実施

令和5年度の実施状況

【防災教育(洪水・土砂災害・ドローン)】 6/14 米子市立車尾小学校(4年生) 9/9 米子市立就将小学校(6年生)
11/22 米子市立箕蚊屋小学校(5年生) 11/28 大山町立大山小学校(5年生)

令和6年度の予定

防災教育への専門家派遣事業、要請等により継続実施

車尾小学校



就将小学校



箕蚊屋小学校



土砂災害メカニズム実験



ドローン飛行実演



大山小学校



○水防関係者間での連携、協力に関する検討

出水対応に備えて「排水ポンプ車」講習会の実施

令和5年度

日 時： 令和5年6月6日(火)

場 所： 法勝寺川(南部町境)、小松谷川(米子市下安曇)、大川(米子市福市)、
水貫川(米子市皆生新田)

参加者： 米子県土整備局および南部町の職員 約20名

講習概要： 現地確認及び排水ポンプ車基本操作、排水ホースの接続訓練等。駐車位置や留意事項も確認。 ※ 南部町境排水ポンプ場では南部町職員も参加し合同で訓練を実施

★令和6年度についても出水期前に継続実施予定



講師による説明状況



排水ホースの接続訓練

日野県土の取組 「防災学習会・出前講座」の実施

日野振興センターでは、地域の皆さんの防災意識を高めていただくため、「ひの防災レンジャー」を組織して、地域の方々や小学校を対象とした防災学習会、出前講座を行っています。

令和元年度の実施状況

- 1/7 あかねの郷出前講座(10名)
- 1/18 津地地区防災座談会(15名)

令和2年度の実施状況

- 6/15 江府中学校(40名)
- 9/4 霞地区自治会(30名)
- 10/5 江府町こどもサロン(24名)
- 10/17 まなびや -ひの谷学舎-(15名)

令和3年度の実施状況

コロナ禍により開催中止

令和4年度の実施状況

- 10/31 江府町こどもサロン(26名)
- 2/16 日南小学校(22名)

令和5年度の実施状況

- 6月 相手側の都合により中止
- 3月 要援護者施設の避難対策
担当者を訪問(情報交換)



R4.10.31 江府町こどもサロン

江府町こどもサロン参加者
(小学5年生)からの感想

- ・土砂くずれや地すべりや洪水やいろんな防災の言葉や意味が知れてよかったです。
- ・ハザードマップやひなん場所のことを教えてもらって、よくわかってよかったです。



R5.2.16 日南小学校



R6.3 要配慮者利用施設を訪問

令和5年度は要配慮者利用施設
「あいご」を訪問

- ・避難計画の担当者と意見を交換
- ・避難訓練の状況を聞き取り
実際に係る時間や人員体制
河川情報の確認方法の実情
- ・浸水想定図の見方や水防情報の
解説
- ・その他、防災対応時のお役立ち
情報の提供

県河川課の取組 樋門操作の省力化推進中！

県管理の手動式樋門(199基/全238基)のうち、氾濫規模等から優先順位が高い樋門160基について、「[操作員の負担軽減](#)」、「[開閉の迅速化](#)」による省力化を目的として、『[樋門の電動化](#)』を推進しています。

【事業背景】

- ・樋門は**地域住民**(市町村委託)が**操作**している。
- ・開閉作業は1基10分も要する**重労働**である。
- ・**操作員の高齢化**が進む中、負担軽減の要望が上がっている。
- ・**ボタン操作**による電動化は**多額の費用と時間を要する**。

⇒大規模な施設改修は時間もお金もかかるため、
手動樋門を電動ドリルで開閉できるように改造し、整備する。

【お知らせ】

※河川課HPで、
導入効果、操作方法等
を公開しています。→



動画①
(効果検証)



動画②
(ドリル取扱)



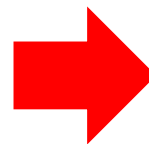
動画③
(樋門操作)



【効果事例】 ⇒252秒の時間短縮(労力も軽減！)



5~10分近くの全身運動🌀



指先一つで上げ下げ可能。しかもあっという間！

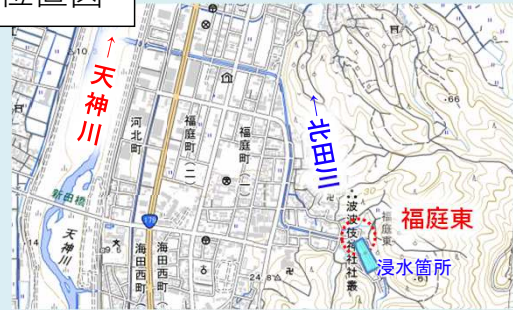


電動ドリルでの
作業状況

倉吉市の浸水対策の取組

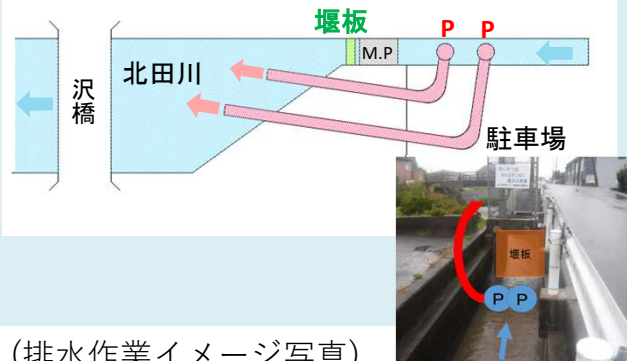
《福庭東地区の浸水対策について》

位置図



R6年度の取組

(排水作業イメージ図)



(排水作業イメージ写真)

水中ポンプを使用

可搬式ポンプを使用



(取組の説明)

- ・出水期前に現地へ排水作業用の水中ポンプを事前搬入しておき、豪雨時の排水作業により、浸水被害軽減効果が得られるか試行する。
(倉吉市建設協議会へポンプ操作要請中)
- ・本試行の実証効果を検証し、常設排水ポンプ施設あるいは排水ポンプ車の設置など検討していく。

過去の浸水状況

① R5.8 台風7号



②-2 R3.7.7 豪雨



④ H25.9.4 台風15号



②-1 R3.7.7 豪雨



③ H30.9.29 台風24号



⑤ H23.9.3 台風12号



その他の取組

①樋門管理

- ・国及び県からの委託樋門等の点検及び豪雨時の操作
- ・台風等の大雨が予想される場合は事前に土地改良区等へ用水樋門の管理の要請

②排水ポンプ車の導入

- ・R4年度末に本市で購入し初配備
 - ・R5年8月台風7号の際、不入岡排水樋門(西福守町地内)にて初稼働
- ⇒倉吉河川国道事務所と連携して浸水被害を軽減できた

③日々の維持

- ・排水施設の定期点検による動作確認

④上下水道局との連携

- ・各排水機場
 - 上井地区 : 上井雨水排水ポンプ場
 - 成徳地区 : 明治町二丁目雨水ポンプ施設
 - 玉川上流排水樋門可搬式ポンプ
 - 和田地区 : 和田排水機場
 - 古川沢地区 : 古川沢地区排水ポンプ施設
- ・排水ポンプ車の追加配備
R6年度予算にて市2台目を購入予定

倉吉市排水ポンプ車
排水能力：30m³/分



日本海新聞記事
【令和5年9月29日掲載】

